

C9P5 V6 650

ナビゲーション &

オーディオ ブック

目次 4ページ

SDメモリーカード/USBメモリーを使う

iPodを使う

Bluetooth AUDIOを使う

その他の機器を使う

オーディオの音質を設定する

オーディオのシステムを設定する

カメラ機能を使う

携帯電話を使う

その他の操作

付 録

はじめに

基本操作

ナビゲーション基本操作

検 索

ルート

登録・編集操作

各種情報の利用

ナビゲーションの設定

通信機能を使う

オーディオ基本操作

放送を受信する

音楽ディスクを使う

映像ディスクを使う

NAVIGATION & AUDIO BOOK

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

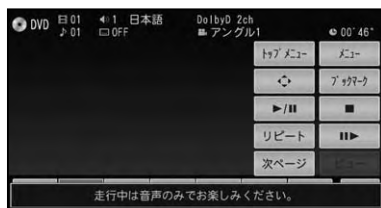
走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。
ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。（操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。）
また、本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。（走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。）また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

（例）DVDを見ようとしたとき



操作はエンジンをかけたままで

エンジンを止めて本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために	2
安全走行のために	3
走行中はナビゲーションの操作をしない ...	3
交通規則に従って走行する	3
本書の見かた	10
本書の表記のしかた	10

基本操作

基本操作	12
基本的な操作のしかた	12
画面の切り換えかた	12
リスト画面の操作	13
文字の入力操作	15
文字の入力操作の流れ	15
文字の種類を切り換える	15
全角・半角を切り換える	15
濁点、半濁点、 大文字／小文字を切り換える	15
アルファベットの 大文字／小文字を切り換える	16
文字を入力する	16
無変換、変換を行う	17
文字入力を終了する	17
URLの入力について	17
かな漢字変換できる記号	18

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	20
ナビメニューの操作	20
ショートカットメニューの操作	22
地図画面の操作	23
現在地画面を表示する	23
地図を動かす	24
地図のスケールを変える	25
地図の向きや表示方法を変える	26

サイドマップについて	27
走行中の音声案内	28
走行中表示される画面について	29
ハイウェイモードについて	29
走行中の道路を切り換える	32

自宅へ帰る	33
自宅を登録する	33
自宅までルート探索する	33

検 索

場所を探す	36
地図で探す	36
電話番号で探す	36
住所で探す	37
登録地から探す	37
名称で探す	38
ジャンルで探す	38
周辺施設を探す	39
検索履歴から探す	40
お気に入り地点から探す	41

詳細情報を見る	42
---------------	----

ルート

ルートを探索する	44
案内開始画面の操作	44
ルート案内を開始する	45
他のルートを選ぶ	46
ルート地図を表示する	46
ルートプロフィールで確認する	47
詳細ルート設定をする	47
ルート探索機能について	50
ルート誘導・案内	51
ルート案内中の現在地画面	51
音声による誘導・案内	53
ルート案内中の操作と機能	55
ルートから外れたときに 自動的にルートを再探索する	55

状況に応じて 新しいルートを提案する	55
次の案内地を確認する	56
ルート上の渋滞情報を案内させる ..	56
ルートを消去する	57

登録・編集操作

場所を登録する	60
場所を登録する	60
登録地を編集する	62
登録地の登録内容を編集する	62
登録地を消去する	63
登録地を保存する	64
登録地を読み込む	64
お気に入り地点を編集する	65
お気に入り地点の 登録内容を編集する	65
お気に入り地点を消去する	65
ルートを編集する	66
ルートプロフィールで確認する	66
条件を変えてルートを再探索させる ..	66
ルートを消去する	67
立寄地を先送りする	67
デモ走行で確認する	67
その他のデータを編集する	68
携帯電話情報を消去する	68
検索履歴を消去する	68
ルートの学習内容を消去する	69
走行軌跡を消去する	70

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	72
VICS情報とは	72
地図上でVICS情報を見る	73
ルート上の渋滞情報を案内させる ..	74
VICSの文字・図形情報を見る	75

放送局を選ぶ	76
その他の情報の利用	77
センサー学習状況を見る	77
接続状態を確認する	78
eスタート案内を利用する	79

ナビゲーションの設定

ロゴマーク表示設定をする	82
機能設定をする	83
設定内容の詳細	84
通信設定をする	88
ユーザー登録について	88
通信機器使用上のご注意	89
Bluetoothの設定を行う	89
通信接続設定を行う	92
ナビゲーションの 音量設定をする	95
イージーセットアップをする	96
イージーセットアップを行う	96
イージーセットアップを開始する ..	96
リアルタイムプローブ設定をする	99
リアルタイムプローブ設定を行う ..	99
取得タイミングと連続取得の 取得動作について	100
その他の設定をする	101
ファンクションボタンを設定する ..	101
車両情報を設定する	102
カメラの入力設定をする	103
セキュリティロック設定を行う ..	104
自転車位置のずれを修正する	105
設定を初期状態に戻す	106

通信機能を使う

オンデマンドVICS情報・リアルタイム プローブ渋滞情報を利用する	108
オンデマンドVICSについて	108

リアルタイムプローブとリアルタイム プローブ渋滞情報について	108
渋滞情報の取得のしかた	109
地図上でオンデマンドVICS/リアル タイムプローブ渋滞情報を見る	110
プローブ情報を保存する	110
天気予報を利用する	111
駐車場満空情報を利用する	112
ガススタ価格情報を利用する	113

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	116
AVソース画面を表示する	116
AVソースを切り換える	116
AVソースをOFFにする	117
本機で再生可能なメディアと ファイルの種類	118

放送を受信する

ラジオを聞く	120
ラジオの放送を受信する	120
プリセットの種類を選ぶ	120
バンドを切り換える	121
放送局を手動で登録する	121
放送局の自動登録	121

交通情報を聞く	122
交通情報を受信する	122

TVを見る(内蔵ワンセグ)	123
ワンセグを受信する	123
プリセットの種類を切り換える ...	124
放送局を手動で登録する	124
サービスを切り換える	125
番組表を表示する	125
番組内容を表示する	125
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	126

字幕を切り換える	126
音声を切り換える	126
視聴者設定を消去する	126

TVを見る(パイオニア製 地上デジタルTVチューナー) ...	128
地上デジタルTV放送を受信する ...	128
プリセットの種類を切り換える ...	129
バンドを切り換える	130
放送局を手動で登録する	130
受信可能な中継局を探す	130
サービスを切り換える	130
番組情報を取得する	131
番組表を表示する	131
番組内容を表示する	132
データ放送を見る	132
データ放送画面の操作のしかた ...	133
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)	133
映像を切り換える	134
字幕を切り換える	134
音声を切り換える	134
サービスリストから チャンネルを選ぶ	134
地上デジタルテレビの 機能設定を行う	134

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	140
再生する	140
リストから選んで再生する	140
リピート再生	141
ランダム再生	141
ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く ...	142
再生する	142
リストから選んで再生する	142
リピート再生	143
ランダム再生	143

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	146
再生する	146
ディスクメニューの操作 （ダイレクトタッチ）	147
コマ送り再生	148
スロー再生	148
リピート再生	148
ブックマークの登録	149
ダイレクトサーチ	149
字幕言語の切り換え	149
音声言語の切り換え	150
アングルの切り換え	150
リターン再生	150
音声出力の切り換え	151
DVD-VRを見る	152
再生する	152
コマ送り再生	153
スロー再生	153
CMバック/スキップ	153
リピート再生	154
リストからタイトルを選んで 再生する	154
ダイレクトサーチ	154
字幕言語の切り換え	155
音声言語の切り換え	155
音声多重の切り換え	155
DVDの機能設定	156
基本字幕言語	156
基本音声言語	156
メニュー言語	157
マルチアングル	157
テレビアスペクト	157
視聴制限	158
オートプレイ	158
言語コード表	159

DivXを見る	160
再生する	160
コマ送り再生	160
スロー再生	161
リピート再生	161
リストからファイルを選んで 再生する	161
ダイレクトサーチ	162
字幕言語の切り換え	162
音声言語の切り換え	163

SDメモリーカード/USBメモリーを使う

音楽ファイルを聴く(SDメモリー カード/USBメモリー)	166
再生する	166
聴きたい曲を探す	167
リピート再生	167
ランダム再生	167
映像ファイルを見る (SDメモリーカード)	168
再生する	168
見たい映像を探す	169
リピート再生	169
ダイレクトサーチ	169

iPodを使う

iPodミュージックを聴く	172
再生する	172
聴きたい曲を探す	172
リピート再生	173
シャッフル再生	173
iPodビデオを見る	174
再生する	174
見たい映像を探す	175
リピート再生	175
シャッフル再生	175

Bluetooth AUDIOを使う

Bluetooth AUDIOの 操作のしかた	178
Bluetooth AUDIO機器の登録	178
再生する	178
リピート再生	179
ランダム再生	180
Bluetooth AUDIO機器の 接続について	180

その他の機器を使う

AUXを使う	182
外部機器の入力設定をする	182
外部機器の音声や映像を再生する	182
VTRを使う	183
映像入力の設定をする	183
ビデオを見る	183

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質を設定する	186
フェーダー / バランス設定	186
ラウドネス設定	187
イコライザー設定	187
ソースレベルアジャスター設定 ...	188
音場設定 (VSC)	189

オーディオのシステムを設定する

オーディオのシステムを 設定する	192
ワイドモード設定	193
消音タイミング	193
消音レベル	194
VTR設定	194

AUX設定	194
映像画面時計表示設定	194
ガイド/ハンズフリー SP設定	194
SD映像出力設定	195
DVDビデオ機能設定	195
DivX VODコード	195
TV機能設定	196
iPodワイドスクリーン	196

カメラ機能を使う

バックカメラを使う	198
バックカメラの映像を表示する ...	198
フロントカメラ・サイドカメラ+ バックカメラを使う	199
フロントカメラ・サイドカメラの 映像を表示する	199

携帯電話を使う

携帯電話を使う	202
ハンズフリー通話をする	202
電話の受けかた	202
電話のかけかた	203
メモリダイヤルを読み込む	205
通話中メニューの操作	206

その他の操作

画質を調整する	208
リアモニターを組み合わせた ...	209
リアモニターに表示される 映像について	209
タッチパネルの タッチ位置を調整する	210
設定内容の初期化と ユーザーデータの消去	211
パソコンリンクソフトからSDメモリーカードに 保存したデータを本機で使用する	212

SDメモリーカードに保存した データを本機へ転送する	212
パスワード入力が必要な 地図データを転送する場合	212

付 録

再生できるディスクの種類 214

DVDに表示されている マークの意味	215
ディスクの操作について	215

ディスクの構成について 216

DVDビデオ	216
CD	216

WMA/MP3/AAC/ DivXファイルについて 217

フォルダーとWMA/MP3 およびAACファイルについて	217
WMAとは?	217
MP3とは?	218
AACとは?	219
DivXとは?	219

ナビゲーションのしくみ 220

現在地がわかるしくみ	220
測位の精度を高めるためのしくみ ..	220
誤差について	221

故障かな?と思ったら 223

ナビゲーション	223
オーディオ	223

エラーメッセージと対処方法 228

共通項目	228
ナビゲーション	228
オーディオ	229

センサーメモリーの リセットについて 233

センサー学習状態の リセットが必要な場合	233
-------------------------------	-----

センサー学習状態の リセットのしかた	233
-----------------------------	-----

その他の情報 234

検索における データベースについて	234
ルートに関する注意事項	234
VICS情報に関する注意事項	235
シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア	236
阪神高速道路株式会社からの ご連絡	238
収録データベースについて	238

索引 240

メニュー索引	240
用語索引	242

記号・マーク一覧 251

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
!	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
メニュー	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：メニューを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」(P36)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押している（タッチしている）間だけ動作していることを示します。



メモ

- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

基本操作	12
基本的な操作のしかた	12
タッチパネルで操作する	12
ボタンで操作する	12
画面の切り換えかた	12
ナビゲーション画面と	
AVソース画面を切り換える	12
画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)	13
リスト画面の操作	13
基本的なリストの操作	13
50音タブの操作	13
サイドマップ表示時の50音タブの操作	13
サイドメニューの操作	14
チェックリストの操作	14
インジケーター付リストの操作	14
情報更新タッチキーの操作	14
文字の入力操作	15
文字の入力操作の流れ	15
文字の種類を切り換える	15
全角・半角を切り換える	15
濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える	15
アルファベットの太文字／小文字を切り換える ...	16
文字を入力する	16
基本操作	16
文字を削除する	16
スペースを空ける	16
文字を挿入する	16
無変換、変換を行う	17
漢字表から入力する	17
文字入力を終了する	17
URLの入力について	17
かな漢字変換できる記号	18

基本操作

本機の基本操作について説明します。

基本的な操作のしかた

本機は、以下の操作方法が基本となります。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチすること）で操作することができます。



終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。

また、ステアリングスイッチ（装備車のみ）を使って一部のオーディオ操作を行うこともできます。ステアリングスイッチの操作については、『スタートブック』をご覧ください。

画面の切り換えかた

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で **(AV)** を押す

AVソース画面が表示されます。



2 AVソース画面で **(現在地)** を押す

ナビゲーション画面が表示されます。



画面を一時的に消す (ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 **現在地** を長く押す

画面が一時的に消えます。

メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチしたり、**現在地** や **AV** を押すなどすると、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- カメラ機能(→P197)を使用中は、一時的にナビスタンバイモードを解除します。カメラ機能の使用が終了した時点で、自動的にナビスタンバイモードに戻ります。

リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



ページ送り 1画面ずつ移動します。	⏮ ⏭ にタッチする (タッチし続けると、 連続で移動します。)
タブ送り タブ付きリストでは選 んだタブのリストに切 り換わります。	タブ (例: ルート・ 案内) にタッチする

50音タブの操作



行送り リストを行送りするこ とができます。 (例: あ→か→さ→た→な)	タブ (あ~わ) にタッ チする
音送り リストを音送りするこ とができます。 (例: あ→い→う→え→お)	タブ (例: あ) に繰り返し タッチする

サイドマップ表示時の50音 タブの操作



あかさたな送り リストを次ページに送 ることができます。	⏮ にタッチする (例: あかさたな→ はまやらわ)
------------------------------------	---

メモ

- 前ページのリストに戻るには、⏮ にタッチします。
- サイドマップについては、「サイドマップについて」(→P27)を参照してください。

サイドメニューの操作



サイドメニュー

☑が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。リストの並べ替えや削除などの操作をすることができます。

☑にタッチするとサイドメニューを開くには、☑にタッチする

メモ

- サイドメニューに表示される項目（表示／非表示など）は、リストによって異なります。

インジケーター付リストの操作



インジケーター付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

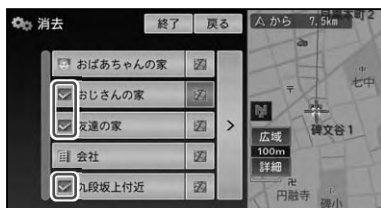
情報更新タッチキーの操作

情報更新タッチキーにタッチすると、選んだリスト項目の位置を右画面に表示することができます。



情報更新タッチキー

チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると☑（チェックマーク）が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると☑が消え、選択が解除されます。

また、チェックリストでは、サイドメニュー（→P14）を表示できるものがあり、サイドメニューから**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

文字の入力操作

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

メモ

- ・英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号、URLが入力できます。
- ・項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。
- ・本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える → 全角・半角を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り換えることができます。

1 全／半角 にタッチする

タッチすることにより、全角と半角が切り換わります。

文字の種類を切り換える

1 入力切換 にタッチする



2 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります。

メモ

- ・漢字変換入力をするには、**ひらがな** にタッチします。

濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 小文字 にタッチする

タッチすることにより、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

小文字 → 濁点 → 半濁点 → 元の文字に戻る

例1: ツ ツ → ッ → ズ → ツ

例2: ハ ハ → バ → パ → ハ

アルファベットの大文字／小文字を切り換える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り換えることができます。

1 大/小文字にタッチする

タッチすることにより、大文字と小文字が切り換わります。

文字を入力する

基本操作

1 入力したい文字にタッチする



文字を削除する

1 画面右上の◀・▶にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる

メモ

・パスワードまたは伏字や検索中の入力画面の場合は、◀・▶でカーソルを移動させることはできません。

2 削除にタッチする

タッチすることにより、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

・削除に長くタッチすると、全ての文字を一度に削除することができます。

スペースを空ける

1 画面右上の◀・▶にタッチして、スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させる

2 スペースにタッチする



文字を挿入する

1 画面右上の◀・▶にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

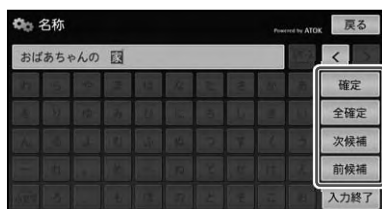
メモ

・カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

- 1 ひらがなを入力する場合は**無変換**、漢字に変換する場合は**変換**にタッチする
- 2 漢字に変換する場合は**次候補**と**前候補**で漢字を選んで、**確定**または**全確定**にタッチする



文字が入力されます。

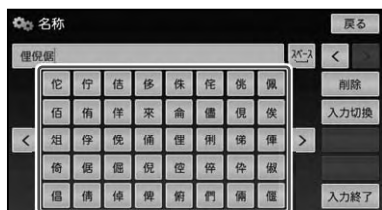
メモ

- ◀または▶にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

- 1 漢字表に切り換える(→P15)
- 2 漢字にタッチする



メモ

- 入力パレットの◀または▶にタッチすると、前のページまたは次のページが表示されます。

文字入力を終了する

- 1 **入力終了**にタッチする

URLの入力について

URLの入力が必要な場合は、自動的にURL入力画面が表示されます。

URL入力画面は2ページあり、**次ページ****前ページ**で切り換えます。



かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≤ ≥ ≪ ≫
ぶらす / たす	+
まいなす / ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん / むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふあ / あるふあー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい / きー	X x
かっぱ	K κ
がんま / がんまー	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい / ぴー	Π π
ふあい / ふいー	Φ φ
ぶさい / ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " ' ' () [] [] {} < > <> 「 」 『 』 []

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ ▲ ▼ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C ¥ \$ € £ %
ど	° °C
どる	\$
ばーせん	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぽんど	£

点

読み	記号
だくてん	°
てん	、 , … …
はんだくてん	°
まる	。 .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぶ	♪
から / ないし	~
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	\$
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	20
ナビメニューの操作	20
目的地メニュー	20
設定メニュー	20
リアルタイム情報メニュー	21
ショートカットメニューの操作	22
地図画面の操作	23
現在地画面を表示する	23
現在地画面の見かた	23
地図を動かす	24
スクロール画面の見かた	25
地図のスケールを変える	25
地図の向きや表示方法を変える	26
地図の向きを変える	26
地図の表示方法を変える	26
表示方法の種類	26
100mスケール一方通行表示をON/OFFする	27
サイドマップについて	27
サイドマップ画面の操作	28
走行中の音声案内	28
走行中表示される画面について	29
信号機が近づくと	29
有料道路を走行すると	29
ハイウェイモードについて	29
ハイウェイモード現在地画面の見かた	29
料金表示について	30
先の施設情報を見る	30
ジャンクションの分岐先の情報を見るには	31
サービスエリアや	
パーキングエリアで表示される情報	31
施設のイラスト表示について	32
渋滞情報表示について	32
有料道路の料金所に近づくと	32
走行中の道路を切り換える	32
自宅へ帰る	33
自宅を登録する	33
自宅までルート探索する	33

ナビゲーションの基本操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

1 ナビゲーション画面で**メニュー**を押す

ナビメニューが表示されます。



目的地	目的地や場所を探すときのメニューです。
設定	地図や情報の表示、ナビの機能設定や通信に関する設定、各種データの編集などを行うメニューです。
リアルタイム情報	リアルタイムプローブ情報や天気予報、携帯電話や駐車場満空情報など、情報の操作を行うメニューです。

目的地メニュー



自宅	自宅までのルートを探します。(→P33) 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→P33)
電話番号	目的地の電話番号を入力して検索します。(→P36)
住所	目的地の住所を入力して検索します。(→P37)

登録地	登録済みの地点から目的地を選んで検索します。(→P37)
名称	目的地の名称を入力して検索します。(→P38)
ジャンル	目的地のジャンルを指定して検索します。(→P38)
周辺施設	自動車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→P39)
検索履歴	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。(→P40)
お気に入り地点	お気に入りとして登録した地点から目的地を選んで検索します。(→P41)
ルート消去	案内中のルートを消去(中止)します。(→P57)

設定メニュー



情報	各種情報などを表示するメニューです。
設定	ナビゲーションや通信機能に関する設定を行うメニューです。
編集	ルートや登録地点の編集・消去などを行うメニューです。

情報トップメニュー



渋滞情報	渋滞情報の確認や情報取得を行います。(→P75)
センサー学習状況	ナビゲーションのセンサー学習状況を確認できます。(→P77)

接続状態	ナビゲーションに接続された機器の情報を確認できます。 (→P78)
eスタート	eスタートの状況を確認できます。 (→P80)

設定トップメニュー



ロゴマーク表示設定	ロゴマークの表示／非表示の設定を行います。(→P82)
機能設定	ナビゲーションに関する設定を行います。(→P83)
Bluetooth設定	本機にBluetooth機器を登録します。(→P89)
通信接続設定	通信機能を使うためのプロバイダを設定します。(→P92)
音量設定	ナビゲーションの案内音声や操作音の設定を行います。(→P95)
イージーセットアップ	画面の案内に従って、本機の基本設定を行うことができます。(→P96)
リアルタイムプローブ設定	リアルタイムプローブを利用するための設定を行います。(→P99)
その他	ファンクションボタンの設定やカメラの入力設定、設定の初期化などを行います。(→P101)

編集トップメニュー



ルート編集	設定したルート編集します。 (→P66)
登録地編集	登録した地点の情報を編集します。(→P62)
お気に入り地点編集	お気に入りとして登録した地点の情報を編集します。(→P65)
検索履歴消去	過去に検索した地点情報を消去します。(→P68)
メモリアル消去	お使いの携帯電話から本機に読み込んだメモリアル情報を消去します。(→P68)
学習ルート消去	学習したルート(ルート案内時に良く使う道)情報を消去します。(→P69)
走行軌跡消去	地図画面に表示される走行軌跡を消去します。(→P70)

リアルタイム情報メニュー



リアルタイムプローブ情報取得	リアルタイムプローブ情報を取得します。(→P109)
天気予報	天気予報データを取得します。(→P111)
携帯電話	携帯電話機能を使用できます。(→P202)
駐車場満空情報	駐車場の空き状況を確認できます。(→P112)
ガスタ価価格情報	ガソリンの価格情報を確認できます。(→P113)

メモ

- ・オプション設定(→P101)で「リアルタイム情報画面を表示する」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。

ショートカットメニューの操作

現在地画面や場所を探した後に操作するメニューです。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

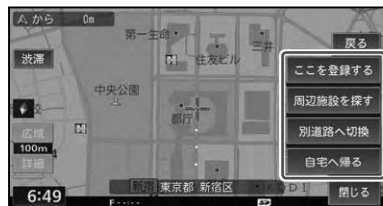
1 現在地画面またはスクロール画面でショートカットメニューにタッチする

十字カーソル位置または現在地に対して、それぞれの状況に応じたメニュー項目が表示されます。

メモ

- ・ **戻る** または **閉じる** にタッチすると、ショートカットメニューを閉じることができます。

現在地画面のとき



ここを登録する	現在いる場所を本機に登録することができます。(→P60)
周辺施設を探す	現在地周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P39)
別道路へ切替	一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種類の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。(→P32)
自宅へ帰る	自宅までのルート探索または自宅登録を行います。(→P33)

スクロール画面のとき



ここへ行く	スクロールした場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P44)
ここを登録する	スクロールした場所を本機に登録することができます。(→P60)
周辺施設を探す	スクロール地点周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P39)
自宅へ帰る	自宅までのルート探索または自宅登録を行います。(→P33)

検索結果画面のとき



ここへ行く	検索した場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P44)
ここを登録する	検索した場所を本機に登録することができます。(→P60)
詳細情報を見る	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、確認することができます。(→P42)
周辺施設を探す	検索した場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P39)

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 「現在地」を押す

現在地の地図が表示されます。

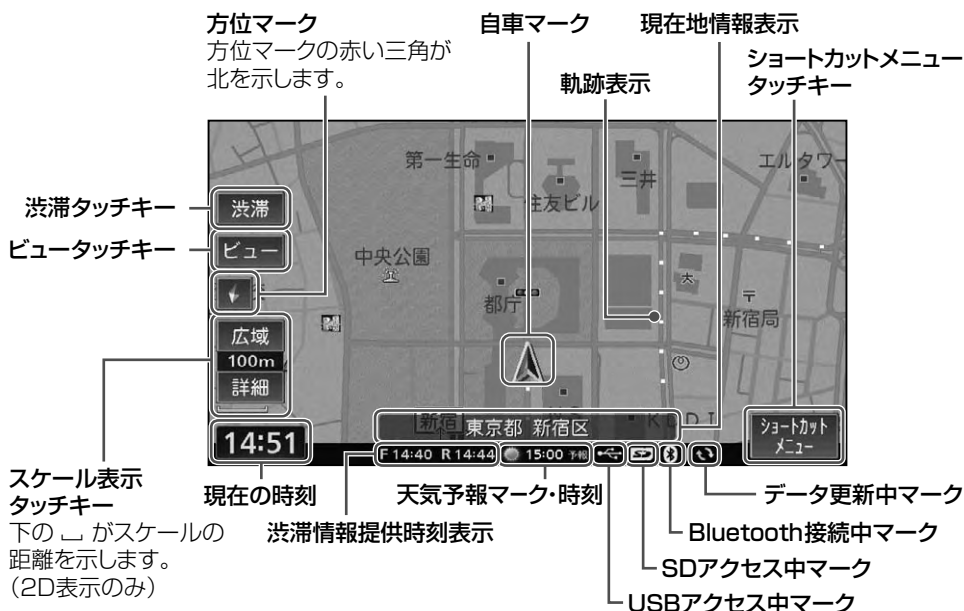


メモ

- ・現在地画面を表示している状態で「現在地」を押すと、登録した地図スケール(→P25)に切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー



つづく→

メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約250km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 現在地情報表示は、地図スケール表示が100m～1kmのときに市区町村名まで表示されます。10m～50mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。2km以上の場合は表示されません。場所によっては表示されないところもあります。
- 現在地情報表示は、「市区町村名」以外にも「走行道路名」「緯度経度」「OFF（何も表示しません）」の切り換えができます。→「機能設定をする」(P83)
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします（スクロール）。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- 8方向矢印（→P24）表示中またはシティマップ（→P26）の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。

2 位置を微調整したい場合は、**微調整**にタッチしてから、微調整したい方向の矢印（8方向）にタッチする



矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 微調整の操作は、地図の表示モードがノーマルビューの場合のみ可能です。

スクロール画面の見かた

ノーマルビュー

現在地から
十字カーソル
位置までの
直線距離

十字カーソル



現在地から十字カーソルを結んだ線

十字カーソル位置の地名

スクロール画面は、地図を移動させたときに表示されます。→「地図を動かす」(P24)

地図のスケールを変える

10m～500kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細または広域にタッチする



メモ

- **詳細**や**広域**にタッチするごとに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケール表示が変わります。
- **詳細**や**広域**にタッチし続けると、連続してスケールを変えることができます。

詳細	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
広域	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

地図の向きや表示方法を変える

地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きは次の2種類があります。



ヘディングアップ

「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転する。



ノースアップ

「北」が常に上になるように表示される。

マークにタッチすることにより向きが切り換わります。工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビュー にタッチする

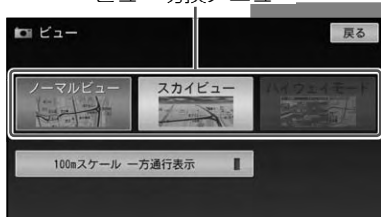


メモ

- **ビュー** に長くタッチすると、現在の地図スケールを登録します。登録したスケールは、現在地画面の場合でかつ登録したスケール以外のスケールで表示中に **現在地** を押すと呼び出すことができます。

2 地図の表示方法にタッチする

ビュー切換メニュー



ビュー切換メニュー	選んだ表示方法で地図を表示します。
100mスケール 一方通行表示	100mスケール時の一方通行の表示をON/OFFします。(→P27)



メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

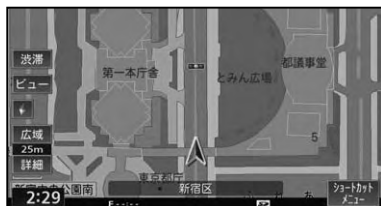
表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図(2Dの地図)で表示されます。



詳細市街地図収録エリア(→P236)では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



メモ

- ・シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- ・シティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)

スカイビュー

上空から見ていたような地図(3Dの地図)が表示されます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離や料金、予想到着(通過)時刻、分岐方向などが表示されます。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードについて」(→P29)をご覧ください。



100mスケール一方通行表示をON/OFFする

シティマップで表示される一方通行表示を、100mスケールでも表示させることができます。出荷時は「OFF」です。

1 ビュー 100mスケール一方通行表示にタッチする

タッチすると100mスケール一方通行表示のON/OFFが切り換わります。



メモ

- ・ハイウェイモードのサイドマップの場合は、表示できません。
- ・地図のスケールを100m以外に設定している場合、ONに設定すると自動的に100mスケールに切り換わります。

サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- ・リストの基本的な操作については、「基本的なリストの操作」(→P13)をご覧ください。
- ・サイドマップ画面の操作については、「サイドマップ画面の操作」(→P28)をご覧ください。

つづく→

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。



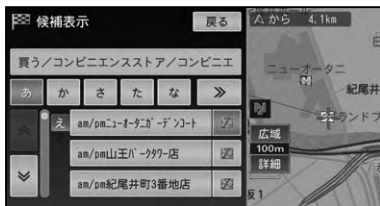
情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。

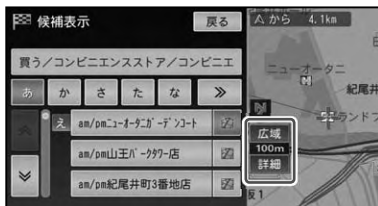


リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、情報更新タッチキーが選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地や選んだ場所からの距離が表示されます。



サイドマップ画面の操作



サイドマップ付きリスト画面では、情報更新タッチキーが選択されているリスト項目の位置が、サイドマップに表示されます。

候補表示画面

周辺検索時の候補表示画面などでは、情報更新タッチキーが選択されている施設に矢印マークが付きます。



詳細	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
広域	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います（セーフティインフォメーション）。

有料道注意地点・ 県境案内	- ここからおよそ〇キロ先までは、十分運転に注意してください。 - この先、右からの合流があります。ご注意ください。 - この先、左からの合流があります。ご注意ください。 - この先、合流があります。ご注意ください。 〇〇県に入ります。
------------------	--

踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。
パーキングアラート	パーキングブレーキを解除してください。

メモ

- ・有料道路注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- ・踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- ・日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- ・それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)

走行中表示される画面について

信号機が近づく

進行方向に対して、約300m以内の信号機のマークが最大5カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。



メモ

- ・オートハイウェイモードは、ON/OFF できます。→「機能設定をする」(P83)
- ・一部表示対象外の有料道路もあります。
- ・手動でハイウェイモードに切り換えるには、有料道路走行中にビュー切り換えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→「地図の表示方法を変える」(P26)

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモード現在地画面の見かた



メモ

- ・ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ・ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と予想到着(通過)時刻が表示されます。
- ・次の施設には、施設のサービス情報(→P31)と料金(IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合)が表示されます。
- ・次の施設にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示させることができます。
- ・次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。また併設している分岐施設がある場合は、施設を選択する画面が表示されます。
- ・次の施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・VICS情報を取得している場合は、VICS情報(→P74)が表示されます。
- ・ルート案内中は、有料道路出口のおおよそ1km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ・**ビュー**にタッチすると、他の地図表示を選んで切り換えることができます。また、他の地図表示からハイウェイモードに戻すと、右画面は直前の地図表示のアングルで表示されます。(例えば直前の地図表示がスカイビューの場合、ハイウェイモードの右画面は3Dで表示されます。)

料金表示について

- ・有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- ・料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「**有料道路料金データについて**」(P239)
- ・料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「**車両情報を設定する**」(P102)
- ・各種ETC割引料金については対応していません。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 ▲、▼にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- ・先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- ・サイドマップ(→P27)には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ・ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- ・選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。地図表示した施設は、検索履歴(→P40)に登録されます。
- ・選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。また併設している分岐施設がある場合は、施設を選択する画面が表示されます。
- ・100施設先まで見ることができます。
- ・選んだ施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・**現在地**を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

ジャンクションの分岐先の情報を見るには

ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中でジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



メモ

- **地図表示** にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。確認後、**戻る** にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

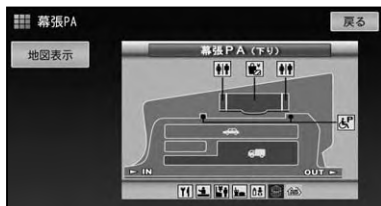
	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。



メモ

- **地図表示** にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報がそれぞれ1つずつ画面に表示されます。



メモ

- 施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク（→P74）が表示されます。

有料道路の料金所に近づく

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づく、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- ETCレーン案内表示は、ETC車載器が接続されていなくても表示されます。
- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 ショートカットメニュー（→P22）で別道路へ切替にタッチする

異なる種別の道路へ自車位置が修正されます。

メモ

- 自車位置が修正できない場合もあります。
- ルート案内中は、自車位置を修正後ルートを探し直します。

自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

1 自宅に車を止め、ナビゲーション画面で「メニュー」を押し、「目的地」-「自宅」-「はい」にタッチする



自宅が登録されます。

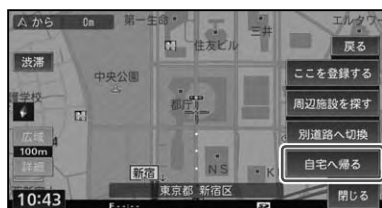
メモ

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マークが自動的に入力されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P36)を参照して自宅の場所を探してください。
- イージーセットアップ(→P96)で登録することもできます。
- ショートカットメニュー(→P22)の「自宅へ帰る」にタッチして自宅を登録することもできます。
- 場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「場所を登録する」(P60)
- 自宅の位置は変更できます。→「登録地の登録内容を編集する」(P62)
- 目的地メニューおよびショートカットメニューの操作で自宅を登録し直す場合は、登録済みの自宅を削除(→P63)してから行ってください。場所を登録する操作およびイージーセットアップで自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 ショートカットメニュー(→P22)で「自宅へ帰る」にタッチする



自宅までのルートが1本だけ探索されます。探索が終了すると自動的にルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくるとルート案内は終了します。

メモ

- オプション設定(→P101)で「自宅へ帰る」を割り当てている場合は、「F」(ファンクションボタン)を押して操作することもできます。
- 自宅へのルート探索は、目的地メニュー(→P20)から行うこともできます。その場合、探索されるルートは最大6本となり案内開始画面(→P45)が表示されます。「案内開始」にタッチするかパーキングブレーキを解除すると、ルート案内を開始します。

場所を探す	36
地図で探す	36
電話番号で探す	36
住所で探す	37
登録地から探す	37
名称で探す	38
ジャンルで探す	38
周辺施設を探す	39
ロゴマークの表示を解除するには	40
検索履歴から探す	40
お気に入り地点から探す	41
詳細情報を見る	42

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路の上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 場所(施設など)を検索したときに、十字カーソルから少し離れた場所に旗のマークが表示されることがあります。そのような施設では、スクロールせずにそのまま目的地に設定すると、表示されている旗のマークの場所が目的地に設定されます。(駐車場ポイントリンク)

地図で探す

地図上で探すことができます。

- 1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる
- 2 ショートカットメニューにタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

- 1 **メニュー** を押し、**目的地** — **電話番号** にタッチする
- 2 電話番号を入力する



電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了** にタッチします。

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます(090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。

- ・ダイヤルQ2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。
- ・タウンページに登録されているフリーダイヤル(0120-〇〇)は、検索できます。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

- 1 **メニュー** を押し、**目的地** - **住所** にタッチする
- 2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする



メモ

- ・**主要部** にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。

- 3 番地、号を入力し、**入力終了** にタッチする



メモ

- ・番地を入力しないで **入力終了** にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- ・住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

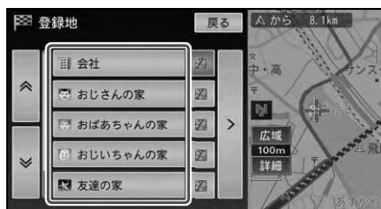
入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

登録地から探す

登録した場所のリストから探すことができます。

- 1 **メニュー** を押し、**目的地** - **登録地** にタッチする
- 2 目的の場所にタッチする



選んだ登録地を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** — **名称** にタッチする

2 施設の名称をひらがなで入力し、**候補表示** にタッチする



ジャンル ジャンルによる絞り込みができます。

エリア 都道府県による絞り込みができます。

メモ

- ・ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- ・名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます（キーワード検索）。
- ・濁音（゛）や半濁音（゜）の入力は省略できます。また、促音（よ）などは（よ）などで代用できます。
- ・名称を10文字目まで入力すると、自動的に検索対象を絞り込んでリスト表示します。
- ・入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設をリストから探す



4 施設名称にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作（→P22）を参照してください。

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

検索できるジャンル

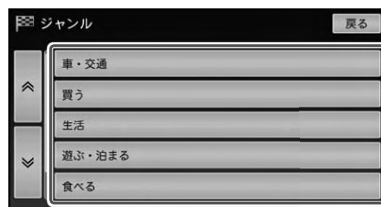
- ・車・交通
- ・買う
- ・生活
- ・遊ぶ・泊まる
- ・食べる
- ・新規スポット

メモ

- ・ジャンル検索では、必ず「ジャンル」→「都道府県・市区町村（または路線）」の順に指定しますが、選んだジャンルと都道府県・市区町村（または路線）の組み合わせによっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

1 **メニュー** を押し、**目的地** — **ジャンル** にタッチする

2 探している施設のジャンルを絞り込む



メモ

- ・選んだジャンル内すべての施設を検索したい場合は、詳細ジャンルリストの先頭に表示される **〇〇〇すべて** にタッチします。

3 都道府県、市区町村の順にタッチする



メモ

- ・車・交通機関のジャンルから「駅」または「高速道路施設」を選んだ場合は、路線別を選びリストが表示されます。
- ・選んだ都道府県内すべての施設を検索したい場合は、都道府県リストの先頭に表示される **〇〇県すべて** にタッチします。

4 目的の施設にタッチする



施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大100件まで探すことができます。

メモ

- ・ショートカットメニュー(→P22)の **周辺施設を探す** にタッチして操作することもできます。

1 メニューを押し、目的地ー周辺施設にタッチする

2 ジャンルにタッチする



3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

4 目的の施設にタッチする



自車周辺	自車周辺の施設を検索します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設を検索します。 (ルート案内中のみ)

つづく→

メモ

- スクロール位置から操作した場合は、**自車周辺**および**ルート周辺**は表示されません。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- コンビニでは、酒()・タバコ()を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ファストフードでは、ドライブスルー()対応の店がわかるように表示されます。
- , , , は一部表示されない施設もあります。
- 駐車場は、「**車両情報を設定する**」(→P102)の「**駐車制限**」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は()と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は**自車周辺**にタッチします。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200mから検索されます。自車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自車位置またはスクロール位置の半径約10kmの範囲から検索されます。半径約10kmの範囲内に施設が見つからなかった場合は、半径約30kmの範囲から検索されます。

5 施設名にタッチする

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

また検索した施設のロゴマークが、地図上に表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

ロゴマークの表示を解除するには

1 P39手順2または手順3で
➤ 結果消去にタッチする

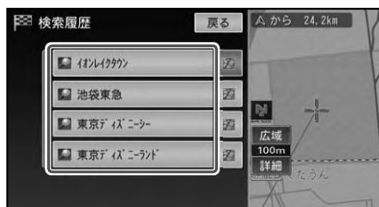
ロゴマークが消去されます。

メモ

- 車のエンジンスイッチをOFFにしてもロゴマークを消去できます。

検索履歴から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所、ハイウェイモード中に地図表示した施設から探すことができます。

1 **メニュー** を押し、**目的地** —
検索履歴 にタッチする
2 **目的の施設(履歴名)にタッチする**

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。

お気に入り地点から探す

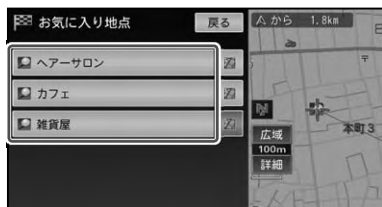
お気に入り地点として登録した場所（最大5件）のリストから探すことができます。

メモ

- お気に入り地点の登録は、「お気に入り地点に登録すると」(→P61)をご覧ください。

1 **メニュー** を押し、**目的地** – **お気に入り地点** にタッチする

2 目的の場所にタッチする



▼
選んだ場所までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。

詳細情報を見る

検索した場所の詳細情報を見ることができます。

1 場所を探して (→P36) ショートカットメニュー (→P22) を表示させる

2 詳細情報を見る にタッチする

 メモ

- 施設によっては、詳細情報が無いものもあります。

3 情報を確認する



地図表示	地図画面が表示されます。
次ページ	次のページに切り換えます。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P204)

 メモ

- 登録地や検索履歴の詳細情報を表示した場合は、**消去**が表示され、登録地や検索履歴を消去することができます。

ルートを探索する	44
案内開始画面の操作	44
案内開始画面の見かた	45
ルート案内を開始する	45
他のルートを選ぶ	46
スクロール確認画面の操作	46
ルート地図を表示する	46
ルートプロフィールで確認する	47
詳細ルート設定をする	47
立寄地を追加する	47
乗降IC（インターチェンジ）を指定する	48
出発地を指定する	49
ルート探索機能について	50
学習ルート探索	50
スマートICを考慮したルート探索	50
渋滞情報を考慮したルート探索 （渋滞考慮ルート探索）	50
ルート誘導・案内	51
ルート案内中の現在地画面	51
案内地に近づくとき	52
案内地のイラスト表示	52
都市高速道路の入口に近づくとき	52
有料道路の分岐に近づくとき	52
有料道路の出口や料金所を通過するとき	53
音声による誘導・案内	53
進行方向案内	53
一般道路走行時の案内	54
有料道路を走行しているときは	54
ルート案内中の操作と機能	55
ルートから外れたときに	
自動的にルートを再探索する	55
状況に応じて新しいルートを提案する	55
ルート上に通行止めが発生した場合	55
次の案内地を確認する	56
ルート上の渋滞情報を案内させる	56
渋滞オートガイド	56
渋滞チェック	56
ルートを消去する	57

ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

案内開始画面の操作

1 場所を探して (→P36) 行き先を決めショートカットメニュー (→P22) を表示させる

2 ここへ行く にタッチする



メモ

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路] か [有料道路] を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。
- 渋滞考慮ルート探索 (→P50) が「ON」の場合は、取得しているリアルタイムプローブ情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

案内開始	現在選ばれているルートで案内を開始します。(→P45)
ルートプロフィール	出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。(→P47)
他のルート (探索ルートが複数の場合)	現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。(→P46)
ルート地図 (探索ルートが1本の場合)	立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。(→P46) ルート地図画面では、地図のスクロール(→P24)とスケール変更(→P25)ができます。
詳細ルート設定	立寄地指定(→P47)、乗降IC指定(→P48)、出発地指定(→P49)ができます。

メモ

- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」(→P85)、「有料道路使用条件」(→P85)の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降ICを指定した場合、探索されるルートは1本のみとなります。

ルート案内開始画面が表示されます。



案内開始画面の見かた

探索条件
現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

IC表示(インターチェンジ)
利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

メニュー表示
メニューが表示されます。

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

距離: 選ばれているルートの総距離が表示されます。

所要時間: 機能設定(→P83)で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。

料金: 利用する有料道路の料金区分と料金が表示されます。

ルート

メモ

- 案内開始画面は、ノースアップ(→P26)となります。
- 渋滞情報(→P72)が取得できている場合は、渋滞を考慮した所要時間が表示されます。
- 料金区分と料金表示は、「車両情報を設定する」(→P102)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。
- 料金非対応路線を含むルートの場合、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルート案内を開始する

1 案内開始にタッチする(→P44)か、パーキングブレーキを解除する

状況に応じて画面と音声でルート案内を行います。目的地に近づくとルート案内は終了します。

メモ

- ルート案内を中止するには、ルートを消去します。(→P57, 67)

他のルートを選ぶ

1 他のルート にタッチする (→P44)

2 1 ~ 6 の番号でルートを選び 決定 にタッチする



地図スクロール スクロール確認画面(→P46)でスケール変更と地図のスクロールができます。

メモ

- 最大6本の候補ルートから選ぶことができます(候補ルートが同じになる場合もあります)。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。

スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P24)とスケール変更(→P25)ができます。



また、**候補切換**にタッチするごとに、ルートが切り換わり、**決定**にタッチすると選んだルートに設定します。



ルート地図を表示する

1 ルート地図 にタッチする (→P44)

2 決定 または 戻る にタッチする



ルートプロフィールで確認する

- 1 **ルートプロフィール** にタッチする(→P44)
- 2 **案内開始** または **戻る** にタッチする



メモ

- ルート編集メニュー(→P66)からの操作では、**案内開始**ではなく、**終了**が表示されます。

詳細ルート設定をする

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

メモ

- ショートカットメニュー(→P22)の**ここへ行く**→**立寄地**にタッチして操作することもできます。その場合は、その場所へ最初に立ち寄るルートとなります。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

1 詳細ルート設定 - 立寄地指定にタッチする(→P44)



2 追加にタッチする



3 場所を探して(→P36) 立寄地を決め、決定にタッチする



メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 探索開始にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え	前の立寄地から近い順に並べ替えます。
オート	
並べ替え	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。
マニュアル	

メモ

- さらに立寄地を追加するとき、手順 **2** ～ **3** の操作を繰り返します。
- 立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- 乗降ICを指定 (→P48) した場合は、それぞれが立寄地として扱われます。また、**並べ替え** - **オート** は選択できません。

指定した立寄地に立ち寄るルートが1本だけ探索され、案内開始画面 (→P44) が表示されますので、案内開始にタッチします。

乗降IC (インターチェンジ) を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

メモ

- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。

1 詳細ルート設定 - 乗降IC指定にタッチする



2 入口IC指定または出口IC指定にタッチする



3 入口または出口となるインターチェンジにタッチする



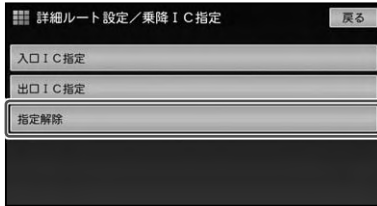
指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

メモ

- ジャンクション (JCT) を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降 IC 指定を解除するには

1 P48の手順 2 で 指定解除 にタッチする



2 入口・出口 / 入口のみ / 出口のみにタッチする



3 はい にタッチする

乗降 IC 指定を解除して、ルートが探索されます。

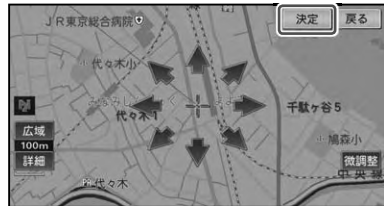
出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 詳細ルート設定 - 出発地指定 にタッチする(→P44)



2 場所を探して (→P36) 出発地を決め、決定 にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

1 P49の手順 1 で 出発地指定解除 にタッチする



2 はい にタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルート探索機能について

学習ルート探索

出発地、立寄地、目的地付近でよく使う道を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去(→P69)してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことを言います。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。工場出荷時は「OFF」です。

メモ

- スマートIC考慮ルート探索では、スマートICの営業時間は考慮されないため、実際のスマートICが営業時間外であっても乗降ICの対象となる場合があります。その場合は、実際のスマートICの状況に従ってください。
- スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- イージーセットアップ(→P96)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にスマートIC考慮ルート探索の設定が「ON」になります。

渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)

リアルタイムプローブ渋滞情報(→P108)を取得している場合、渋滞情報をもとに渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 渋滞情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- リアルタイムプローブ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、「機能設定をする」(→P83)で設定した到着予想時刻速度と走行中の平均速度、渋滞予測データの内容がそれぞれ反映されます。またVICS情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、「機能設定をする」(→P83)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄地」とすることで、立寄地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、左側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が“案内地”と表示される場合があります。
- 案内地に近づく(一般道:約700m、有料道:約2km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- 情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。
- ルート探索については、「ルートに関する注意事項」(→P234)を参照してください。

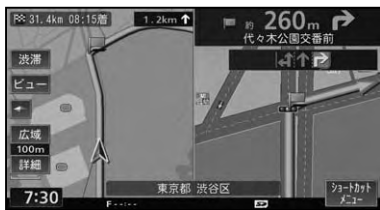
案内地に近づく

案内地の手前約500mに近づく、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

アローガイド（工場出荷時の設定）



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、アローガイド／拡大図の変更ができます。→「機能設定をする」(P83)
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークが表示されます。
- 「拡大図」では、目印になる施設がある場合、ランドマークが表示されます。

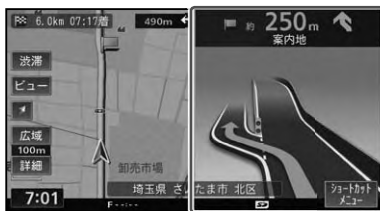
案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づく

ルート上の都市高速道路入口の手前約300mに近づく、イラストが表示されます。



メモ

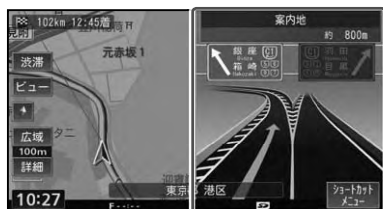
- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づく

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づく、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。

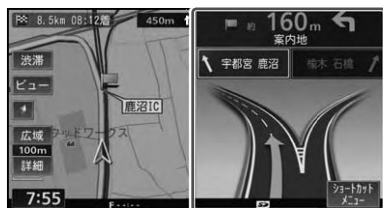


メモ

- ・地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



メモ

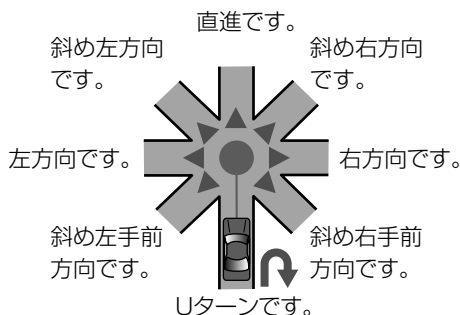
- ・地点により、イラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で以下のように案内されます。



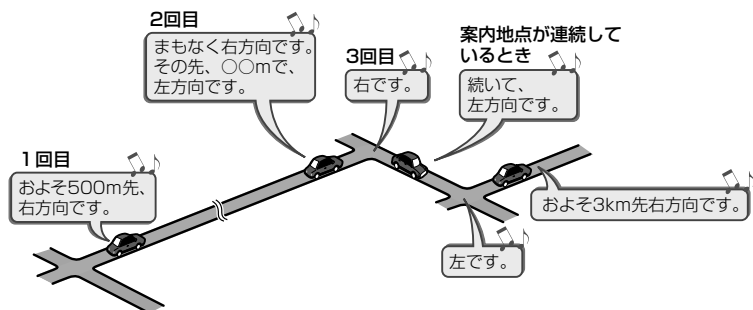
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。

メモ

- ・右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- ・誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。



立寄地に近づいたら

立寄地の約300m手前に近づくと、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路を走行しているときは

ルート上の有料道路分岐の手前約2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1kmに近づくと、イラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

メモ

- 料金表示は、車両情報設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「[車両情報を設定する](#)」(P102)
- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。

状況に応じて新しいルートを提案する

新しいルートが見つかった、「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートを表示します(渋滞考慮オートリルート)。

1 新ルート または 元ルート にタッチする



選んだルートでルート案内が再開されます。

メモ

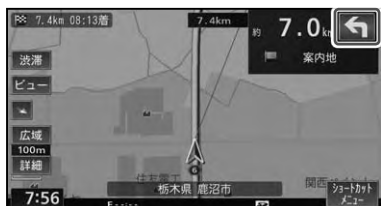
- 渋滞考慮オートリルートはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)
- 渋滞考慮オートリルートの案内が行われてから、一定区間を走行する間に新ルートまたは元ルートの選択がされなかった場合は、機能設定の「渋滞考慮オートリルート自動決定ルート」の設定に従い自動的に決定されます。渋滞考慮オートリルート自動決定ルートの設定は変更できます。→「機能設定をする」(P83)
- リアルタイムプローブ渋滞情報(→P108)を取得している場合は、渋滞情報が考慮されます。リアルタイムプローブ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- 案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- 渋滞情報や規制情報の更新による渋滞考慮オートリルートが行われた場合、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートの方のみ案内となります。**確認**にタッチしてください。

次の案内地を確認する

ルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地の音声案内と地図表示を行います。



ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。



メモ

- VICS情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- 音声では、例：「およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。」と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。



メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。



メモ

- **渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の情報まで順に案内させることができます。
- 案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

ルートを消去する

ルート案内を中止したい場合は、設定したルートを消去します。



メモ

・ルート編集メニューから消去することもできます。(→P67)

1 **メニュー** を押し、**目的地** に
タッチする

2 **ルート消去** にタッチする



3 **はい** にタッチする



案内中のルートが消去されます。



メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

場所を登録する	60
場所を登録する	60
選べる登録方法について	61
お気に入り地点に登録すると	61
登録地を編集する	62
登録地の登録内容を編集する	62
登録した場所の名称を地図上に表示させる	63
効果音の鳴りかた	63
登録地を消去する	63
登録地を保存する	64
登録地を読み込む	64
お気に入り地点を編集する	65
お気に入り地点の登録内容を編集する	65
お気に入り地点を消去する	65
ルートを編集する	66
ルートプロフィールで確認する	66
条件を変えてルートを再探索させる	66
ルートを消去する	67
立寄地を先送りする	67
デモ走行で確認する	67
その他のデータを編集する	68
携帯電話情報を消去する	68
検索履歴を消去する	68
ルートの学習内容を消去する	69
走行軌跡を消去する	70

場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

メモ

- ・自宅を含め1001地点まで登録できます。
- ・登録地の情報をSDメモリーカードに保存したり、登録地のデータをSDメモリーカードから、本機に読み込ませたりすることができます。→「登録地を保存する」(P64)、「登録地を読み込む」(P64)
- ・登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の登録内容を編集する」(P62)

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探索することができます。

また、登録した場所へ電話をかけたり近づく、自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す(→P36)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

メモ

- ・現在地を登録したいときは、現在地画面で**ショートカットメニュー**にタッチします。

2 ここを登録する にタッチする



メモ

- ・走行中は、手順2の操作後に地点が登録されます。手順3の画面は表示されません。

3 登録方法を選んでタッチする



4 入力終了 にタッチする



メモ

- ・ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- ・手順4で登録する名称を変えることができます。→「文字の入力操作」(P15)

選べる登録方法について

登録方法	登録内容
「この地名」で登録する	「探した場所の地名」
「検索施設名称」で登録する	「探した場所の施設名称」
「自宅」で登録する	「自宅」
「会社」で登録する	「会社」
「実家」で登録する	「実家」
「友達の家」で登録する	「友達の家」
「おじいちゃんの家」で登録する	「おじいちゃんの家」
「おばあちゃんの家」で登録する	「おばあちゃんの家」
「おじさんの家」で登録する	「おじさんの家」
「おばさんの家」で登録する	「おばさんの家」
「田舎」で登録する	「田舎」
「ふるさと」で登録する	「ふるさと」
「彼女の家」で登録する	「彼女の家」
「彼氏の家」で登録する	「彼氏の家」
名前をつけて登録する	お好みの名前をつけて登録することができます。
お気に入り地点に登録する	お気に入り地点として登録することができます。(→P61)

お気に入り地点に登録すると

よく行く地点や気になる地点をお気に入り地点のリストに登録しておく、かんたんに探し出して目的地とすることができます。→「お気に入り地点から探す」(P41)

メモ

- お気に入り地点は最大5件まで登録できます。
- すでに5件登録されている場合に、さらに登録操作を行う場合は、リストから上書きする地点を選んで操作してください。
- お気に入り地点の登録内容は、あとから編集することができます。→「お気に入り地点の登録内容を編集する」(P65)

登録地を編集する

登録地に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更したり、登録地を保存・読込・消去したりすることができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** — **登録地編集** にタッチする



登録地の編集メニュー画面が表示されます。

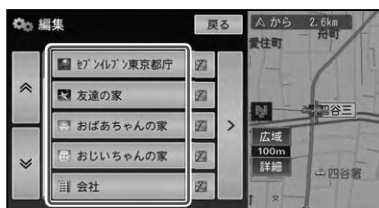


編集	登録時に設定された内容を編集することができます。(→P62)
消去	登録地を消去することができます。(→P63)
保存	本機に挿入したSDメモリーカードに登録地を保存することができます。(→P64)
読込	本機に挿入したSDメモリーカードから登録地を読み込むことができます。(→P64)

登録地の登録内容を編集する

1 **編集** にタッチする

2 登録内容を編集したい地点にタッチする



メモ

- ▶にタッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

3 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。
-----------	-----------------------------------

電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

4 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の  マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。



プライベートマッピング



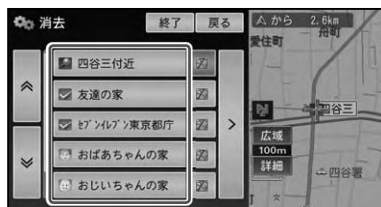
効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自転車から約500m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約500m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか本機の電源を入れ直さないと(エンジンをかけ直さないと)効果音は鳴りません。
- 登録地の効果音よりも、ルート、VICSの音声案内が優先されます。
- 「あいさつ」に設定すると、時刻によって効果音が変わります。

登録地を消去する

1 消去にタッチする(→P62)

2 消去したい登録地にタッチする



選んだ登録地には、チェックマーク  が付き、引き続き選ぶことができます。

つづ→

メモ

- ・**☑**にタッチするとサイドメニューが表示されます。

全選択	すべての登録地が選択されます。
全解除	選択されている登録地すべてを解除します。または解除したい登録地を選んで解除できます。
呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

3 終了にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

登録地が消去されます。

メモ

- ・詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(P42)

登録地を保存する

1 保存にタッチする(→P62)

確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチする

SDメモリーカードに登録地が保存されます。

！ 注意

- ・登録地の保存中は、本機の電源をOFFにしたり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

メモ

- ・**中止**にタッチすると、登録地の保存を中止できます。

登録地を読み込む

1 読込にタッチする(→P62)

確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチする

SDメモリーカード内の登録地が本機に読み込まれます。

！ 注意

- ・登録地の読み込み中は、本機の電源をOFFにしたり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

メモ

- ・**中止**にタッチすると、登録地の読み込みを中止できます。

お気に入り地点を編集する

お気に入り地点に関する情報（名称、電話番号、効果音、位置）を変更したり、お気に入り地点を消去したりすることができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **お気に入り地点編集** にタッチする



お気に入り地点の編集メニュー画面が表示されます。



編集 お気に入り地点として登録した情報を編集することができます。(→P65)

消去 お気に入り地点として登録した場所を消去することができます。(→P65)

2 登録内容を編集したい地点にタッチする



以降の手順は、「登録地の登録内容を編集する」(→P62)の手順**3**以降と同様です。

お気に入り地点を消去する

1 **消去** にタッチする(→P65)

2 消去したい地点にタッチする



選んだ地点には、チェックマーク ☒ が付き、引き続き選ぶことができます。

3 **終了** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 **はい** にタッチする

選んだ地点が消去されます。

お気に入り地点の登録内容を編集する

1 **編集** にタッチする

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** — **ルート編集** にタッチする



ルートの編集メニュー画面が表示されます。



ルートプロフィール 設定したルートを確認することができます。(→P66)

詳細ルート設定 立寄地の追加など、ルートを詳細に設定することができます。(→P66)

ルート消去 案内中のルートを消去することができます。(→P67)

立寄地送り 登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探検し直すことができます。(→P67)

デモ走行 出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。(→P67)

メモ

- オプション設定(→P101)で「ルート編集画面を表示する」を割り当てている場合は、**(F)**(ファンクションボタン)を押して操作することもできます。

ルートプロフィールで確認する

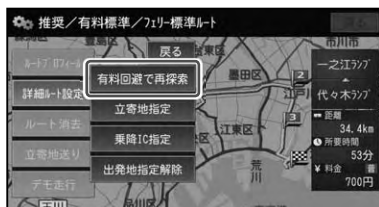
操作方法は、「ルート案内開始画面の操作」—「ルートプロフィールで確認する」(→P47)と同様です。

条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「詳細ルート設定をする」(→P47)と同様です。

1 詳細ルート設定 — 有料回避で再探索または有料標準で再探索にタッチする



メモ

- 上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定(→P83)には反映されません。

ルートを消去する

1 ルート消去にタッチする (→P66)

2 はいにタッチする



ルートが消去されます。

メモ

- ・消去したルートを元に戻すことはできません。

メモ

- ・デモ走行中は、画面右側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- ・デモ走行中は、ルート編集メニュー (→P66) に**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了させることができます。
- ・デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

立寄地を先送りする

1 立寄地送りにタッチする (→P66)

次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

デモ走行で確認する

1 デモ走行にタッチする (→P66)



その他のデータを編集する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

携帯電話情報を消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

メモ

- 本機に記録されているデータが消去されます。接続した携帯電話側のデータは消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える(→P91)と、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **メモリダイヤル消去** にタッチする



3 消去したい電話番号にタッチする



選んだ電話番号には、チェックマーク ☒ が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **▶** にタッチするとサイドメニューが表示されます。

全選択 すべての電話番号が選択されます。

全解除 選択されている電話番号すべてを解除します。または解除したい電話番号を選んで解除できます。

4 **終了** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする

選んだ電話番号が消去されます。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として100件まで保存されていきます。

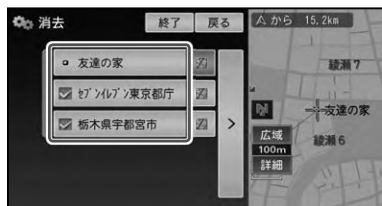
次の手順で検索履歴を消去することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **検索履歴消去** にタッチする



3 消去したい検索履歴にタッチする



選んだ検索履歴には、チェックマーク✓が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- > にタッチするとサイドメニューが表示されます。

全選択	すべての検索履歴が選択されます。
全解除	選択されている検索履歴すべてを解除します。または解除したい検索履歴を選んで解除できます。

4 終了 にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 はい にタッチする

選んだ検索履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→「学習ルート探索」(P50)

よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

メモ

- すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 メニュー を押し、設定 にタッチする

2 編集 - 学習ルート消去 にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

学習ルートが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

メモ

- 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「機能設定をする」(P83)

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **編集** - **走行軌跡消去** にタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする

▼
走行軌跡が消去されます。

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	72
VICs情報とは	72
VICs情報の表示形態	72
地図上でVICs情報を見る	73
緊急情報の自動表示	74
ルート上の渋滞情報を案内させる	74
渋滞オートガイド	74
渋滞チェック	74
VICsの文字・図形情報を見る	75
放送局を選ぶ	76
放送局の受信状態の確認について	76
その他の情報の利用	77
センサー学習状況を見る	77
接続状態を確認する	78
eスタート案内を利用する	79
急発進と判定されると	79
eスタート状況を確認する	80

FM-VICS情報を利用する

車載のアンテナでFM-VICS 情報（VICS センターから提供）を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

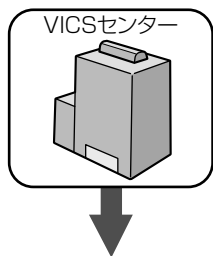
メモ

- 通信を必要とする渋滞情報に関しては、「オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する」(→P108)をご覧ください。

VICS情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見えることもできます。



本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

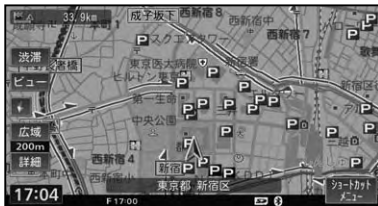
VICS情報の表示形態

VICS 情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル 3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



レベル 2: 簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1: 文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重放送によるVICS情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P76)
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自転車周辺の規制情報を文字表示と音声でお知らせします。（→P74）

VICSマークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制 (数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場 (空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒)		

「VICSレベル 3 情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送による VICS 情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P76)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺の VICS 情報 (道塗り情報) と別のエリア (隣接する都道府県など) の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ 3km 先、1km の渋滞が発生しています。通過に 5 分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFF できます。→「機能設定をする」(P83)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞 にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。



メモ

- ・**渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **渋滞情報** にタッチする



3 表示させたい情報にタッチする



図形情報	レベル2 (簡易図形) の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1 (文字) の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



メモ

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**<**、**>** にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終** にタッチすると、先頭ページ / 最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局** にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「**放送局を選ぶ**」(P76)
- ・オプション設定 (→P101) で「VICS図形情報画面を表示する」を割り当てている場合は、**F** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。

放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するとき
は、最も受信感度のよい放送局を選びます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **渋滞情報** にタッチする



3 **放送局選択** にタッチする



4 **放送局を探す方法** にタッチする



オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信可能な状態にある場合「OK」、受信できない状態にある場合は「NG」と表示されます。

その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

センサー学習状況を見る

センサーの学習状況を確認できます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **センサー学習状況** にタッチする



トリップメーター / 車速パルス数

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数が表示されます。

メモ

- ・ **トリップメーター** または **車速パルス数** にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。

センサー学習

現在の走行モード (3Dハイブリッドモード／簡易ハイブリッドモード) または「センサー初期学習中」が表示されます。

メモ

- ・ **センサー学習** にタッチすると、**オールリセット** と **距離学習リセット** が表示されます。 **オールリセット** にタッチすると、センサー学習をすべてリセットすることができます。 **距離学習リセット** にタッチすると、距離学習のみリセットすることができます。本体の取付け位置または角度を変更した場合や別車両へ載せ換えた場合は、**オールリセット** にタッチしてください。また、距離精度が悪い場合には、**距離学習リセット** にタッチしてください。

前後G / 回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度

距離・方位 (左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

！ 注意

- ・ 走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。

メモ

- ・ 電源コードの車速信号入力が接続されていないときは、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出されません。
- ・ 学習度およびトリップメーター、車速パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- ・ センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- ・ 本機の電源をOFF (エンジンをOFF) にしても、トリップメーターと車速パルス数は積算される場合があります。
- ・ 傾斜 (3D) 学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

各機器の接続状態、信号の状態などを確認できます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **接続状態** にタッチする



メモ

- ・正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。

車速パルスの確認は、安全な場所で、低速(時速5km程度)で行ってください。

GPS アンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合は、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。車内に取り付けているときは、必ず金属シートを使用してください。

測位状態

現在の測位状態(3次元測位/2次元測位/未測位)が表示されます。その右側には測位に使われている衛星(橙色)と受信中の衛星(黄色)の数がイラスト表示されます。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。測位について、詳しくは「GPSによる測位」(→P220)をご覧ください。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11V～15Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

取付位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG(振動)」または「NG(取付角)」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のスモールライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

Bluetooth

Bluetoothによる携帯電話との接続（ペアリング）状態が表示されます。正しく接続（ペアリング）されていれば「OK」、接続（ペアリング）されていない場合は「NG」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストは本機と携帯電話間の受信強度を確認できます。

※受信強度を確認するには、Bluetooth設定を行い、本機と携帯電話をワイヤレス接続する必要があります。詳しくは「Bluetoothの設定を行う」(→P89)をご覧ください。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ換わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、別売のバックカメラを接続している場合は、シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしても自動的にバックカメラの映像に切り換えることができません。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

eスタート案内を利用する

車両の発進状況を1日単位で測定し、判定結果を5段階のレベルで表示します。また急発進の状態を検知すると、警告メッセージを表示するとともに、音声でも案内されます。

判定基準は、以下のとおりです。

判 定	発進開始から約5秒後の速度
遅い発進	0 km/h 以上 11 km/h 未満
eスタート発進	11 km/h 以上 21 km/h 未満
普通発進	21 km/h 以上 41 km/h 未満
急発進	41 km/h 以上

メモ

- ・eスタート案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P83)

急発進と判定されると

急発進と判定されると、以下のメッセージが表示され、「急発進です。安全運転を心がけましょう。」と音声で案内されます。



eスタート状況を確認する

判定基準をもとに、当日の走行距離、走行時間、eスタート判定を表示することができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **情報** - **eスタート** にタッチする



判定結果が表示されます。



走行時間	00h 00m ~ 23h 59m
走行距離	0.0 km ~ 9 999.9 km
eスタートレベル	0 ~ 5

メモ

- オプション設定 (→P101) で「eスタート画面を表示する」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。
- パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、パソコン上でeスタートの状況を過去の履歴まで確認することもできます。

ナビゲーションの設定

ロゴマーク表示設定をする	82	イージーセットアップをする	96
ロゴマークを非表示にする	82	イージーセットアップを行う	96
機能設定をする	83	イージーセットアップを開始する	96
設定内容の詳細	84	音量の調整	97
地図表示	84	自宅の設定	97
ルート・案内	85	ETC取付状態の設定	97
渋滞情報	86	ファンクションボタンの設定	97
その他	87	Bluetoothの設定	98
通信設定をする	88	通信接続の設定	98
ユーザー登録について	88	イージーセットアップを終了する	98
通信機器使用上のご注意	89	リアルタイムプローブ設定をする	99
Bluetoothの設定を行う	89	リアルタイムプローブ設定を行う	99
携帯電話を登録する	90	初期登録	99
携帯電話を切り換える	91	データ送信の設定	100
パスキーを変更する	91	データ取得開始タイミングの設定	100
電波発射をON/OFFする	91	データ受信方法の設定	100
通信接続設定を行う	92	取得タイミングと連続取得の取得動作について ...	100
プロバイダリストから接続先を選ぶ	92	その他の設定をする	101
手動で接続先の設定を行う	93	ファンクションボタンを設定する	101
接続先を切り換える	94	設定できる機能(コマンド)について	101
ナビゲーションの音量設定をする	95	車両情報を設定する	102
		有料道路料金区分の設定	102
		駐車制限(車種)の設定	102
		駐車制限(車両寸法)の設定	103
		カメラの入力設定をする	103
		セキュリティロック設定を行う	104
		セキュリティロックを設定する	104
		セキュリティロックが働いた場合の操作	105
		パスワードを忘れた場合	105
		自車位置のずれを修正する	105
		設定を初期状態に戻す	106

ロゴマーク表示設定をする

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** - **ロゴマーク表示設定** にタッチする



3 **ロゴマークを表示させたいジャンル** にタッチする



メモ

- 選ばれたジャンルは、右側のインジケーターが点灯します。インジケーターは、**詳細選択** で1つ以上選択した場合も点灯します。

4 **選択方法** にタッチする



全選択	すべての関連施設を表示します。
全解除	選択した施設をすべて解除します。
詳細選択	施設をさらに分類表示します。

メモ

- 詳細選択** にタッチしたときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。
- 最大200種類まで選択できます。

5 **ロゴマークを表示させたい施設** にタッチする



選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る** にタッチしてロゴマーク表示設定画面に戻り、手順 **3** ~ **5** を繰り返してください。

6 **終了** にタッチする

地図画面に戻り、選択した施設のロゴマークが表示されます。

ロゴマークを非表示にする

P82手順**3**で **非表示** にタッチすると、ロゴマークを非表示にすることができます。

メモ

- オプション設定 (→P101) で「ロゴマーク表示を切り換える」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。

機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の4つのメニューに分類されています。

- 地図表示(→P84)
- 渋滞情報(→P86)
- ルート・案内(→P85)
- その他(→P87)

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** — **機能設定** にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



4 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

メモ

- 分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

設定内容の詳細

地図表示

*は工場出荷時の設定です。

2D（ノーマルビュー）地図方位

- 「ヘディングアップ」* 進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。
 「ノースアップ」 常に北が上になるように地図が表示されます。

オートハイウェイモード

- 「ON」* 自動的にハイウェイモードにします。
 「OFF」 自動的にハイウェイモードにしません。

シティマップ

- 「ON」* 市街地図が表示されます。
 「OFF」 通常の地図が表示されます。

シティマップ境界表示（シティマップON時に選択可）

- 「ON」 シティマップの境界を画面に表示します。
 「OFF」* シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

- 「時刻連動」* 日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
 「昼色固定」 常に昼画面のままです。
 「夜色固定」 常に夜画面のままです。

走行軌跡自動消去

- 「自宅付近」 自宅で登録した場所から約100m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
 「電源オフ時」 本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
 「OFF」* 走行軌跡は自動消去しません。

走行軌跡表示

- 「ON」* 走行軌跡が表示されます。
 「OFF」 走行軌跡は表示されません。

2D（ノーマルビュー）固定スクロール

- 「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
 「OFF」* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

ルート・案内

*は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

- 「推奨」* 信号機の数少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
- 「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
- 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」* 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

- 「標準」* フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
- 「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

- 「ON」* 学習したルートを検討します。
- 「OFF」 学習したルートを検討しません。

渋滞考慮ルート探索

- 「ON」* 渋滞情報を考慮してルートが探索されます。
- 「OFF」 渋滞情報は考慮されません。

スマートIC考慮ルート探索^{*1 *2}

- 「ON」 スマートICを利用するルートが探索されます。
- 「OFF」* スマートICを利用しないルートが探索されます。

渋滞考慮オートリルート

- 「ON」* 渋滞情報を考慮して、オートリルートを行います。
- 「OFF」 渋滞情報を考慮したオートリルートが働きません。

渋滞考慮オートリルート自動決定ルート

- 「元ルート」* 元ルートを選択します。
- 「新ルート」 新ルートを選択します。

道のり・到着予想時刻表示

- 「目的地」* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
- 「立寄地」 次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度(一般道)

- 「20km/h」 平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「30km/h」* 平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「40km/h」 平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「50km/h」 平均速度50km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「60km/h」 平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度(有料道)

「60km/h」	平均速度 60km/h として到着予想時刻が計算されます。
「80km/h」*	平均速度 80km/h として到着予想時刻が計算されます。
「100km/h」	平均速度 100km/h として到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

「アローガイド」*	案内地までの距離(数値と矢印)と交差点名の情報が強調され表示されます。
「拡大図」	平面的な交差点拡大図が表示されます。

ETC レーン案内表示※3

「ON」*	有料道路の料金所付近で ETC レーン案内が表示されます。
「OFF」	ETC レーン案内は表示されません。

※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。

※2 イージーセットアップの「ETC 取付状態設定」が「車に取り付けている」のときは自動的に「ON」になります。
「車に取り付けていない」のときは自動的に「OFF」になります。

※3 イージーセットアップの「ETC 取付状態設定」を行うと、自動的に「ON」になります。

渋滞情報

*は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

「有料道・一般道」*	有料道路・一般道路の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」	渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示※1

「ON」*	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

順調表示※2

「ON」	渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」*	順調表示はされません。

規制表示※1

「ON」*	交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場情報マーク表示※1

「ON」*	駐車場の渋滞情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

渋滞オートガイド

「ON」*	ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」	ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

※1 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※2 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

その他

*は工場出荷時の設定です。

現在地情報の表示

「市区町村名」*	現在地が市区町村名で表示されます。
「走行道路名」	現在地が走行道路名で表示されます。(道路名がない場合は市区町村名が表示されます。)
「緯度経度」	現在地が緯度経度で表示されます。
「OFF」	表示しません。

有料道注意地点・県境案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

踏切案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

リフレッシュ案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

ライト点灯案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

eスタート案内

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

パーキングアラート

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

SDカード登録確認メッセージ表示^{※1}

「ON」*	SDメモリーカード登録確認メッセージを表示します。
「OFF」	SDメモリーカード登録確認メッセージは表示されません。

※1 本機とSDメモリーカードの登録(ペアリング)が行われると、自動的に「OFF」になります。

通信設定をする

携帯電話を使った通信機能や電話機能をお使いになる場合、Bluetooth対応の携帯電話のご準備と、あらかじめ通信設定（Bluetooth設定、通信接続設定）を行う必要があります。

メモ

- 電話機能のみをお使いになる場合は、Bluetooth設定だけ行ってください。
- データ通信機能をお使いになる場合は、Bluetooth設定と通信接続設定の両方を行ってください。
- Bluetooth AUDIO (→P178) をお使いになる場合も、あらかじめBluetooth設定で本機にBluetooth AUDIO機器を登録しておく必要があります。

通信機能 ※1	Bluetooth設定 (→P89)	通信接続設定 (→P92)	ユーザー登録 (→P88)	初期登録 (→P99)	ご利用料金 ※2
携帯電話機能 (→P202)	要	不要	不要	不要	無料
オンデマンドVICS (→P108)	要	要	不要	不要	無料
駐車場満空情報 (→P112)	要	要	不要	不要	無料
ガススタ価格情報 (→P113)	要	要	不要	不要	無料
天気予報 (→P111)	要	要	不要	不要	無料
セキュリティロック (→P104)	要	要	要	不要	無料
リアルタイムプローブ (→P108)	要	要	要	要	無料
Bluetooth AUDIO (→P178)	要	不要	不要	不要	無料

※1 各種データ通信サービスについては、予告なく休止または中止する場合があります。

※2 通信費および接続料金はお客様負担となります。

ユーザー登録について

ユーザー登録は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」または弊社ホームページから行うことができます。

ユーザー登録とリアルタイムプローブサービスに関するお問い合わせは、運営元のパイオニアモバイルネットワークスにお問い合わせください。

お問合せ先：パイオニアモバイルネットワークス株式会社

電話番号：0120-301-399

受付時間：月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00

13:00～17:00

（日曜、祝日、弊社休業日は除く）

通信機器使用上のご注意

- 本機は、Bluetooth対応の携帯電話にのみ対応しています。携帯電話接続ケーブルなどを使っでの接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳同期
DUN (DialupNetworking Profile)	データ通信
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)	AV機器のリモコン機能

- 回線接続中の通信料およびプロバイダ接続料はお客様負担となります。
- 通信終了後は必ず通信が切れたことを確認してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。
- お使いの携帯電話によっては、専用サーバー接続中に電話を着信した場合、専用サーバーとの接続が切断される場合があります。その場合は、通話終了後に専用サーバーに再接続してください。

- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth AUDIOを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AUDIOをOFF(→P117)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetoothの設定を行う

本機にBluetooth対応の携帯電話を登録する方法と、登録した携帯電話を切り換える方法を説明します。

メモ

- 最大5台の携帯電話を登録できます。携帯電話の切り換えかたは「**携帯電話を切り換える**」(→P91)をご覧ください。
- AVプロファイルを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、自動的にBluetooth AUDIOの優先接続機器として設定されます。詳しくは「**Bluetooth AUDIOの操作のしかた**」(→P178)をご覧ください。
- イージーセットアップ(→P96)で設定することもできます。

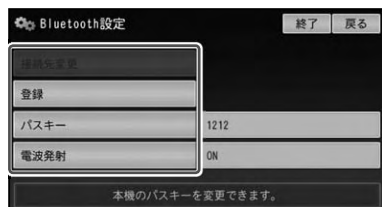
1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** - **Bluetooth設定** にタッチする



つづく→

Bluetooth設定画面が表示されます。



接続先変更	Bluetooth接続する携帯電話を2台以上登録したときは、手動で切り換えることができます。(→P91)
登録	Bluetooth接続する携帯電話を本機に登録します。(→P90)
パスキー	本機のパスキーを変更することができます。(→P91)
電波発射	本機からの電波発射をON/OFFすることができます。(→P91)

携帯電話を登録する

1 登録にタッチする(→P90)

メモ

- Bluetooth AUDIOが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は**はい**を、中断したくない場合は**いいえ**を選んでください。
- すでに携帯電話が5台登録されている場合は、登録済みリストを表示し、削除確認のメッセージが表示されます。削除する携帯電話を選んで**はい**にタッチし、選んだ携帯電話の削除に成功すると手順2の画面が表示されます。

周辺のBluetooth機器を自動的に探します。

Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。

お使いの携帯電話によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**機器から登録する**にタッチして、携帯電話の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 登録する携帯電話にタッチする



3 携帯電話を操作してパスキーを入力する



メモ

- 携帯電話に本機を登録(機器登録・機器認証)する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、ダイヤルアップ通信、メモリダイヤル転送[®]に対応しています。
※ お使いの携帯電話によっては、各機能に対応していない場合があります。
- 本機の出荷時のパスキーは「1212」です。

完了のメッセージが表示されます。



携帯電話を切り換える

メモ

- 使用する携帯電話を切り換えた場合は、通信接続設定(→P92)も変更してください。プロバイダの違う携帯電話に切り換えた場合は、通信接続設定を行わないとデータ通信ができません。
- Bluetooth AUDIOを使用中に携帯電話の切換操作を行うと、Bluetooth AUDIOの再生が中断されます。

1 接続先変更 にタッチする (→P90)

2 使用する携帯電話にタッチする



3 使用用途を選んでタッチする



ハンズフリー	ハンズフリー機能とBluetooth AUDIO機器として使用します。
Bluetooth AUDIO	Bluetooth AUDIO機器のみとして使用します。
ハンズフリー	ハンズフリー電話機能のみとして使用します。

使用する携帯電話が切り換わります。

メモ

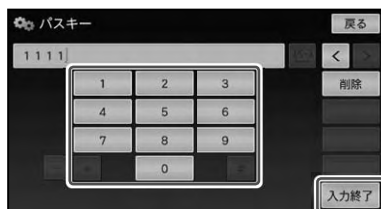
- 「ハンズフリー」に設定した場合は 、「Bluetooth AUDIO」に設定した場合は 、「ハンズフリー / Bluetooth AUDIO」に設定した場合は のアイコンが表示されます。

- 「Bluetooth AUDIO」または「ハンズフリー / Bluetooth AUDIO」に設定すると、AVソースをBluetooth AUDIOに切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。

パスキーを変更する

1 パスキー にタッチする (→P90)

2 変更するパスキーを入力し、 入力終了 にタッチする



電波発射を ON/OFF する

1 電波発射 にタッチする (→P90)

2 ON または OFF にタッチする



ON	電波発射を行います。
OFF	電波発射を行いません。

メモ

- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

通信接続設定を行う

携帯電話を使ってデータ通信するためのプロバイダを設定します。設定の方法は、プロバイダリストから選ぶ方法と手動で設定する方法があります。

メモ

- Bluetooth設定 (→P89) で登録した携帯電話にあわせてプロバイダを設定してください。
- 2つの接続先(プロバイダ)を設定し、手動で切り換えて使用することができます。→「**接続先を切り換える**」(P94)
- イージーセットアップ (→P96) で設定することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** — **通信接続設定** にタッチする



通信接続設定画面が表示されます。



接続先	通信接続設定で設定した2つの接続先(プロバイダ)を切り換えて使用することができます。(→P94)
設定	使用するプロバイダを設定します。(→P92)

プロバイダリストから接続先を選ぶ

1 **設定** にタッチする(→P92)

2 **接続先1** または **接続先2** にタッチする



メモ

- 初めて設定するときは**接続先1**にタッチします。必要に応じて**接続先2**も設定すると、切り換えて使用することができます。→「**接続先を切り換える**」(P94)

3 接続する携帯電話のタイプに合わせたプロバイダにタッチする



手順**1**の画面に戻ります。

メモ

- リストにあるプロバイダの設定内容は、プロバイダの都合により変更される場合があります。その場合はプロバイダに設定内容をお問い合わせのうえ、手動で設定してください。
- その他のプロバイダ**にタッチすると、マニュアルで設定を行うことができます。(→P93)

4 **終了** にタッチする

設定を終了します。

手動で接続先の設定を行う

ご希望の接続先がプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手動で設定を行います。

1 「設定」にタッチする(→P92)

2 「接続先1」または「接続先2」にタッチする



3 「その他のプロバイダ」にタッチする

4 設定項目を順に選び、設定内容を入力または選択する



設定できる項目と内容は以下のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	プライマリDNSのIPアドレス
「セカンダリDNS」	セカンダリDNSのIPアドレス

「Proxyサーバー」	「使う」、「使わない」
「Proxyサーバー名」	Proxyサーバーの名称
「ポート番号」	Proxyサーバーのポート番号

* 上記はプロバイダより指定されたものをお使いください。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように「*」で表示されます。
- プライマリDNSとセカンダリDNSのIPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192. 168. 2. 255の場合は、「192.168. 002. 255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy (プロキシ) サーバーを使用する場合は、「**使う**」を選択してください。
- 「Proxyサーバー名」「ポート番号」の設定は、「Proxyサーバー」を「使う」に設定した場合にできるようになります。Proxyサーバー名とポート番号は、加入したプロバイダへお問い合わせください。
- Proxyサーバー名にIPアドレスを直接入力するときに、「2」などを入力する場合は、数字の前の「00」を入れないで直接「2」を入力してください。
例：192. 168. 2. 255の場合は、そのまま「192. 168. 2. 255」と入力する。

5 「終了」にタッチする

設定を終了します。

接続先を切り換える

- 1 **接続先** にタッチ (→P92) し、
切り換える接続先の名称にタッチする



接続先が切り換わります。



メモ

- 接続先 (プロバイダ) を変更した場合は、Bluetooth設定で使用する携帯電話も変更してください。(→P91)

ナビゲーションの音量設定をする

ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の受話音量、着信音量の調整と、操作音のON/OFFを設定することができます。



メモ

・イージーセットアップ(→P96)で設定することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **音量設定** にタッチする



メモ

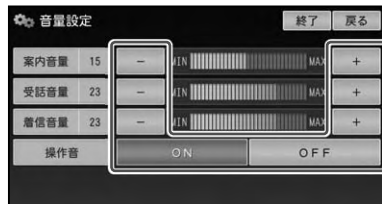
- ・操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- ・オプション設定(→P101)で「音量設定画面を表示する」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。



注意

- ・操作音をOFFに設定された場合、SDメモリーカード挿入不良などの警告音もなりません。ご注意ください。

3 設定したい項目にタッチする



案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

受話音量

+	受話音量が大きくなります。
-	受話音量が小さくなります。

着信音量

+	着信音量が大きくなります。
-	着信音量が小さくなります。

操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

イージーセットアップをする

イージーセットアップを行う

画面の指示に従って各設定をかんたんに行うことができます。

イージーセットアップで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

音量設定

ナビの案内音量、受話音量、着信音量と操作音を設定できます。



自宅設定

自宅の登録や変更ができます。



ETC取付状態設定

ETC車載器が車に取り付けられているかどうか設定します。



オプション設定

(F) ボタンに割り当てる機能を設定できます。



Bluetooth設定

Bluetooth対応の携帯電話を本機に登録できます。



通信接続設定

通信機能を使うためのプロバイダを設定できます。

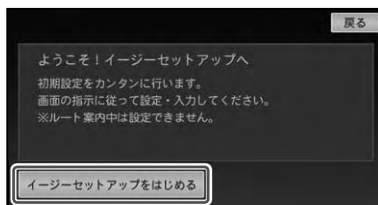
イージーセットアップを開始する

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** - **イージーセットアップ** にタッチする



3 **イージーセットアップをはじめる** にタッチする



メモ

- ルート案内中は、イージーセットアップを行うことはできません。
- イージーセットアップ設定中は、**次へ** にタッチすると次の設定へ、**《前へ** にタッチすると前の設定に移ることができます。
- **終了** にタッチすると、その時点までの設定を保存してイージーセットアップ終了画面 (→ P98) に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定することができます。

音量の調整

4 **+** または **-**、**ON** または **OFF** にタッチして調整する



5 **次へ >>** にタッチする

自宅の設定

6 **自宅登録** にタッチする



メモ

- すでに自宅が登録済みの場合は、**登録変更**が表示されます。タッチすると手順**7**に進み、自宅の場所を変更して上書きすることができます。

7 場所を探して(→P36)、**決定** にタッチする



メモ

- 探した場所の近くに一般道と高速道が隣接している場合は、道路を指定します。

8 **次へ >>** にタッチする

ETC取付状態の設定

9 状態を選んでタッチする



メモ

- 「車に取り付けている」に設定すると、機能設定(→P83)の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定(→P83)の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。

10 **次へ >>** にタッチする

ファンクションボタンの設定

11 機能を選んでタッチする



12 **次へ >>** にタッチする

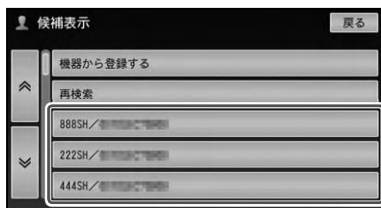
つづく→

Bluetoothの設定

13 登録にタッチする



14 接続する機器名にタッチする



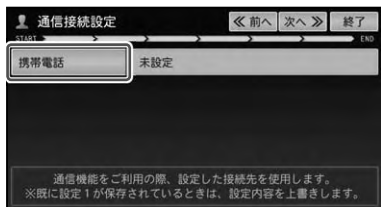
メモ

- 接続する機器がリストにない場合は、**機器から登録する**にタッチしてBluetooth機器より登録してください。詳しくは「Bluetoothの設定を行う」(→P89)をご覧ください。

15 次へにタッチする

通信接続の設定

16 携帯電話にタッチする



17 使用するプロバイダ名にタッチする



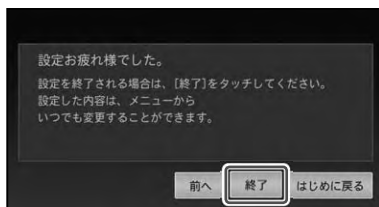
メモ

- ここで選んだプロバイダは、接続先1として保存されます。すでに接続先1に設定済みのプロバイダがある場合は、設定内容が上書きされます。接続先について、詳しくは「通信接続設定を行う」(→P92)をご覧ください。

18 次へにタッチする

イージーセットアップを終了する

19 終了にタッチする



前へ	ひとつ前の画面に戻ります。
はじめに戻る	イージーセットアップ開始画面(→P96)に戻ります。

リアルタイムプローブ設定をする

リアルタイムプローブを利用するために必要な設定を行います。

メモ

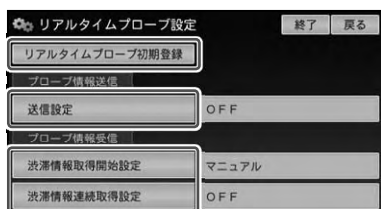
- ・「プローブ情報」とは、以下のデータを総称した名称です。
 - 蓄積型プローブ SDメモリーカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機内蔵のメモリーに蓄積された走行履歴データ
 - リアルタイムプローブ 本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ
- ・蓄積型プローブデータは最大で約 1 000km分が本機内蔵のメモリーに保存され、それを超えると古いデータから削除されます。
- ・リアルタイムプローブを利用するには、あらかじめユーザー登録およびリアルタイムプローブ初期登録が必要となります。
- ・ユーザー登録は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」または弊社ホームページから行うことができます。(→P88)

リアルタイムプローブ設定を行う

- 1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする
- 2 **設定** - **リアルタイムプローブ設定** にタッチする



- 3 設定する項目を選んでタッチする



リアルタイムプローブ初期登録	リアルタイムプローブを利用するための初期登録を行います。(→P99)
送信設定	プローブ情報送信の有無(ON/OFF)を設定します。(→P100)

渋滞情報取得開始設定	渋滞情報を自動で取得するか手動で取得するか(オート/マニュアル)を設定します。(→P100)
渋滞情報連続取得設定	渋滞情報の連続取得の有無(ON/OFF)を設定します。(→P100)

初期登録

メモ

- ・あらかじめ通信設定を行ってください。(→P88)

- 1 **リアルタイムプローブ初期登録** - **登録する** にタッチする

通信が開始され、専用サーバーに接続されます。

メモ

- ・回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチしてください。

- 2 **ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、入力終了** にタッチする

初期登録が完了します。

データ送信の設定

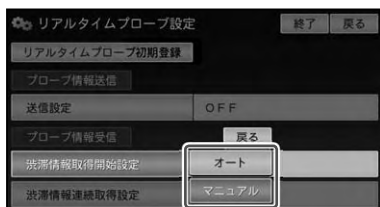
工場出荷時は「OFF」です。

1 **送信設定** にタッチする
(→P99)2 **ON** または **OFF** にタッチする

ON	プローブ情報を送信します。
OFF	プローブ情報は送信しません。 (リアルタイムプローブ機能は利用できません。)

データ取得開始タイミングの設定

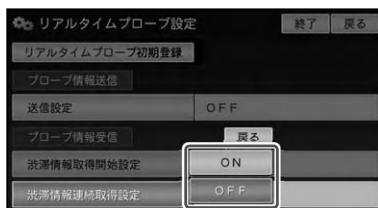
工場出荷時は「マニュアル」です。

1 **渋滞情報取得開始設定** にタッチする(→P99)2 **オート** または **マニュアル** にタッチする

オート	本機が通信可能な状態の場合、渋滞情報を自動的に取得します。
マニュアル	渋滞 に長くタッチするかリアルタイム情報メニューの リアルタイムプローブ情報取得 にタッチすると、渋滞情報を取得します。

データ受信方法の設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 **渋滞情報連続取得設定** にタッチする(→P99)2 **ON** または **OFF** にタッチする

ON	情報の取得を一定間隔で行います。
OFF	連続取得は行いません。

メモ

- ・連続取得をONに設定した場合、取得間隔は以下になります。
 - － ルートあり時：10分間隔
 - － ルートなし時：20分間隔
- ・専用サーバーの状態によっては、設定した取得時間間隔どおりに動作しない場合があります。

取得タイミングと連続取得の取得動作について

取得タイミングと連続取得の関係は、以下の表のようになります。

		渋滞情報取得開始設定	
		オート	マニュアル
渋滞情報連続取得設定	ON	通信機器の接続を確認した時点で自動取得し、以降一定間隔で連続取得します。	手動取得操作(→P109)を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。
	OFF	通信機器の接続を確認した時点で自動取得し、以降は手動取得操作(→P109)を行った時点で取得します。	手動取得操作(→P109)を行った時点のみ取得します。

その他の設定をする

ファンクションボタンを設定する

本体の **(F)** (ファンクションボタン) に割り当てる機能を設定します。

メモ

- 工場出荷時は、「ソースを換える」に設定されています。
- イーザーセットアップ (→P96) で設定することもできます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** — **その他** にタッチする



3 **オプション設定** にタッチする



オプション設定リストが表示されます。

4 **設定したい機能 (コマンド) にタッチする**



選んだ機能が、**(F)** (ファンクションボタン) に割り当てられます。

(F) (ファンクションボタン) を押すと、割り当てた機能を使うことができます。

設定できる機能 (コマンド) について

eスタート画面を表示する	eスタート画面 (→P80) を表示します。
TVにする	AVソースのTV (→P123, 128) をONにします。
VICS図形情報画面を表示する	VICS図形情報画面 (→P75) を表示します。
MUTEをON/OFFする	一時的にAVソースの音量を0にする機能をON/OFFします。
音量設定画面を表示する	音量設定画面 (→P95) を表示します。
自宅へ帰る	自宅までのルート (1本) を探索します。 (→P33)
ソースを換える	ボタンを押すたびにAVソースを切り換えます。 (→P116)
ソースをOFFにする	AVソースをOFFにします。 (→P117)
リアルタイム情報画面を表示する	リアルタイム情報メニュー (→P21) を表示します。
リダイヤル	ハンズフリー電話で、リダイヤルを行います。 (→P204)
ルート編集画面を表示する	ルート編集画面 (→P66) を表示します。
ロゴマーク表示を切り換える	ボタンを押すたびにロゴマークの表示/非表示を切り換えます (→P82)

車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。

ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

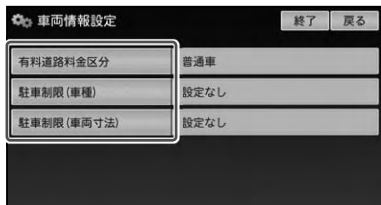
2 **設定** - **その他** にタッチする



3 **車両情報設定** にタッチする



4 各項目を選んで内容を設定する



有料道路料金区分 有料道路走行時の料金区分を設定します。(→P102)

駐車制限(車種) 駐車場利用時の車種制限を設定します。(→P102)

駐車制限(車両寸法) 駐車場利用時の車両寸法制限を設定します。(→P103)

メモ

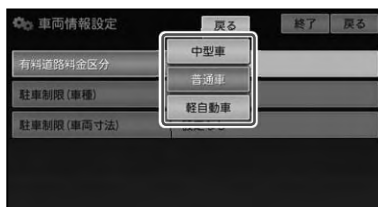
- ・ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

5 **終了** にタッチする

有料道路料金区分の設定

1 **有料道路料金区分** にタッチする (→P102)

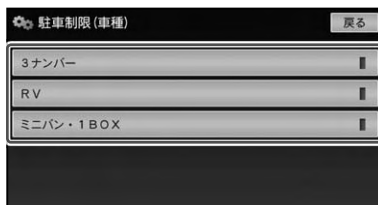
2 該当する区分を選んでタッチする



駐車制限(車種)の設定

1 **駐車制限(車種)** にタッチする (→P102)

2 該当する車種を選んでタッチする



選ばれた車種のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ・該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

3 **戻る** にタッチする

駐車制限(車両寸法)の設定

- 1 **駐車制限(車両寸法)にタッチする(→P102)**
- 2 **入力する項目を選んでタッチする**



- 3 **車検証等を参考に寸法を入力し、入力終了にタッチする**

例：長さ(L)を選んだ場合



引き続き他の項目を入力することができます。入力を終了する場合は**戻る**にタッチしてください。

メモ

- 一度設定した値をクリアするには、それぞれの入力画面で**設定解除**にタッチします。

カメラの入力設定をする

本機に接続した別売カメラの入力設定を行います。

- 1 **メニューを押し、設定にタッチする**
- 2 **設定—その他にタッチする**



- 3 **カメラ設定にタッチする**



- 4 **接続カメラ設定にタッチする**



フロントカメラ・サイドカメラ+	バックカメラのほかに、フロントカメラやサイドカメラを接続した場合に設定します。
バックカメラ	バックカメラを接続した場合に設定します。
OFF	バックカメラやフロントカメラ・サイドカメラを接続していない場合、または一時的に使用しない場合に設定します。

セキュリティロック設定を行う

セキュリティロックを設定しておく、と、本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、主な機能が使えないようになります。

メモ

- ・セキュリティロック機能をご利用になる場合は、通信設定(→P88)のほかに、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」または弊社ホームページから行うことができます。(→P88)

セキュリティロックを設定する

セキュリティロックの設定は、専用サーバーに接続して行います。あらかじめ通信機器を接続してから操作してください。

1 **メニュー** を押し、**設定** にタッチする

2 **設定** - **その他** にタッチする



3 **セキュリティロック** にタッチする



メモ

- ・回線接続する必要がある場合は、メッセージが表示されます。**はい** にタッチしてください。

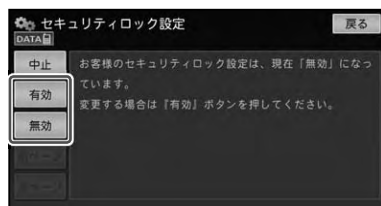
通信が開始され専用サーバーに接続されます。

4 **確認** にタッチする

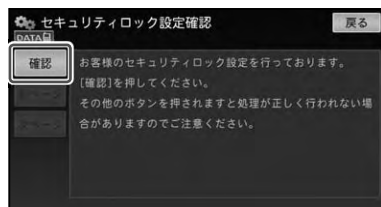
5 ユーザー登録時に設定したニックネームとパスワードを入力し、**入力終了** にタッチする

現在のセキュリティロックの設定状態が表示されます。

6 現在の状態に合わせて、**有効** または **無効** にタッチする



7 **確認** にタッチする



8 **確認** にタッチする



セキュリティロックが有効または無効になります。

セキュリティロックが働いた場合の操作

セキュリティロックを有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、エンジンスイッチをACC・ONにすると、以下の画面が表示されます。

1 確認にタッチする



2 ユーザー登録時に設定したパスワードを入力し、入力終了にタッチする



3 確認にタッチする



ナビゲーションが起動します。

パスワードを忘れた場合

万が一、パスワードを忘れた場合は、セキュリティロック解除ファイルが必要になります。

セキュリティロックの解除に関しては、ユーザー登録用WEB画面へのアクセス、もしくはパイオニアモバイルネットワークス株式会社にお問い合わせください。

受付：月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00/
13:00～17:00
(日曜、祝日、弊社休業日は除く)

電話番号：0120-301-399

自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 メニューを押し、設定にタッチする

2 設定－その他にタッチする



3 自車位置修正にタッチする



4 8方向矢印キーにタッチして 十字カーソルを現在地に合わせる



メモ

- ・**微調整**にタッチすると、8方向矢印キーの表示／非表示を切り換えることができます。
- ・8方向矢印キー表示中に走行を開始した場合は、**微調整**にタッチして8方向矢印キーを消すことが、一度だけできます。

5 **決定**にタッチする

6 左右の回転矢印にタッチして自 車の向きを調整する



7 **決定**にタッチする

▼
自車位置が修正されます。

設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **メニュー**を押し、**設定**にタッチする

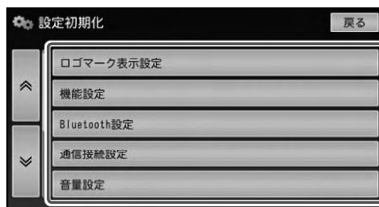
2 **設定**—**その他**にタッチする



3 **設定初期化**にタッチする



4 初期化したい項目にタッチする



5 **はい**にタッチする



▼
選んだ項目が初期化されます。

通信機能を使う

オンデマンドVICS情報・リアルタイム プローブ渋滞情報を利用する	108
オンデマンドVICSについて	108
リアルタイムプローブと リアルタイムプローブ渋滞情報について	108
渋滞情報の取得のしかた	109
手動で取得する	109
自動で取得する	109
地図上でオンデマンドVICS / リアルタイムプローブ渋滞情報を見る	110
プローブ情報を保存する	110
天気予報を利用する	111
天気予報アイコンの見かた	111
駐車場満空情報を利用する	112
ガスタ価価格情報を利用する	113

オンデマンドVICS情報・リアルタイムプローブ渋滞情報を利用する

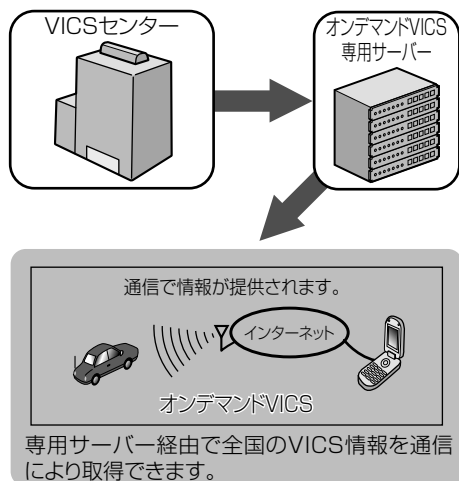
通信機能を利用して、オンデマンドVICS 情報（オンデマンドVICS 専用サーバーより提供）、リアルタイムプローブ渋滞情報（リアルタイムプローブサーバーより提供）を取得し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

メモ

- 取得できる情報は、オンデマンドVICSまたはリアルタイムプローブ情報のどちらかになります。リアルタイムプローブの利用準備ができていない場合は、自動的にオンデマンドVICS情報のみの取得となります。

オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、本機に接続された通信機器からオンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自転車位置付近またはスクロール先のVICS情報（事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報）を取得する機能です。取得した情報は、地図に表示したり、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。

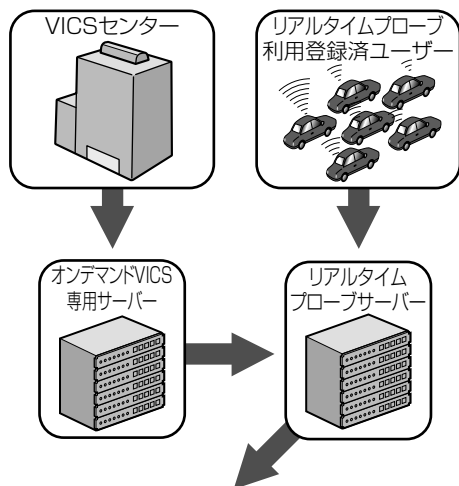


メモ

- あらかじめ、通信設定（→P88）を行ってください。
- 本機に保存できる取得情報は、3回分までです。4回目の取得操作を行うと、1回目の取得情報が消去されます。
- オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- 道路交通情報データは、財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

リアルタイムプローブとリアルタイムプローブ渋滞情報について

リアルタイムプローブとは、ご利用登録いただいた各お客様から提供される情報（走行履歴）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新のプローブ渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。「リアルタイムプローブ渋滞情報」として取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。



通信で情報が提供されます。



専用サーバー経由で全国のリアルタイムプローブ参加者からの渋滞情報を通信により取得できます。

メモ

- あらかじめ、通信設定(→P88)、ユーザー登録、リアルタイムプローブ設定(→P99)を行ってください。
- ユーザー登録は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」または弊社ホームページから行うことができます。(→P88)

渋滞情報の取得のしかた

通信による渋滞情報の取得のしかたは、手動で取得する方法と自動で取得する方法の2通りあります。

手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示してから、以下の操作を行います。

1 渋滞に2秒以上タッチする

専用サーバーに接続し、オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報を受信します。



メモ

- 情報の受信が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- **メニュー** を押し、**リアルタイム情報 - リアルタイムプローブ情報取得** にタッチしても、通信によるオンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報の取得を行うことができます。
- オンデマンドVICS情報またはリアルタイムプローブ渋滞情報とFM多重放送によるVICS情報を両方取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面に表示します。

自動で取得する

リアルタイムプローブ設定(→P99)で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておく、本機が通信機器の接続を確認した時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。また「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておく、通信可能な状態にあるときは、一定間隔で情報を取得します。

メモ

- リアルタイムプローブ渋滞情報受信の際には、走行履歴等のお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- 連続受信設定がONの場合、ルート案内中は10分間隔、ルート案内中でない場合は20分間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

地図上でオンデマンド VICS / リアルタイムプローブ渋滞情報を見る

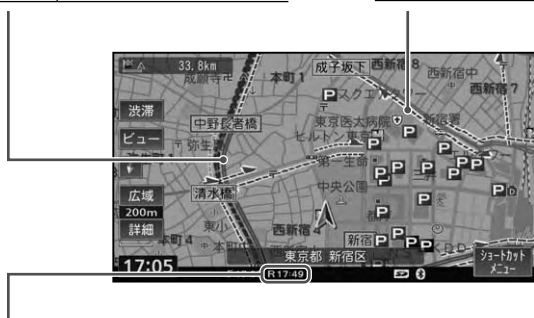
リアルタイムプローブ渋滞情報の地図表示は、VICS 情報の地図表示と区別され表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色の点線(青い縁取り)
混雑	橙色の点線(青い縁取り)
順調	空色の点線(青い縁取り)

一般道路への表示

渋滞	赤色の点線(白い縁取り)
混雑	橙色の点線(白い縁取り)
順調	空色の点線(白い縁取り)



情報提供時刻表示※

O	オンデマンド VICS による渋滞情報提供時刻
R	リアルタイムプローブによる渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満の状態

※：連続取得が ON の場合は、時刻表示の背景が赤で表示されます。

プローブ情報を保存する

本機に保存されているプローブ情報は、登録済みの自宅周辺 500m 以内に入ったときに、自動的に SD メモリーカードに保存されます。

メモ

- SD メモリーカードに保存したプローブ情報は、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」使用時に、自動的に専用サーバーへ転送されます。

天気予報を利用する

天気予報を地図画面に表示することができます。

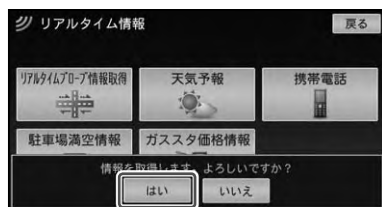


メモ

・あらかじめ、通信設定(→P88)を行ってください。

1 **メニュー** を押し、**リアルタイム情報** にタッチする

2 **天気予報** - **はい** にタッチする



専用サーバーと通信が開始されます。



データの取得が完了すると、地図画面下部に天気予報アイコンが表示されます。

現在地画面の場合は、現在地の天気予報を表示します。地図をスクロールした場合は、スクロールした地点の天気予報を表示します。

地図の表示方法がスカイビュー(→P27)のときは、天気予報に応じて空の色が変化します。



メモ

・表示される情報は、(株)ライフビジネスウェザーの天気予報に基づいています(ただし、専用サーバー上のデータが更新されていない場合があります)。

- ・(株)ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- ・取得した天気予報のデータは、発表時刻から23時間経過すると本機から削除されます。もう一度表示させるには、再度専用サーバーから天気予報のデータを取得してください。
- ・天気予報のデータが取得できないときは、表示されません。
- ・サーバー側からの緊急メッセージがあるときは、メッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- ・サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときは、メッセージが表示されますが、気象情報の取得処理は継続されます。
- ・パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、天気予報データをパソコンからSDメモリーカードに保存し、本機の起動時に読み込ませることもできます。

天気予報アイコンの見かた



天気マーク 予報時刻表示

	晴れ(昼)		大雨
	晴れ(夜)		雪
	曇り		大雪
	雨		



メモ

・天気予報のデータが取得できなかったときは、天気予報アイコンは表示されません。

駐車場満空情報を利用する

専用サーバーから駐車場満空情報を取得して空いている駐車場を探し、目的地とすることができます。

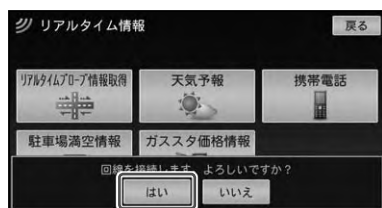


メモ

・あらかじめ、通信設定(→P88)を行ってください。

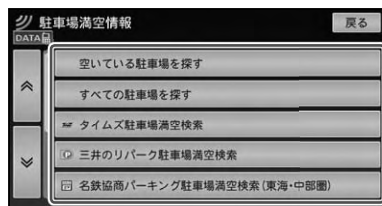
1 **メニュー** を押し、**リアルタイム情報** にタッチする

2 **駐車場満空情報** - **はい** にタッチする

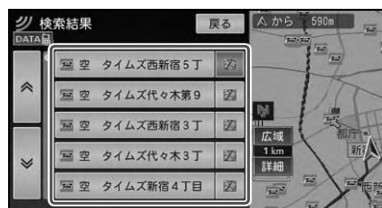


専用サーバーと通信が開始されます。

3 探したい駐車場を選んで絞り込む

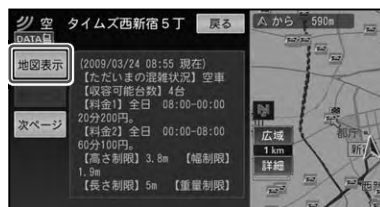


4 目的の施設にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 **地図表示** にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。



メモ

- ・「駐車場満空情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。
- ・駐車場は、「車両情報を設定する」(→P102)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(満)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)

ガスタ価格情報を利用する

専用サーバーからガソリンの価格情報を取得して販売価格の安いガソリンスタンドを探し、目的地とすることができます。

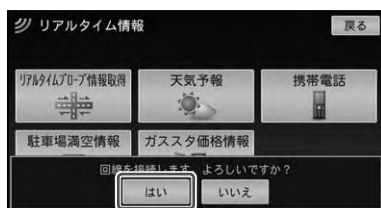


メモ

・あらかじめ、通信設定(→P88)を行ってください。

1 [メニュー] を押し、[リアルタイム情報] にタッチする

2 ガスタ価格情報 - はい にタッチする

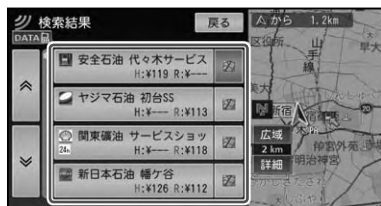


専用サーバーと通信が開始されます。

3 探したいガソリンスタンドを選んでタッチする



4 目的の施設にタッチする



選んだ施設を中心とした地図と詳細情報画面が表示されます。

5 地図表示 にタッチする



該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P22)を参照してください。



メモ

- ・「ガスタ価格情報」は、データが取得できていないときは、情報表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- ・専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
 - 橙色：24時間以内
 - 青色：7日以内
 - 茶色：8日以上

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	116
AVソース画面を表示する	116
映像系AVソースについて	116
AVソースプレートの表示について	116
AVソースを切り換える	116
AVソースアイコンについて	117
AVソースをOFFにする	117
本機で再生可能なメディアとファイルの種類	118

オーディオの基本操作

AVソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面のときに

(AV)を押す

AVソース画面が表示されます。



ナビゲーション画面に戻るには、**(現在地)**を押します。

メモ

- AVソースがONの状態では**(現在地)**を押したときは、AVソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

映像系AVソースについて

DVDやワンセグなどの映像系AVソースの場合は、画面を切り換えるとはじめに映像のみ表示します。操作タッチキーなどを表示させたい場合は、一度画面にタッチしてください。



メモ

- 操作タッチキー表示後は、**(ビュー)**にタッチすると操作タッチキーを消すことができます。
- TV(パイオニア製地上デジタルTVチューナー、内蔵ワンセグ)は、はじめにシンプル操作タッチキーが表示されます。シンプル操作タッチキーは、約8秒間何も操作しないと消えます。

AVソースプレートの表示について

地図画面のまま、**(F)**(ファンクションボタン)によるAVソースの切り換え(→P117)や本体のボタンによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部にAVソースプレートが表示されます。AVソースプレートは、表示されてから約4秒間何も操作が行われないと消えます。AVソースプレートには、現在再生中のAVソースの状態が表示されます。

AVソースプレート



AVソースを切り換える

AVソースの切り換えは、タッチ操作(AVソースアイコン)で行います。

1 AVソース画面を表示する

2 お好みのAVソースアイコンにタッチする



AVソースアイコン

▼
選んだAVソースに切り換わります。

メモ

- AVソースアイコンの **▶▶** にタッチすると、表示しきれなかったAVソースアイコンが表示されます。もう一度タッチすると、元の状態に戻ります。
- DVDやワンセグなどの映像系AVソースの場合は、一度画面にタッチして、操作タッチキーを表示してから操作してください。
- オプション設定 (→ P101) で「ソースを換える」を割り当てている場合、**(F)** (ファンクションボタン) を押すごとにAVソースを切り換えることができます。切り換わる順序は以下の通りです。

DISC → FM → AM → TV → USB/iPod*
→ SD → Bluetooth AUDIO → VTR →
AUX

※AVソース切換時点では本機に接続されている機器にのみ切換可能です。

ナビゲーション画面表示中は音声のみが切り換わり、**(AV)** を押すと、AVソース画面が表示されます。

- 本機に別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナーを接続した場合は、内蔵ワンセグ (→ P123) は操作できなくなります。
- 機器を接続していないAVソースや、再生の準備、設定ができていないAVソースは選べません。

AVソースアイコンについて

交通情報	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。
DISC	音楽CDやDVDビデオなどを再生したいときに選びます。
FM	FMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
AM	AMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
TV	内蔵ワンセグまたはパイオニア製地上デジタルTVチューナーによる放送を見たいときに選びます。
USB	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
iPod	iPodを使いたいときに選びます。
SD	SDメモリーカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。
Bluetooth AUDIO	Bluetooth AUDIOを使いたいときに選びます。
VTR	ポータブルビデオなどを使いたいときに選びます。
AUX	外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。
OFF	選択中のAVソースをOFFにしたときに選びます。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

1 OFFにタッチする

▼
AVソースがOFFになります。

メモ

- DVDビデオなど、再生停止ボタンが操作タッチキーに用意されているAVソースでは、OFFにしなくても再生を停止することができます。
- オプション設定 (→ P101) で「ソースをOFFにする」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください。対応の可(○) 否(×)をご確認のうえ、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。

	ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 DVD-R/RW	 USBメモリー	 SDメモリーカード
	WMA	.wma	○	○	○	○
	MP3	.mp3	○	○	○	○
	AAC	.m4a	○	○	○	○
	WAV	.wav	×	×	○	○
	DivX	.avi/.divx	○	○	×	×
	MPEG-4	.avi/.mp4/.m4v	×	×	×	○
	WMV	.wmv	×	×	×	○
	H.264	.mp4	×	×	×	○

放送を受信する

ラジオを聞く	120	TVを見る(パイオニア製 地上デジタルTVチューナー)	128
ラジオの放送を受信する	120	地上デジタルTV放送を受信する	128
プリセットの種類を選ぶ	120	アイコン一覧	129
バンドを切り換える	121	プリセットの種類を切り換える	129
放送局を手動で登録する	121	バンドを切り換える	130
放送局の自動登録	121	放送局を手動で登録する	130
交通情報を聞く	122	受信可能な中継局を探す	130
交通情報を受信する	122	サービスを切り換える	130
TVを見る(内蔵ワンセグ)	123	番組情報を取得する	131
ワンセグを受信する	123	番組表を表示する	131
アイコン一覧	124	ジャンル検索で見たい番組を選ぶ	131
プリセットの種類を切り換える	124	番組内容を表示する	132
放送局を手動で登録する	124	データ放送を見る	132
サービスを切り換える	125	データ放送画面の操作のしかた	133
番組表を表示する	125	十字パネルタッチキーの操作	133
番組内容を表示する	125	数字パネルタッチキーの操作	133
放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン) ...	126	放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン) ...	133
字幕を切り換える	126	映像を切り換える	134
音声を切り換える	126	字幕を切り換える	134
視聴者設定を消去する	126	音声を切り換える	134
		サービスをリストからチャンネルを選ぶ	134
		地上デジタルテレビの機能設定を行う	134
		設定内容の詳細	135
		ダウンロードの手順	137

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする(→P116)

▼
AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 受信したい周波数や放送局にタッチする



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
プリセット切換	プリセットの種類(→P120)を切り換えます。
◀または▶	周波数を順に送ります。 長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
BSM	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にユーザープリセットに登録します。(→P121)
バンド	バンドを切り換えます。(→P121)

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀または▶を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す(SEEK)
◀または▶を押し続ける	周波数を連続で送る(NON STOP SEEK)

メモ

- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえずられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする(→P120)

▼
タッチすることにより、「ユーザープリセット」↔「エリアプリセット」が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM / AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー(P1 ~ P6)を使い分けることができます。

1 バンドにタッチする(→P120)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」に切り換える(→P120)

2 ◀ / ▶ にタッチして登録したい放送局(周波数)を選ぶ(→P120)

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 BSMに2秒以上タッチする(→P120)



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを交通情報にする (→P116)



交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



1620kHz	1 620kHzにします。
1629kHz	1 629kHzにします。

本体のボタンで操作する場合：

 を押す	1 620kHzにします。
 を押す	1 629kHzにします。



メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

TVを見る(内蔵ワンセグ)

ワンセグ放送を視聴することができます。

メモ

- ・本機に別売のバイオニア製地上デジタルTVチューナー(→P128)を接続した場合は、内蔵ワンセグは操作できなくなります。
- ・ワンセグを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア(→P126)をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P126)

注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

ワンセグを受信する

1 AVソースをTVにする(→P116)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

メモ

- ・オプション設定(→P101)で「TVにする」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン)を押して操作することもできます。

2 画面にタッチする

シンプル操作タッチキーが表示されます。



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
詳細	操作タッチキー 1を表示します。
ビュー	シンプル操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

操作タッチキー 1



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
◀または▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類(→P124)を切り換えます。
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P125)
番組表	番組表を表示します。(→P125)
番組内容	番組内容を表示します。(→P125)
次ページ	操作タッチキー 2に切り換えます。

放送を受信する

操作タッチキー-2



終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→P126)
字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P126)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P126)
前ページ	操作タッチキー-1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

または 押す	プリセットチャンネルを順に送る
または 長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

メモ

- ワンセグの音量は、他のAVソースより低い
ため、他のAVソースからワンセグに切り換
えると、音が小さく感じられる場合があります。
ソースレベルアジャスターでAVソースご
との音量の違いをそろえることができます。(→
P188)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソー
スプレートに表示されます。

	ステレオ放送
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度

プリセットの種類を切り換
える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリ
セット)を呼び出するか、あらかじめ本機に
登録されている自車周辺の放送局(エリア
プリセット)を呼び出するかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする
(→P123)

タッチすることにより、「ユーザープリセッ
ト」↔「エリアプリセット」が切り換わり
ます。

メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周
辺の放送局がリストに表示され、かんたんに放送
局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャ
ンネル) 変更が行われた場合には、受信できな
い場合や受信した放送局が表示と異なる場合
があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに12局まで手動で
登録することができます(マニュアルプリ
セット)。

1 「ユーザープリセット」にする
(→P124)2 / にタッチして登録した
い放送局を選ぶ(→P123)

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換 にタッチする (→P123)

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表 (EPG) を表示できます。

1 番組表 にタッチする (→P123)

番組表が表示されます。



リスト項目

メモ

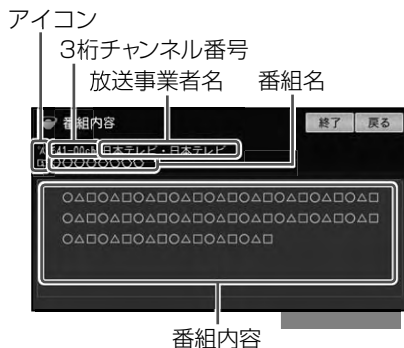
- ・リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。(→P125)
- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容 にタッチする (→P123)

番組内容が表示されます。



番組内容

メモ

- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 **スキャン**に2秒以上タッチする (→P124)



中止 にタッチすると、スキャンを中止します。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 **字幕切換**にタッチする (→P124)

タッチするごとに次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF →
字幕1に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 **音声切換**にタッチする (→P124)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第3音声 →
第1音声に戻る

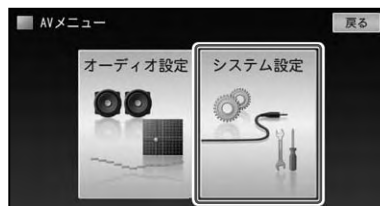
2カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 →
主音声に戻る

視聴者設定を消去する

破棄や譲渡などの場合に、視聴者設定を消去します。

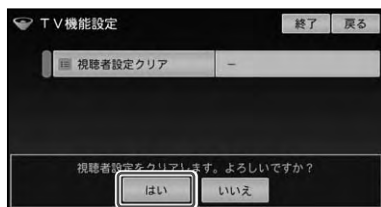
1 AVソース画面で**メニュー**を 押し、**システム設定**にタッチ する



2 TV機能設定にタッチする



3 視聴者設定クリア - はい にタッチする



視聴者設定が消去されます。

TVを見る(パイオニア製地上デジタルTVチューナー)

本機に別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナーを接続すると、地上デジタルテレビジョン放送を視聴することができます。本書では「GEX-P90DTV」を接続した場合を例に説明します。

メモ

- ・本機に別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナーを接続した場合は、内蔵ワンセグ(→P123)は操作できなくなります。
- ・地上デジタルTVチューナーを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア(→P136)をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P133)

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

地上デジタルTV放送を受信する

1 AVソースをTVにする(→P116)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

メモ

- ・オプション設定(→P101)で「TVにする」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。

2 画面にタッチする

シンプル操作タッチキーが表示されます。



リスト項目	タッチした放送局を受信します。
詳細	操作タッチキー 1 を表示します。
ビュー	シンプル操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

操作タッチキー 1



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
◀または▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類(→P129)を切り換えます。
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P130)
番組表	番組表を表示します。(→P131)
番組内容	番組内容を表示します。(→P132)
d	データ放送画面に切り換えます。(→P132)
操作	パネルタッチキーを表示します。(→P133)
バンド切換	バンドを切り換えます。(→P130)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。

操作タッチキー2



終了	映像画面を表示します。
戻る	シンプル操作タッチキーを表示します。
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→P133)
サービスリスト	サービスリストを表示します。(→P134)
字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P134)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P134)
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。(→P134)
番組情報取得	番組情報を取得します。(→P131)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

 または 	プリセットチャンネルを順に送る
 または  長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

 メモ

- パイオニア製地上デジタルTVチューナーの音量は、他のAVソースより低いため、他のAVソースからパイオニア製地上デジタルTVチューナーに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P188)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソースプレートに表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ (1セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車周辺の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする
(→P128)

タッチすることにより、「ユーザープリセット」⇔「エリアプリセット」が切り換わります。

 メモ

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリストに表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機では2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー (P1 ~ P12) を使い分けることができます。

1 バンド切換にタッチする (→P128)

▼
タッチするごとに TV1 ↔ TV2 が切り換わります。

メモ

・ふだんはTV1を使用し、旅行先ではTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットにバンドごとに12局まで手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」にする (→P129)

2 ◀ / ▶ にタッチして登録したい放送局を選ぶ(→P128)

3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



▼
現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで同じ放送局の別エリアの中継局が存在する場合は、放送局名の右側に **AA** マークが表示されます。

受信状態が悪くなった場合などは次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

1 「エリアプリセット」にする (→P129)

2 受信中の放送局名にタッチして はい にタッチする



メモ

- ・機能設定の「オート放送局サーチ設定」(→P135)で、「中継局+系列局」または「中継局」に設定しておく、エリア内の受信状態の良い中継局に自動で切り換えることができます。
- ・エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→P133)をしてください。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換にタッチする (→P128)

▼
別のサービスが表示されます。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 番組情報取得にタッチする (→P129)



中止にタッチすると、取得を中止します。

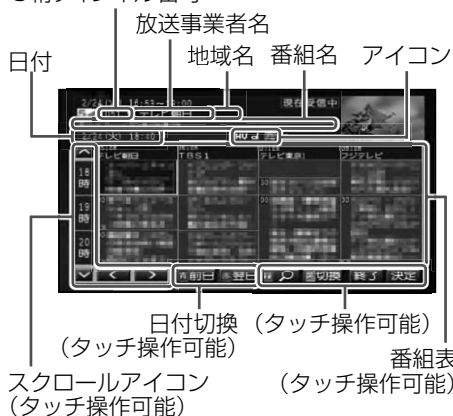
番組表を表示する

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表(EPG)を表示できます。

1 番組表にタッチする (→P128)

番組表が表示されます。

3桁チャンネル番号



前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。
ジャンル検索	ジャンル検索画面が表示されます。ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。(→P131)
切換	タッチすることにより、以下のように表示方法が切り換わります。 4チャンネル分 → 7チャンネル分 → 1チャンネル分 → 4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定	現在放送中の番組であれば、選んだ番組を視聴します。 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了**にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。
- 番組情報取得の操作(→P131)を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。空欄部分にタッチするか、**上****下****左****右**で空欄を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索することができます。

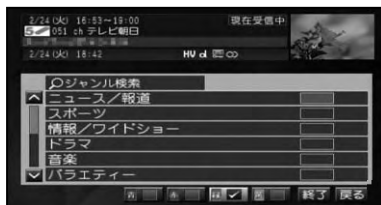
メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 番組表が表示されているときに ジャンル検索にタッチする(→P131)

つづく→

2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



メモ

- ジャンル検索画面表示中に **△** **V** でジャンルを選び、カラーボタン (**青**、**赤**、**緑**、**黄**) にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。

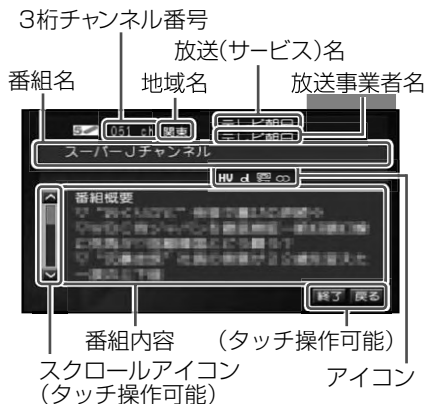
これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容にタッチする (→P128)

番組内容が表示されます。



メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了** にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

メモ

- 地域を対象としたサービス(設定した地域の天気予報や選挙速報など)を行っている場合は、郵便番号設定 (→P136) で設定した地域の情報を受信します。工場出荷時は、「オート」に設定されています。

1 **d** にタッチする(→P128)

データ放送の画面に切り換わります。

メモ

- データ放送画面は、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。→「データ放送画面の操作のしかた」(P133)
- データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてから **d** にタッチします。

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

1 データ放送画面で、操作にタッチする(→P128)

パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

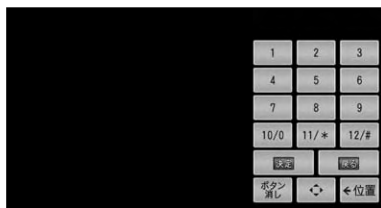
カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。



決定	項目を決定します。
↑/↓/←/→	カーソルを操作します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。
ESC	ESCボタンとして、全解除などに使います。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーを表示します。(→P133)
←位置	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。



数字キー (1 ~ 12/#)	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
↑/↓/←/→	十字パネルタッチキーに戻ります。(→P133)
←位置	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットとサービスリストに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする(→P129)



中止にタッチすると、スキャンを中止します。

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換 にタッチする (→P129)

タッチすることにより次のように切り換わります。

映像1 → 映像2 → 映像3 →
映像1 に戻る

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切換 にタッチする (→P129)

タッチすることにより次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF →
字幕1 に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換 にタッチする (→P129)

タッチすることにより次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第3音声 →
第1音声 に戻る

2カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 →
主音声 に戻る

サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 サービスリスト にタッチする (→P129)

2 受信したいサービスチャンネル にタッチする

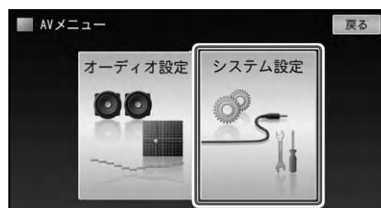


地上デジタルテレビの機能設定を行う

地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定、受信機情報メニューがあります。

1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする

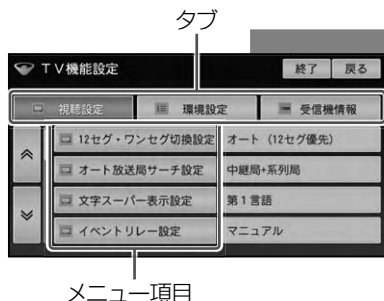


2 TV機能設定にタッチする



地上デジタルTV放送の機能設定メニューが表示されます。

3 メニューの種類(タブ)を選んでメニュー項目にタッチする



視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。
受信機情報	[受信機情報] メニューが表示されます。



メモ

・各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切替設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。

「オート(12セグ優先)」 12セグの受信を優先します。状況に応じてワンセグに切り換えます。

「オート(標準)」* 状況に応じて12セグとワンセグを自動で切り換えます。

「オート(ワンセグ優先)」 ワンセグの受信を優先します。状況に応じて12セグに切り換えます。

「マニュアル」 12セグとワンセグを手動で切り換えます。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

「中継局+系列局」 自動で中継局・系列局を探します。

「中継局」* 自動で中継局を探します。
「OFF」 中継局・系列局は探しません。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

「第1言語」* 第1言語で表示します。
「第2言語」 第2言語で表示します。
「OFF」 文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

「オート」 自動でチャンネルを切り換えます。

「マニュアル」* 手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

- 「オート」* 自動でチャンネルを切り換えます。
 「マニュアル」 手動でチャンネルを切り換えます。

【環境設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

- 「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
 「マニュアル」 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

- 「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。
 「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

ダウンロード設定

放送波に含まれたデータをダウンロードして、地上デジタルTVチューナーのデータを更新するかどうかを設定します。

- 「ON」* データをダウンロードします。
 「OFF」 データをダウンロードしません。



メモ

- ダウンロード中は、放送を見ることはできません。ただし、「4チューナー設定」(→P136)を「番組表取得/サーチ優先」にしている場合は、ダウンロード中でも放送を見ることができます。

番組名称情報取得設定

地上デジタルTV 以外のAVソースのときや、「4チューナー設定」を「番組表取得/サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得(→P131)するかどうかを設定します。

- 「ON」* 自動的に取得します。
 「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

※チャンネルおよび番組表、機能設定(視聴設定、環境設定)、データ連動放送のブックマークが消去されます。

- 「はい」 設定をクリアします。
 「いいえ」 設定をクリアしません。

番組表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか、全チャンネルにするかを設定します。

- 「メインチャンネル」* メインチャンネルの番組表を表示します。
 「全チャンネル」 全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

4つのチューナーをすべて受信性能優先とするか、受信と機能を2+2チューナーで分けるかを設定します。機能とは、中継局サーチや系列局サーチ、他の放送局の番組表取得、ダウンロードなどです。

- 「受信性能優先」* 4つのチューナーをすべて受信性能優先として設定します。
 「番組表取得/サーチ優先」 必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。



メモ

- 4チューナー設定は、2チューナータイプのパイオニア製地上デジタルTVチューナー(GEX-P70DTVなど)を接続した場合、表示されません。

【受信機情報】メニュー

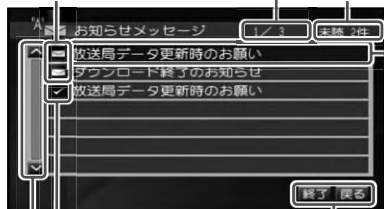
お知らせメッセージ

本機に送られてきたメッセージを表示します。

メッセージ一覧画面

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
未読アイコン

未読件数の表示



既読アイコン

(タッチ操作可能)

スクロールアイコン
(タッチ操作可能)

メッセージの件名
(タッチ操作可能)

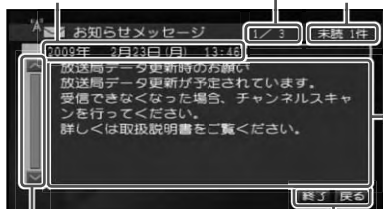
1 内容を見たいメッセージにタッチする

選んだメッセージの内容が表示されます。

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数

日付

未読件数の表示



スクロールアイコン
(タッチ操作可能)

(タッチ操作可能)
メッセージの内容

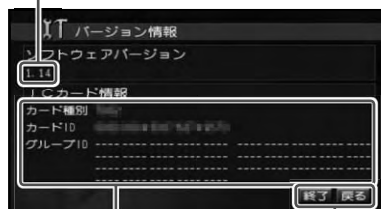
メモ

- ・**戻る**または**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。
- ・未読メッセージがあると、画面に✉(→P129)が表示されます。

バージョン情報

地上デジタルTVチューナーのソフトウェアのバージョンや、B-CASカードなどの情報を表示します。

ソフトウェアのバージョン



B-CASカードの情報

(タッチ操作可能)

ダウンロードの手順

更新されたデータが地上デジタル放送で配信されたときに、ダウンロードして地上デジタルTVチューナーのデータをバージョンアップすることができます。

メモ

- ・あらかじめ、環境設定メニュー(→P136)の「ダウンロード設定」を「ON」にしておく必要があります。
- ・走行中よりも停車中のほうが受信状態が安定してダウンロードが成功する確率が高くなります。
- ・ダウンロードが完了するまで、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- ・ダウンロードが成功して地上デジタルTVチューナーのデータを更新すると、設定内容が消去される場合があります。その場合、お使いになる前に機能設定(→P134)を行ってください。また設定内容などは、事前にメモしておくことをおすすめします。

1 「ダウンロード待機中」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチを切らずに待つ

ダウンロードが完了します。

つづく→



メモ

- 4チューナー設定(→P136)で「番組表取得／サーチ優先」に設定している場合、ダウンロード画面は表示されません。(表示はされませんが、ダウンロードは自動的に行われます。)
- ダウンロードを中止する場合は、**中断**などのキーにタッチします。
- ACCがONの状態であれば、AVソースのON/OFFにかかわらず、ダウンロードを行います。
- ダウンロードが成功すると、画面にメッセージが表示されます。画面に従って操作してください。
- ダウンロードが失敗したときは、受信状態が安定しているかどうか受信レベルを確認してください。
- 受信状態が安定しているのにダウンロードが何度も失敗してしまうときは、販売店にご相談ください。

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	140
再生する	140
リストから選んで再生する	140
リピート再生	141
ランダム再生	141
ROM (WMA/MP3/AAC) を聴く	142
再生する	142
リストから選んで再生する	142
リピート再生	143
ランダム再生	143

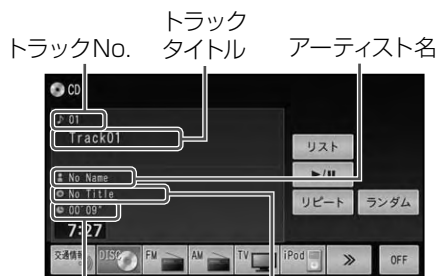
音楽CDを聴く

音楽CDの基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



再生中トラックの
経過時間

アルバムタイトル

リスト	トラックリストを表示します。
▶ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P141)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P141)

本体のボタンで操作する場合：

◀▶ または ▶▶ を押す	トラックのダウン／アップ
◀◀ または ▶▶ を長く押す	早戻し／早送り

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P116)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P214)を参照してください。

- アルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名は、CD-TEXTから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：No Title
 - トラックタイトル：Track01、Track02…
 - アーティスト名：No Name
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのいずれかのデータが混在しているディスクを再生した場合、再生される優先順位は以下になり、優先順位の高いもののみ再生されます。

① CD → ② ROM → ③ DivX

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 リストにタッチする(→P140)

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- 通常再生画面に戻るには、**終了**または**戻る**にタッチします。

リピート再生

指定したディスク、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P140)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P140)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はDISC REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

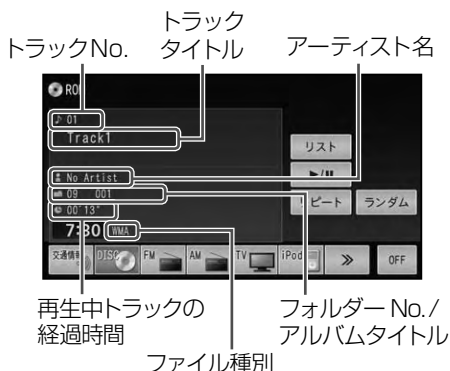
ROM(WMA/MP3/AAC)を聴く

ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



リスト	トラックリストを表示します。
▶/⏸	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P143)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P143)

本体のボタンで操作する場合：

⏮ または ⏭ を押す	トラックのダウン／アップ
⏮ または ⏭ を長く押す	早戻し／早送り

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P116)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P214)を参照してください。

- ID3タグ/WMAタグ/AACタグ(→P217)からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - トラックタイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのいずれかのデータが混在しているディスクを再生した場合、再生される優先順位は以下になり、優先順位の高いもののみ再生されます。
 - ① CD → ② ROM → ③ DivX

リストから選んで再生する

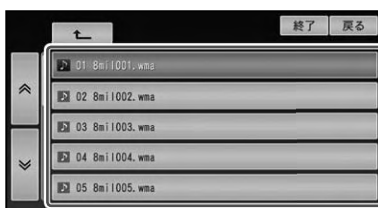
リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 リストにタッチする(→P142)

メモ

- リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



 メモ

-  にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大700、ファイル数は最大3 500です。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P142)



タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → TRACK REPEAT →
FOLDER REPEAT → DISC REPEATに
戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

 メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P142)



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

 メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

映像ディスクを使う

DVDビデオを見る	146
再生する	146
ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)	147
ディスクメニュー操作キーで操作する	147
コマ送り再生	148
スロー再生	148
リピート再生	148
ブックマークの登録	149
ダイレクトサーチ	149
字幕言語の切り換え	149
音声言語の切り換え	150
アングルの切り換え	150
リターン再生	150
音声出力の切り換え	151

DVD-VRを見る	152
再生する	152
コマ送り再生	153
スロー再生	153
CMバック/スキップ	153
リピート再生	154
リストからタイトルを選んで再生する	154
ダイレクトサーチ	154
字幕言語の切り換え	155
音声言語の切り換え	155
音声多重の切り換え	155

DVDの機能設定	156
基本字幕言語	156
基本音声言語	156
メニュー言語	157
マルチアングル	157
テレビアスペクト	157
視聴制限	158
暗証番号を忘れたときは	158
オートプレイ	158

言語コード表	159
--------------	-----

DivXを見る	160
再生する	160
コマ送り再生	160
スロー再生	161
リピート再生	161
リストからファイルを選んで再生する	161
レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合	162
ダイレクトサーチ	162
字幕言語の切り換え	162
音声言語の切り換え	163

DVDビデオを見る

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



トップメニュー / メニュー ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P147)

⬢ ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。(→P147)

ブックマーク 再生中のディスクにブックマークを登録します。(→P149)

▶|| 再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

■ 再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)

リピート	リピート再生を行います。(→P148)
⏮	コマ送り再生 / スロー再生を行います。(→P148)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換 再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P149)

音声切換 再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P150)

L/R切換 音声出力を切り換えます。(→P151)

アングル 再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル)(→P150)

リターン 戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。(→P150)

10キーサーチ ダイレクトサーチを行います。(→P149)

前ページ 操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

⏮ または ⏭ を押す	チャプターのダウン / アップ
⏮ または ⏭ を長く押す	早戻し / 早送り

◀▶ または ▶▶ を押し続ける

キーを離してからでも早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

メモ

- ・ **ビュ** にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P116)
- ・DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(→P147)
- ・オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P158)
- ・DVDの録音レベルは他のAVソースより低い場合、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P188)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P214)を参照してください。

ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする(→P146)

2 画面にタッチして操作する



メモ

- ・ **▶▶** にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 操作タッチキー1またはディスクメニュー表示中に **▶▶** にタッチする(→P146)

2 ▲◀▶▶ にタッチして項目を選び、**決定**にタッチする



メモ

- ・ **◀位置** にタッチすると、ディスクメニュー操作キーの表示位置を画面右側から画面左側へ変更することができます。表示位置を画面右側へ戻す場合は **位置▶** にタッチしてください。
- ・ **ビュ** にタッチすると、ディスクメニューに戻ります。
- ・ **戻る** にタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 にタッチする(→P146)

再生が一時停止し、 にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 に2秒以上タッチする(→P146)

スロー再生されます。

スロー再生中に  にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返し再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 **リピート** にタッチする(→P146)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ(→P158)の設定がONのときは機能しません。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 ブックマークにタッチする (→P146)

選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。

メモ

- ・ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録できます。5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする (→P146)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーモード**が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒 にタッチすると分と秒を 確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

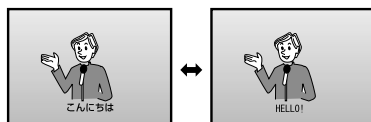
指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする (→P146)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

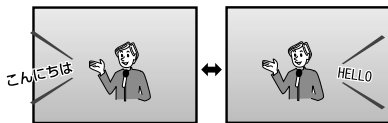
- ・パッケージについている $\left[\begin{smallmatrix} \text{Z} \\ \text{2} \end{smallmatrix} \right]$ マークの数字が、字幕の収録数です。
- ・DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が多数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする (→P146)

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

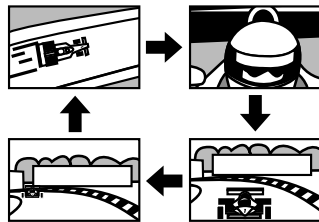
- パッケージについているⓈのマークの数字が、音声の収録数です。
- DVDによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- DTS 音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。

1 アングルにタッチする (→P146)

タッチすることにより、アングルが切り換わります。



メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
- パッケージについているⓈのマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P157)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 リターンにタッチする (→P146)

ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

音声出力の切り換え

音声がりニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 **L/R切換** にタッチする (→P146)



タッチすることにより、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → L → R → Mix (表示なし) →
L + Rに戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
Mix	左右の音声をミックスして出力します。

DVD-VRを見る

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキー1が表示されます。

操作タッチキー 1



リスト	タイトルリストを表示します。 (→P154)
CMバック / CMスキップ	一定の秒数だけ早戻し／早送りを行います。(→P153)
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P154)
 ▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→P153)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P155)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P155)
音声多重	音声出力を切り換えます。(→P155)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P154)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	チャプターのダウン／アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し／早送り
◀ または ▶ を押し続ける	キーを離してから早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

メモ

- ・ **ビュー** にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・ すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P116)

- DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低い場合、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P188)
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P214)を参照してください。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 にタッチする(→P152)

再生が一時停止し、 にタッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチすることにより静止画が順に送られます。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 に2秒以上タッチする(→P152)

スロー再生されます。

スロー再生中に にタッチすることにより、スロー再生の速度が以下のように切り換わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

メモ

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- スロー再生速度を逆方向に切り換えることはできません。元に戻したい場合(1/2から1/4など)は、 にタッチしてスロー再生を解除してから操作し直してください。

CMバック/スキップ

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 **CMバック** または **CMスキップ** にタッチする(→P152)

タッチすることにより、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る
CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る

メモ

- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をCHAPTER REPEAT に指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする (→P152)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT
→ TITLE REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート再生範囲は、画面に表示されませんが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⓪(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 リストにタッチする (→P152)

2 見たいタイトルにタッチする



選んだタイトルが再生されます。

メモ

- **モード切換**にタッチすることにより、リスト表示をProgram再生(ディスクに記録された順番に再生)とPlayList再生(ユーザーが任意で指定して記録された順番に再生)に切り換えることができます。
- PlayListが無い場合は、通常再生であるProgram再生のみとなり、**モード切換**は選択できません。
- モード切換を行うと、必ずそれぞれの先頭のタイトルから再生されます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする (→P152)

2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**が選べます。



数字キー

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を 確定します。

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

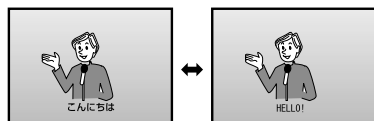
指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 **字幕切換**にタッチする (→P152)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

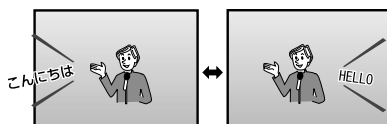
- ・ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が多言語収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 **音声切換**にタッチする (→P152)

タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

- ・DTS音声は再生できません。
- ・[Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 **音声多重**にタッチする (→P152)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

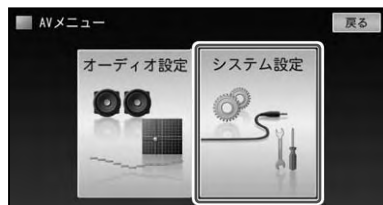
MAIN+SUB → MAIN → SUB → MIX
→ MAIN+SUBに戻る

MAIN+SUB	左側スピーカーから主音声、右側スピーカーから副音声を出力します。
MAIN	左右のスピーカーから主音声のみを出力します。
SUB	左右のスピーカーから副音声のみを出力します。
MIX	左右のスピーカーから主音声と副音声を一緒に出力します。

DVDの機能設定

DVD-V (Video mode) とDVD-VR (VR mode) の再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

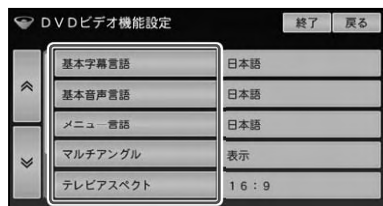
1 AVソース画面で **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする



2 **DVDビデオ機能設定** にタッチする



3 各項目にタッチして設定する



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

本書の表記について

DVD-V **DVD-VR** : Video modeとVR mode共に設定できる項目です。

DVD-V **DVD-VR** : Video mode のみ設定できる項目です。

基本字幕言語 **DVD-V** **DVD-VR**

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。

1 **基本字幕言語** にタッチする

2 それぞれの言語を設定する



日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他 から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

メモ

- ・ **その他** にタッチしたときは、「言語コード表」(→ P159) より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- ・ 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ・ ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声言語 **DVD-V** **DVD-VR**

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。

設定項目は基本字幕言語と同じです。

メニュー言語 DVD-V DVD-VR

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

設定項目は基本字幕言語と同じです。

マルチアングル

DVD-V DVD-VR

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。

工場出荷時は「表示」です。

1 マルチアングルにタッチする

2 表示または非表示にタッチする



表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト

DVD-V DVD-VR

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9 ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスカン ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。

メモ

- 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせた場合のみ設定を変えてください。
- パンスカン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスカン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで**16:9 PS**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限 DVD-V DVD-VR

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

- 1 **視聴制限** にタッチする
- 2 **4桁の暗証番号を入力し、入力終了** にタッチする



メモ

- ・はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

3 制限レベルを設定する



設定レベル	内容
8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ DVD-V DVD-VR

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

- 1 **オートプレイ** にタッチする
- 2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- ・オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- ・オートプレイの設定がONのときはリピート再生は機能しません。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fi)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラピュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズルー語 (zu)	2621

DivXを見る

DivXの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

2 画面にタッチする

操作タッチキーが表示されます。



リスト	ファイルリストを表示します。(→P161)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P162)
字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕)(→P162)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声)(→P163)
▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
リピート	リピート再生を行います。(→P161)
 ▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P160, 161)

本体のボタンで操作する場合：

◀▶ または ▶▶ を押す	ファイルのダウン/アップ
◀▶ または ▶▶ を長く押す	早戻し/早送り
◀▶ または ▶▶ を押し続ける	キーを離してからでも早戻し/早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

✎ メモ

- ・**ビュー**にタッチすると操作タッチキーは消えます。
- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P116)
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P214)を参照してください。
- ・音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのいずれかのデータが混在しているディスクを再生した場合、再生される優先順位は以下になり、優先順位の高いもののみ再生されます。
① CD → ② ROM → ③ DivX

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 ||▶にタッチする(→P160)

再生が一時停止し、||▶にタッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- ・▶IIにタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ・ディスクや再生位置によって、⓪(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 ▶IIIに2秒以上タッチする
(→P160)

スロー再生されます。

メモ

- ・▶IIIにタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。
- ・ディスクや再生位置によって、⓪(禁止マーク)が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、ファイルを繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をFILE REPEATに指定すると、再生中のファイルを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする
(→P160)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- ・選んだリピート再生範囲は、画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、⓪(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- ・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中のファイルの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

リストからファイルを選んで再生する

リストから見たいファイルを選んで再生することができます。

1 リストにタッチする(→P160)

メモ

- ・リストに長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 見たいファイルにタッチする



選んだファイルが再生されます。

つづく→

メモ

- **戻る** にタッチすると、操作タッチキー画面に戻ります。**終了** にタッチすると映像画面に戻ります。
- **↑** にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合

レンタルコンテンツのファイルを選んで再生する場合は、以下の画面が表示されます。



はい または **いいえ** にタッチします。

	ディスクを停止します。
	前のファイルを表示します。
	次のファイルを表示します。

メモ

- DivXのレンタルコンテンツをダウンロードする場合は、オーディオシステム設定の「DivX VODコード」(→P195) でレジストレーションコードを入手して行ってください。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 **10キーサーチ** にタッチする
(→P160)2 見たい場面の時間(分・秒)を入力し、**決定** にタッチする

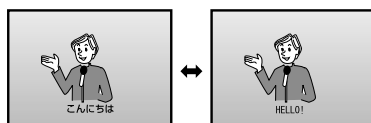
指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 **字幕切換** にタッチする
(→P160)

タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。



メモ

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

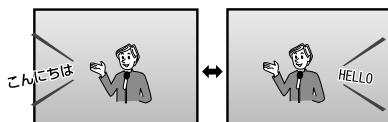
音声言語の切り換え

音声が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする (→P160)



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。



メモ

- DTS音声は再生できません。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

SDメモリーカード/USBメモリーを使う

音楽ファイルを聴く (SDメモリーカード／USBメモリー) ...	166
再生する	166
聴きたい曲を探す	167
リピート再生	167
ランダム再生	167
映像ファイルを見る (SDメモリーカード)	168
再生する	168
見たい映像を探す	169
リピート再生	169
ダイレクトサーチ	169

音楽ファイルを聴く(SDメモリーカード/USBメモリー)

本機に接続したSDメモリーカード／USBメモリー内の音楽ファイル(WMA/MP3/AAC/WAV)の操作について説明します。

！ 注意

- SDメモリーカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』―「SDメモリーカードの出し入れ」
異なる手順で出し入れを行うと、SDメモリーカードに保存したデータが破損する場合があります。

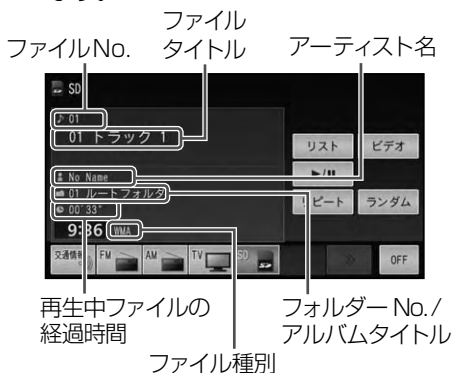
メモ

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SDメモリーカード：最大容量 32GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDHC対応
 - USBメモリー：最大容量 16GB、ファイルシステムFAT 32/16
- 本機にUSBメモリーを接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要です。
- SDメモリーカード内の映像ファイルの操作に関しては「映像ファイルを見る」(→P168)をご覧ください。
- 地図データ(差分情報のみ)更新時(→P212)に、AVソースでSD/USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ(差分情報のみ)更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。

再生する

1 AVソースをSDまたはUSBにする(→P116)

前回再生していたファイルから再生されます。



リスト	ファイルリストを表示します。(→P167)
ビデオ	映像ファイルの再生に切り換わります。(→P168)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生します。(→P167)
ランダム	ランダム再生します。(→P167)

本体のボタンで操作する場合：

◀▶ または ▶▶ を押す	ファイルのダウン/アップ
◀▶ または ▶▶ を長く押す	早戻し/早送り

メモ

- AVソースがSDで、かつ前回映像ファイルを再生していた場合は、映像ファイルが再生されますので、画面にタッチして操作タッチキーを表示し、**ミュージック**にタッチしてください。AVソースがUSBの場合は、**ビデオ**／**ミュージック**は表示されません。
- MP3/WMA/AACファイルからタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - ファイルタイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーの項目にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。

聴きたい曲を探す

1 リストにタッチする(→P166)

メモ

- ・**リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(ファイル)にタッチする



メモ

- ・**↑**にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- ・フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- ・リストに表示されるフォルダー数は最大300、ファイル数は最大5 000です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をFILE REPEAT に指定すると、再生中のファイルを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする(→P166)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

MEDIA REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → MEDIA REPEAT に戻る

MEDIA REPEAT	通常の再生状態です。再生中のメディアを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイル(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- ・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- ・選んだリピート再生範囲は画面に表示されませんが、通常再生であるMEDIA REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

再生順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする(→P166)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- ・リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。

映像ファイルを見る (SDメモリーカード)

本機に接続したSDメモリーカード内の映像ファイル (MPEG4/H.264/WMV) の操作について説明します。

！ 注意

- ・ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。
- ・ SDメモリーカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→『スタートブック』—「SDメモリーカードの出し入れ」
異なる手順で出し入れを行うと、SDメモリーカードに保存したデータが破損する場合があります。

メモ

- ・ 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SDメモリーカード：最大容量 32GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDHC対応
- ・ SDメモリーカード/USBメモリー内の音楽ファイルの操作に関しては「音楽ファイルを聴く」(→P166)をご覧ください。
- ・ 本機で再生するSDメモリーカード内の映像ファイルの解像度は、QVGA (320×240ピクセル) 以下となります。また、ビットレートが高すぎるファイルなどは、本機で再生できない場合があります。
- ・ 本機で再生するSDメモリーカード内の映像ファイルの再生時間は、約2時間30分(150分)までとなります。
- ・ 地図データ (差分情報のみ) 更新時 (→P212) に、AVソースでSD/USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ (差分情報のみ) 更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。

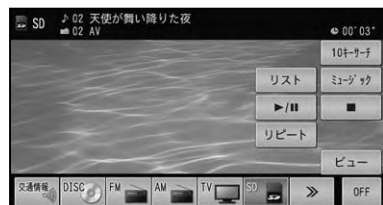
再生する

1 AVソースをSDにする(→P116)

前回再生していたファイルから再生されます。

2 画面にタッチする

操作タッチキーが表示されます。



10キーサーチ ダイレクトサーチを行います。(→P169)

リスト ファイルリストを表示します。(→P169)

ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わります。(→P166)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生します。(→P169)

本体のボタンで操作する場合：

◀▶ または ▶▶ を押す	ファイルのダウン/アップ
◀▶ または ▶▶ を長く押す	早戻し/早送り

メモ

- ・ 前回音楽ファイルを再生していた場合は、音楽ファイルの操作タッチキーが表示されますので、**ビデオ**にタッチしてください。
- ・ 映像の表示方法を変更することができます。→「SD映像出力設定」(P195)
- ・ DRM (デジタル著作権管理) が設定されたファイルは再生できません。

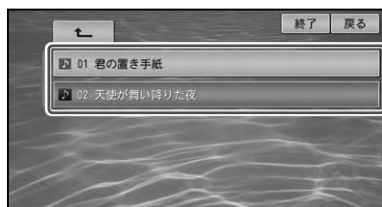
見たい映像を探す

1 リストにタッチする(→P168)

メモ

- ・**リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 見たい映像にタッチする



メモ

- ・**戻る**にタッチすると、操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- ・**↑**にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- ・フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P168)



タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

MEDIA REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → MEDIA REPEAT
に戻る

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする (→P168)

2 見たい場面の時間(分・秒)を入力し、**決定**にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

iPodミュージックを聴く	172
再生する	172
聴きたい曲を探す	172
リピート再生	173
シャッフル再生	173
iPodビデオを見る	174
再生する	174
見たい映像を探す	175
リピート再生	175
シャッフル再生	175

iPodミュージックを聴く

本機に接続したiPodの音楽ファイルの操作のしかたを説明します。

メモ

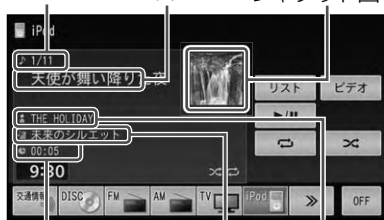
- 本書では便宜上、iPod、iPhoneをiPodと表記しています。
- 本機にiPodを接続するときは、別売のiPod用接続ケーブルが必要です。
- iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。(映像再生中にiPodを一度外して再度着けた場合など)
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちのiPodソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応iPodおよび制限事項については、販売店へご確認ください。

再生する

1 AVソースをiPodにする (→P116)

前回再生していたトラックから再生されます。

トラックNo. トラック
 タイトル ジャケット画像



再生中トラックの
経過時間 アルバム アーティスト名
 タイトル

ビデオ	iPodビデオのリストに切り換わります。(→P174)
リスト	リストを表示します。長くタッチすると、ミュージックトップリストを表示します。(→P172)
▶II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
↺	リピート再生を行います。(→P173)
⌵	シャッフル再生を行います。(→P173)

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	チャプターまたはトラック のダウン／アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し／早送り

メモ

- 前回iPodビデオを再生していた場合は、iPodビデオが再生されますので、画面にタッチして操作タッチキーを表示し、**ミュージック**にタッチしてください。

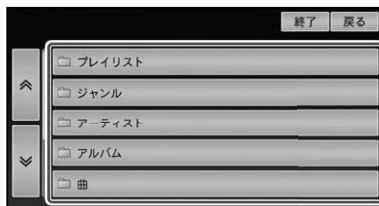
聴きたい曲を探す

1 リストにタッチする(→P172)

メモ

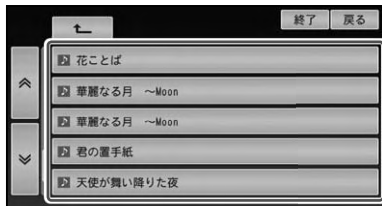
- **リスト**に長くタッチすると、iPodミュージックのトップリストを表示します。

2 曲を絞り込む



メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。

3 聴きたい曲にタッチする**メモ**

-  にタッチすると上位階層のリストを表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 にタッチする(→P172)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 にタッチする(→P172)

タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS →
SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

iPodビデオを見る

本機に接続したiPodビデオの操作について説明します。

！ 注意

- ・ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

メモ

- ・ 本書では便宜上、iPod、iPhoneをiPodと表記しています。
- ・ 本機にiPodを接続するときは、別売のiPod用接続ケーブルが必要です。
- ・ ビデオ機能に関しては、ビデオに対応したiPodが必要となります。
- ・ iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。(映像再生中にiPodを一度外して再度着けた場合など)
- ・ 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ・ ご使用前に、お持ちのiPodソフトを最新バージョンにしてください。
- ・ 対応iPodおよび制限事項については、販売店へご確認ください。

再生する

1 AVソースをiPodにする (→P116)

前回再生していたファイルから再生されます。

2 画面にタッチする

操作タッチキーが表示されます。



リスト	リストを表示します。長くタッチすると、ビデオトップリストを表示します。(→P175)
ミュージック	iPodミュージックのリストに切り換わります。(→P172)

	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
	リピート再生を行います。(→P175)
	シャッフル再生を行います。(→P175)

本体のボタンで操作する場合：

またはを押す	チャプターまたはトラックのダウン／アップ
またはを長く押す	早戻し／早送り
またはを押し続ける	キーを離してから早戻し／早送りを続けます。もう一度押すと通常再生に戻ります。

メモ

- ・ **ビュー** にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- ・ 前回iPodミュージックを再生していた場合は、iPodミュージックの操作タッチキーが表示されますので、**ビデオ** にタッチしてください。
- ・ 映像の表示方法をワイドスクリーンで行うことができます。→「iPodワイドスクリーン」(P196)

見たい映像を探す

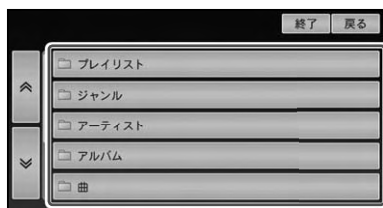
1 リストにタッチする(→P174)



メモ

- ・**リスト**に長くタッチすると、iPodビデオのトップリストを表示します。

2 映像を絞り込む



メモ

- ・それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。

3 見たい映像にタッチする



メモ

- ・**戻る**にタッチすると、操作タッチキー画面に戻ります。**終了**にタッチすると映像画面に戻ります。
- ・**↑**にタッチすると上位階層のリストを表示します。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 にタッチする(→P174)



タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 にタッチする(→P174)



タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS →
SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

Bluetooth AUDIOを使う

Bluetooth AUDIOの操作のしかた	178
Bluetooth AUDIO機器の登録	178
再生する	178
リピート再生	179
ランダム再生	180
Bluetooth AUDIO機器の接続について	180
一時的に接続が切断された場合	180
Bluetooth AUDIO機器が 自動的に接続されない場合	180

Bluetooth AUDIOの操作のしかた

AV プロファイルに対応した Bluetooth 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth AUDIO 機器内の音楽データを本機で再生することができます。AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△

○：できます。 △：Bluetooth AUDIO 機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

Bluetooth AUDIO機器の登録

Bluetooth AUDIO 機器をお使いになるには、あらかじめ本機に Bluetooth AUDIO 機器を登録する必要があります。

→「Bluetooth の設定を行う」(P89)

登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／Bluetooth AUDIO」または「Bluetooth AUDIO」が設定された Bluetooth AUDIO 機器は、AV ソースが Bluetooth AUDIO に切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。

メモ

- ・本機に登録されていない Bluetooth AUDIO 機器は、接続することができません。
- ・優先接続する Bluetooth AUDIO 機器を変更したい場合は、Bluetooth 設定で行ってください。→「携帯電話を切り換える」(P91)
- ・Bluetooth AUDIO 機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth AUDIO 機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 ソースを Bluetooth AUDIO に切り換える(→ P116)



自動的に Bluetooth AUDIO 機器と接続を行い、再生が始まります。



機器接続	本機と Bluetooth AUDIO 機器が自動的に接続されない場合に、Bluetooth AUDIO 機器側から接続を行います。(→P180)
▶	再生します。一時停止中は、再生を再開します。
⏸	一時停止します。
リピート	リピート範囲を切り換えます。(→P179)
ランダム	ランダム再生を ON/OFF します。(→P180)

本体のボタンで操作する場合：

 または 	トラックのダウン／アップを押す
 または 	早戻し／早送り
	を長く押す

 メモ

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
- お使いの Bluetooth AUDIO 機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth AUDIO 機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth AUDIO 機器によっては、早戻し／早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP 接続のみの場合は ▶ や || などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth AUDIO 機器側で操作してください。
- Bluetooth AUDIO 使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的に Bluetooth AUDIO の機能は停止します。
- A2DP + AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- A2DP + AVRCP Ver1.3 で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(Bluetooth AUDIO 機器によっては表示されない場合もあります。) また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになる Bluetooth AUDIO 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 **リピート** にタッチする
(→P178)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → TRACK REPEAT →
ALL REPEAT → OFF に戻る

TRACK REPEAT	再生中のトラック (曲) を繰り返します。
ALL REPEAT	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

 メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AV ソースプレーットや Bluetooth AUDIO の画面には表示されません。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

選んだりリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 **ランダム**にタッチする (→P178)



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBluetooth AUDIOの画面には表示されません。

Bluetooth AUDIO機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBluetooth AUDIO機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- ACC OFF/ONした場合
- ハンズフリー通話を行った場合
- データ通信を行った場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射をOFF/ONした場合

メモ

- 以下の場合には、自動接続の対象外となります。Bluetooth AUDIO機器側から再接続してください。(→P180)
 - Bluetooth AUDIO機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
 - Bluetooth AUDIO再生中にBluetooth AUDIO機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合

- お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth AUDIO使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBluetooth AUDIOをOFF (→P177)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

Bluetooth AUDIO機器が自動的に接続されない場合

お使いになるBluetooth AUDIO機器によっては、Bluetooth AUDIO機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 **機器接続**にタッチする (→P178)

2 Bluetooth AUDIO機器を操作して本機と接続する

メモ

- 接続を開始してから1分以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth AUDIO機器側の接続操作は、Bluetooth AUDIO機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動接続中など何らかの処理を行っているときに**機器接続**にタッチしても、現在行っている処理が終わるまでは本機能が使用できない場合があります。



Bluetooth AUDIO機器との接続を開始します。

その他の機器を使う

AUXを使う	182
外部機器の入力設定をする	182
外部機器の音声や映像を再生する	182
VTRを使う	183
映像入力の設定をする	183
ビデオを見る	183

AUXを使う

本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声や映像を本機のAVソース(AUX)として再生することができます。

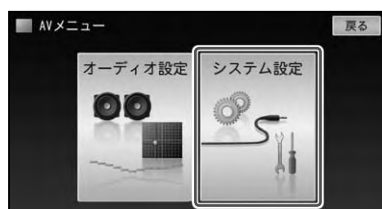


メモ

- 本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続するには、別売の接続ケーブルが必要です。

外部機器の入力設定をする

- 1 **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする



- 2 **AUX設定** — **ON** にタッチする



ON	AUXに接続した機器の音声や映像を再生するとき
OFF	何も接続されていないとき

外部機器の音声や映像を再生する

! 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

- 1 **AVソースをAUXにする**
(→P116)



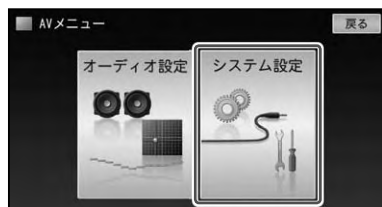
外部機器の音声や映像が再生されます。

VTRを使う

本機にポータブルビデオなどの外部映像機器を接続すると、その映像を本機のAVソース(VTR)として見ることができます。

映像入力の設定をする

- 1 **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする



- 2 **VTR設定** - **ON** にタッチする



ON	VTR機器を接続したとき
OFF	何も接続されていないとき

ビデオを見る

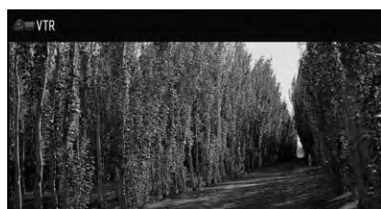
！ 注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

- 1 **AVソースをVTRにする**
(→P116)



ビデオなどの映像が表示されます。



✎ メモ

- ・接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になります。
- ・ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- ・接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質を設定する	186
フェーダー / バランス設定	186
ラウドネス設定	187
イコライザー設定	187
ニュアンス(イコライザー効果)を調整する ...	188
イコライザーを補正する	188
ソースレベルアジャスター設定	188
音場設定(VSC)	189
ポジションを設定する	189

オーディオの音質を設定する

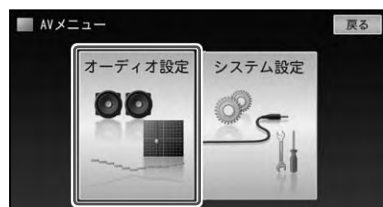
お好みに合わせてオーディオの音などを設定することができます。

1 AVソース画面(→P116)で

メニューを押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 オーディオ設定にタッチする



オーディオ設定画面が表示されます。



フェーダー / バランス設定	前後左右の音量バランスを設定することができます。(→P186)
-----------------------	---------------------------------

ラウドネス設定	小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(→P187)
----------------	---

イコライザー設定	あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。(→P187)
-----------------	--

ソースレベルアジャスター設定

AVソースを切り換えたとときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→P188)

音場設定 (VSC)

お好みの音場をリアルに再現することができます。(→P189)

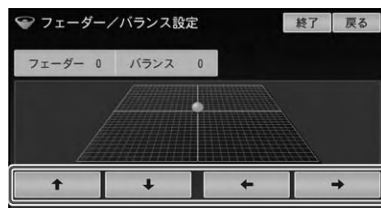
メモ

- ・走行中は操作できない設定項目があります。
- ・オーディオ設定画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。ただし、消音タイミング(→P193)がOFFに設定されている場合は、設定を行うことができます。
- ・AVソースOFF時やMUTE中は、設定できません。
- ・交通情報(→P122)を受信中は、AVメニューを表示することができません。

フェーダー / バランス設定

1 フェーダー / バランス設定にタッチする(→P186)

2 ↑、↓、←、→にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 ラウドネス設定 にタッチする (→P186)

2 ON にタッチする



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF** を選びます。

3 ◀ または ▶ で LOW/MID/HIGH から設定する



イコライザー設定

工場出荷時は「FLAT」です。

1 イコライザー設定 にタッチする(→P186)

2 お好みの設定にタッチする



タッチすることによりイコライザーカーブが切り換わります。

ファクトリーカーブ	+ -	ファクトリーカーブのニュアンスを調整します。(→P188)
	詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。
	SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
	VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
CUSTOM1、CUSTOM2	FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
		CUSTOMメモリーに登録した調整値を呼び出します。

メモ

- **FLAT** **CUSTOM1** **CUSTOM2** を選択しているときは、ニュアンスレベルの調整は行えません。
- **CUSTOM1** はAVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM, AM
 - CD, ROM, DVD-V, DVD-VR, DivX
 - SD, USB
 - VTR, AUX
 - TV (パイオニア製地上デジタルTVチューナー、内蔵ワンセグ)

ニュアンス（イコライザー効果）を調整する

選んだファクトリーカーブの全体的なレベルを調整し、イコライザー効果を調整します。
プラスに調整するほど、イコライザー効果が増します。

1 ファクトリーカーブを選ぶ (→P187)

2 **+** または **-** にタッチして、レベルを設定する



SUPERBASS、POWERFUL、VOCAL:
- 12dB ~ +12dBの間で2 dBごとに調整できます。

NATURAL:
- 8dB ~ +12dBの間で2 dBごとに調整できます。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、CUSTOM1に登録されます。

メモ

- ・CUSTOM2を選んで行った補正値は、CUSTOM2に登録されます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ (→P187)

2 **詳細設定** にタッチする

3 補正する周波数を選び、**▲** または **▼** にタッチしてレベルを補正する



50Hz、125Hz、315Hz、800Hz、2kHz、5kHz、12.5kHzから周波数を選べます。

- 12dB ~ +12dBの間で2 dBごとに調整できます。

ソースレベルアジャスター設定

工場出荷時は「0dB」です。

メモ

- ・FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ・AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - ・CD、ROM、DivX
 - ・AM、交通情報
 - ・VTR、AUX
 - ・SD、USB
 - ・DVD-V、DVD-VR
 - ・TV（パイオニア製地上デジタルTVチューナー、内蔵ワンセグ）

1 **ソースレベルアジャスター設定** にタッチする(→P186)

2 + または - にタッチする



-8dB ~ +8dBの範囲で2dBごとに調節できます。

音場設定 (VSC)

工場出荷時は「OFF」です。

1 音場設定 (VSC) にタッチする (→P186)

2 音場を選ぶ



ポジション	音場の再現の中心となるポジションを設定します。(→P189)
OFF	音場効果を設定しません。
MUSIC STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
DYNAMIC THEATER	迫力のある重低音と効果音を強調します。映画などを楽しむときに適しています。
ACTOR'S STAGE	ドラマや演劇など、台詞が聞き取りやすいように中音域を強調します。

RELAX LIVING

リビングでくつろぐような感覚を再現します。BGMなどを流すのに適しています。

メモ

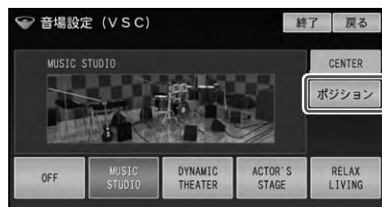
- ・中音域を強調するRELAX LIVINGは、最大音量付近では効果を得られません。

ポジションを設定する

メモ

- ・音場設定をOFFに設定すると、ポジションの効果も無効になります。

1 ポジションにタッチする (→P189)



2 ポジションを選ぶ



LEFT、**CENTER**、**RIGHT** から設定できます。

オーディオのシステムを設定する

オーディオのシステムを設定する	192
ワイドモード設定	193
ワイドモードの種類	193
消音タイミング	193
消音レベル	194
VTR設定	194
AUX設定	194
映像画面時計表示設定	194
ガイド/ハンズフリー SP設定	194
SD映像出力設定	195
DVDビデオ機能設定	195
DivX VODコード	195
TV機能設定	196
iPodワイドスクリーン	196

オーディオのシステムを設定する

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定を行います。

1 AVソース画面(→P116)で

メニューを押す



AVメニュー画面が表示されます。

2 システム設定にタッチする



システム設定画面が表示されます。



ワイドモード設定 映像系ソース(DVDなど)の映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。(→P193)

消音タイミング 音声案内、ハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。(→P193)

消音レベル 消音タイミング時に音量を下げるレベルを設定します。(→P194)

VTR設定 ポータブルビデオなどを本機に接続した場合に、映像や音声を表示するかしないかを設定します。(→P194)

AUX設定 ポータブルプレーヤーなどの外部機器を本機に接続した場合に、その音声や映像を出力するかしないかを設定します。(→P194)

映像画面時計表示設定 DVDなどの映像画面に時計を表示するかしないかを設定します。(→P194)

ガイド/ハンズフリー SP設定 ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。(→P194)

SD映像出力設定 SDメモリーカード内の映像データ再生時の表示形式を設定します。(→P195)

DVDビデオ機能設定 DVDビデオの再生条件を設定します。(→P195)

DivX VODコード DivX VODファイルを再生する場合、そのDivX VODファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。(→P195)

TV機能設定 地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。(→P196)

iPodワイドスクリーン iPodのビデオデータ再生時に、ワイドスクリーンで表示するかどうかを設定します。(→P196)

メモ

- ・交通情報(→P122)を受信中は、AVメニューを表示することができません。

ワイドモード設定

工場出荷時は「FULL」です。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- 設定内容は、映像の種類ごとに別々に設定・登録できます。
- ワンセグ、SDとナビゲーションや音声系ソース（CD、ROMなど）、バックカメラ、フロントカメラ、サイドカメラは、ワイドモードの切り換えはできません。

1 ワイドモード設定にタッチする (→P192)

2 お好みの表示方法を選んでタッチする



メモ

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選べると、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ワイドモードの種類

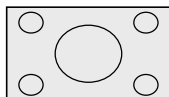
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外側の黒い部分に表示されるものに適しています。



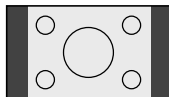
ZOOM (ズーム)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

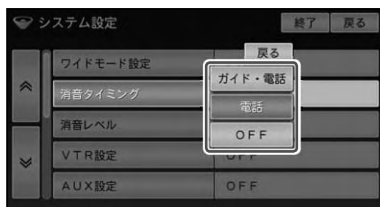


消音タイミング

工場出荷時は「電話」です。

1 消音タイミングにタッチする (→P192)

2 消音タイミングを設定する



つづく→

ガイド・電話	音声案内やハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
電話	ハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

工場出荷時は「-20dB」です。

1 消音レベルにタッチする (→P192)

2 消音レベルを設定する



-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

VTR設定

工場出荷時は「OFF」です。

詳しくは、「VTRを使う」(→P183)をご覧ください。

AUX設定

工場出荷時は「OFF」です。

詳しくは、「AUXを使う」(→P182)をご覧ください。

映像画面時計表示設定

工場出荷時は「OFF」です。

1 映像画面時計表示設定にタッチする(→P192)

2 ON または OFF にタッチする



映像画面に時計を表示しない場合は、**OFF**を選びます。

ガイド/ハンズフリー SP 設定

工場出荷時は「フロントL+フロントR」です。

1 ガイド/ハンズフリー SP設定にタッチする(→P192)

2 スピーカーにタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。
フロントL+フロントR	フロント左右から出力します。

SD映像出力設定

あらかじめ、AVソースをSDに切り換え(→P116)、映像ファイルを再生してください。

工場出荷時は「フル」です。

1 SD映像出力設定にタッチする(→P192)

2 フルまたはアスペクト比固定にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのまま、長辺または短辺を画面に合わせて表示します。

DVDビデオ機能設定

詳しくは、「DVDの機能設定」(→P156)をご覧ください。

DivX VODコード

あらかじめ、AVソースをDISCに切り換えてください。(→P116)

1 DivX VODコードにタッチする(→P192)



8桁のレジストレーションコードが表示されます。



メモ

- DivX VODとは、「DivX Video On Demand (ビデオオンデマンド)」の略です。
- DivX VODファイルは、DRMコピープロテクションがかかっています。DivX VODファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivX VODファイルを再生すると、警告メッセージが表示され、再生できません。
- DivX VODファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VODファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると警告メッセージが表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていないDivX VODファイルは、何度でも再生できます。

TV機能設定

詳しくは、「TVを見る (パイオニア製地上デジタルTVチューナー)」(→P128) をご覧ください。

iPodワイドスクリーン

あらかじめ、AVソースをiPodに切り換え(→P116)、映像を再生してください。

工場出荷時は「OFF」です。

1 iPodワイドスクリーンにタッチする(→P192)

2 ON または OFF にタッチする



ワイドスクリーンで表示しない場合は **OFF** を選びます。

メモ

- 一部の機種では、設定をしても動作しないものがあります。

カメラ機能を使う

バックカメラを使う	198
バックカメラの映像を表示する	198
フロントカメラ・サイドカメラ+ バックカメラを使う	199
フロントカメラ・サイドカメラの 映像を表示する	199

バックカメラを使う

別売のバックカメラを接続すると、車の後方を本機のモニター画面で確認することができます。

バックカメラをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。→「カメラの入力設定をする」(P103)

バックカメラの映像を表示する

！ 注意

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 シフトレバーをR (リバース) の位置にする



バックカメラの映像が表示されます。



メモ

- シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面表示は元の映像に切り換わります。
- バックカメラの映像表示中は、フロントカメラ／サイドカメラ (→P199) への切り換えはできません。
- バックカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- バックカメラの映像を表示中に **(AV)** を長く押すと、画質調整画面 (→P208) が表示され、画質を調整することができます。

フロントカメラ・サイドカメラ+バックカメラを使う

別売のフロントカメラ/サイドカメラ/バックカメラを接続すると、車の前方両側/左前方/後方の映像を本機のモニター画面で確認することができます。フロントカメラ・サイドカメラ+バックカメラをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。→「カメラの入力設定をする」(P103)

メモ

・バックカメラについては、「バックカメラを使う」(→P198)をご覧ください。

フロントカメラ・サイドカメラの映像を表示する

フロントカメラ・サイドカメラの映像は、停止時または低速走行時に表示させることができます。見通しの悪いT字路や狭い住宅地などで表示すると便利です。

注意

- ・フロントカメラ・サイドカメラの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

メモ

- ・フロントカメラ/サイドカメラの映像を表示中に **AV** を長く押すと、画質調整画面(→P208)が表示され、映像を調整することができます。
- ・フロントカメラ/サイドカメラの映像を表示中にシフトレバーをR(リバース)に入れると、バックカメラの映像に切り換わります。
- ・バックカメラの映像表示中は、フロントカメラ/サイドカメラへの切り換えはできません。
- ・フロントカメラ/サイドカメラの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。

1 停止時または低速走行時に (カメラ切換スイッチ) を押す

▼
フロントカメラまたはサイドカメラの映像が表示されます。

フロントカメラとサイドカメラの両方を接続している場合は、 (カメラ切換スイッチ) を押すごとに以下のように映像が切り替わります。

サイドカメラ → フロントカメラ →
元の画面 → サイドカメラに戻る

携帯電話を使う

携帯電話を使う	202
ハンズフリー通話をする	202
ハンズフリー通話をするには	202
ハンズフリー通話でエコー (残響音)が気になるときは	202
電話の受けかた	202
電話のかけかた	203
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける ...	203
電話番号を入力して電話をかける	204
リダイヤルで電話をかける	204
地図に登録された電話番号にかける	204
メモリダイヤルを読み込む	205
携帯電話の電話帳と同期する	205
通話中メニューの操作	206

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→P95)

！ 注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

ハンズフリー通話するには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは「通信設定をする」(→P88)をご覧ください。

メモ

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず「通信機器使用上のご注意」(→P89)をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする(→「ナビゲーションの音量設定をする」(P95))
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する(→「ガイド/ハンズフリー SP設定」(P194))

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→P206)
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



通話 にタッチすると電話につながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。

- ・メモリダイヤル(→P204)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます。
- ・発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- ・携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- ・着信時、携帯電話側の操作で応答保留にした場合は、本機からの操作で通話を行うことはできません。応答保留を解除して通話したい場合は、携帯電話側の操作で行ってください。
- ・電話の切りかたは、「通話中メニューの操作」(→P206)をご覧ください。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

- 1 **メニュー** を押し、**リアルタイム情報** にタッチする
- 2 **携帯電話** にタッチする
- 3 **電話をかける方法** にタッチする



メモリダイヤル 呼び出し	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。(→P203)
メモリダイヤル 読み込み	本機に接続した携帯電話からメモリダイヤルを読み込みます。(→P205)
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P204)
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。(→P204)

メモ

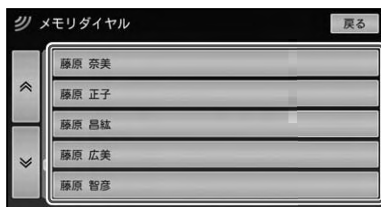
- ・携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル呼び出し**は選択できません。
- ・Bluetooth AUDIO再生中に電話をかけるまたはメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth AUDIOの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- ・発信通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー(→P206)が表示されます。

メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

メモ

- ・メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P91)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

- 1 **メモリダイヤル呼び出し** にタッチする(→P203)
- 2 **相手先を選んでタッチする**
- 3 **選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする**



つづく→

4 **はい**にタッチする

相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。

電話番号を入力して電話をかける

1 **ダイヤル発信**にタッチする (→P203)

2 電話番号を入力し、**発信**にタッチする



相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。

メモ

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。
(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

リダイヤルで電話をかける

1 **リダイヤル**にタッチする (→P203)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 **はい**にタッチする



相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。

メモ

- リダイヤルに記憶される電話番号は、本機の電源をOFF (エンジンスイッチをOFF) にすると消去されます。
- オプション設定(→P101)で「リダイヤル」を割り当てている場合は、**(F)** (ファンクションボタン) を押して操作することもできます。

地図に登録された電話番号に かける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→P36)施設の 詳細情報(→P42)を表示させる

2 **発信**にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大 1 000 件のデータを本機に読み込むことができます。

メモ

- Bluetooth AUDIO再生中に電話をかける場合は、Bluetooth AUDIOの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P91)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「**携帯電話情報を消去する**」(→P68)を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **メニュー** を押し、**リアルタイム情報** にタッチする

2 **携帯電話** にタッチする

3 **メモリダイヤル読み込み** にタッチする



メモ

- すでに読み込み済みのメモリダイヤルデータがある場合は、差分のみ追加で読み込まれます。

4 **携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する**

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができます。

メモ

- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送等があります)が必要です。
- メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

携帯電話の電話帳と同期する

本機に接続した携帯電話に電話帳の同期機能が有る場合は、接続後自動的に電話帳が同期され、メモリダイヤルとして利用することができます。同期機能の有無に関しては、携帯電話の説明書をご覧ください。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やBluetoothの通話切り換え、電話を切る操作を行うことができます。



戻る	通話中メニューを閉じます。
+	受話音量を上げます。
−	受話音量を下げます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリー ON (OFF)	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- **戻る**にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の  にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

画質を調整する	208
リアモニターを組み合わせる	209
リアモニターに表示される映像について	209
リアモニターの設置場所について	209
タッチパネルのタッチ位置を調整する	210
設定内容の初期化と ユーザーデータの消去	211
パソコンリンクソフトからSDメモリーカードに 保存したデータを本機で使用する	212
SDメモリーカードに保存したデータを 本機へ転送する	212
パスワード入力が必要な地図データを 転送する場合	212

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックカメラ、フロントカメラ、サイドカメラの映像表示中も、それぞれ以下の操作を行うことで画質調整することができます。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、

(AV) を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する



色の濃さ

淡	薄くなる
濃	濃くなる

メモ

- 色の濃さは、映像系AVソース（DVDやワンセグなど）とカメラの映像を表示している場合のみ調整することができます。

3 終了にタッチする

黒の濃さ

□ (白)	薄くなる
■ (黒)	濃くなる

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなる
高	白黒の差が大きくなる

明るさ

暗	暗くなる
明	明るくなる

色温度

■ (赤)	暖色系が強くなる
■ (青)	寒色系が強くなる

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、地上デジタルTV、DVD、DivX、iPodビデオ、AUX、VTRの映像が表示されます。
SDの映像ファイル、ワンセグ、ナビゲーション、バックカメラ映像、フロントカメラ映像、サイドカメラ映像、AVソース画面は表示されません。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

！ 注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

✎ メモ

- リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

！ 注意

- 必ず付属のタッチパネル用調整ペンを使用して画面に軽く触れてください。タッチパネルを強く押すとタッチパネルが破損することがあります。また、ボールペンやシャープペンの先など、とがった物は使用しないでください。

✎ メモ

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**(AV)** を長く押すか、**(現在地)** を押してください。**(現在地)** を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻ります。

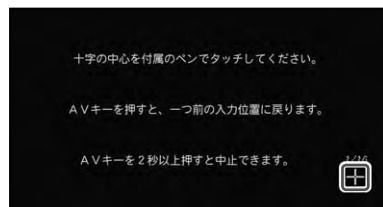
1 **(AV)** を2秒以上押す

▼
画質調整画面(→P208)が表示されます。

2 画質調整画面のまま **(AV)** を2秒以上押す

▼
タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面に表示される+マークの中心にタッチする



▼
16点タッチ後、画面中央にタッチすると、調整結果が保存されます。

✎ メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、**(AV)** を押してください。

4 **(AV)** を2秒以上押す

▼
調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

設定内容の初期化とユーザーデータの消去

お客様が購入後に設定した内容や記録したデータを消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。

！ 注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

1 電源を ON (エンジンスイッチを ON)にする

2 オープニング画面が表示されている間、**現在地**と**AV**を同時に押し続ける

クリア項目選択画面が表示されます。

3 **設定保存領域クリア** または **ユーザー領域クリア** にタッチする



はいにタッチするとデータがクリアされます。

設定保存領域クリア を選んだとき

<クリアされる内容>

機能設定、オプション設定、リアルタイムプローブ設定、音量設定、車両設定、地図のビューとスケールの設定、自転車位置情報、VICS FM レベル3データ、VICS 放送局 受信モード設定・受信周波数、VICS オンデマンドVICS 情報(レベル3データ)、メモリダイヤル、通信接続設定、Bluetooth 設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、天気予報データ、走行履歴データ、e スタートデータなど

<クリアされない内容>

カメラ設定、走行軌跡、センサー学習、リアルタイムプローブ取得時情報、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、セキュリティロックなど

ユーザー領域クリア を選んだとき

<クリアされる項目>

機能設定、オプション設定、リアルタイムプローブ設定、音量設定、車両設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自転車位置情報、VICS FM レベル3データ、VICS 放送局 受信モード設定・受信周波数、VICS オンデマンドVICS 情報(レベル3データ)、リアルタイムプローブ取得時情報、メモリダイヤル、通信接続設定、Bluetooth 設定、ロゴマーク表示設定、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、天気予報データ、e スタートデータなど

<クリアされない項目>

カメラ設定、センサー学習、セキュリティロック、走行履歴データなど

✎ メモ

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください(→P77)。

パソコンリンクソフトからSDメモリーカードに保存したデータを本機で使用する

パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」を使って、SDメモリーカードにデータを保存しておく、かんたんな操作で本機にそのデータを転送することができます。

メモ

- あらかじめ、別売のSDメモリーカードを本機に登録してください。本機に登録されていないSDメモリーカードではパソコンリンク機能を使用することができません。SDメモリーカードの登録について、詳しくは『スタートブック』-「パソコンリンクソフト」をご覧ください。

SDメモリーカードに保存したデータを本機へ転送する

1 データが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入する(→『スタートブック』)

自動的に以下のデータが本機に転送されます。

- 天気予報
- 渋滞情報
- 地図データ(差分情報のみ)

メモ

- 転送が完了すると、メッセージが表示されます。地図データの差分情報に関しては、次に本機を起動した時点から有効となります。
- 地図データ(差分情報のみ)更新時に、AVソースでSD / USBを選択している場合は、自動的にOFFとなります。地図データ(差分情報のみ)更新完了後、再度AVソースをSDまたはUSBにして再生を再開させてください。

注意

- データ転送中は、地図画面下部に更新中マークが表示されます。データ転送中は本機の電源をOFFにしたり、SDメモリーカードを抜いたりしないでください。

パスワード入力が必要な地図データを転送する場合

1 地図データが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入する(→『スタートブック』)

確認メッセージが表示されます。

メモ

- 地図データの更新を開始すると、本機のすべての機能が使用できなくなりますのでご注意ください。

2 **はい**にタッチする

更新パスワード認証確認のメッセージが表示されます。

3 **はい**にタッチする

4 更新用パスワードを入力し、**入力終了**にタッチする

メモ

- 更新用パスワードは、パソコンリンクソフト「NAVI OFFICE」で取得したものを入力してください。

5 **確認**にタッチする

自動的に本機が再起動し、地図データの更新を開始します。

地図データの更新が完了すると、メッセージが表示されます。更新された地図データは、次に本機を起動した時点から有効となります。

再生できるディスクの種類	214
DVDに表示されているマークの意味	215
ディスクの操作について	215
ディスクの構成について	216
DVDビデオ	216
映画など	216
カラオケディスク	216
CD	216
WMA/MP3/AAC/ DivXファイルについて	217
フォルダーとWMA/MP3および AACファイルについて	217
WMAとは?	217
再生できるWMAファイルについて	218
MP3とは?	218
再生できるMP3ファイルについて	218
AACとは?	219
再生できるAACファイルについて	219
DivXとは?	219
再生できるDivXファイルについて	219
ナビゲーションのしくみ	220
現在地がわかるしくみ	220
GPSによる測位	220
自立航法による測位	220
測位の精度を高めるためのしくみ	220
3Dハイブリッドセンサーの役割	220
マップマッチング	221
誤差について	221

故障かな?と思ったら	223
ナビゲーション	223
オーディオ	223
共通項目	223
FM/AM	224
DVD	224
CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	225
TV (内蔵ワンセグ/パイオニア製 地上デジタルTVチューナー)	226
SDメモリーカード/USBメモリー	227
エラーメッセージと対処方法	228
共通項目	228
ナビゲーション	228
オーディオ	229
DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/ DVD/DivX)	229
TV (内蔵ワンセグ/パイオニア製 地上デジタルTVチューナー)	230
Bluetooth AUDIO	231
SDメモリーカード/USBメモリー	231
iPod	232
センサーメモリーのリセットについて	233
センサー学習状態のリセットが必要な場合	233
センサー学習状態のリセットのしかた	233
センサー学習とは	233
その他の情報	234
検索におけるデータベースについて	234
ルートに関する注意事項	234
VICS情報に関する注意事項	235
シティマップ (詳細市街地図) 収録エリア	236
阪神高速道路株式会社からのご連絡	238
収録データベースについて	238
索引	240
メニュー索引	240
ナビゲーション	240
オーディオ	241
用語索引	242
五十音順	242
数字・アルファベット順	247
記号・マーク一覧	251

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



- DVDオーディオディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AAC、DivXファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。

CD



- ファイナライズしていないCD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWおよびDVD-R/RW（VRを含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3/AACデータ（ROM）とDivXのいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されます。再生メディアの切り換えはできません。
① CD → ② ROM → ③ DivX
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質（AVCHD 規格）で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類
	再生可能な地域番号（リージョン番号） 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピート再生など一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ディスクの構成について

DVDビデオ

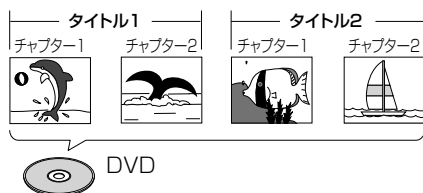
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

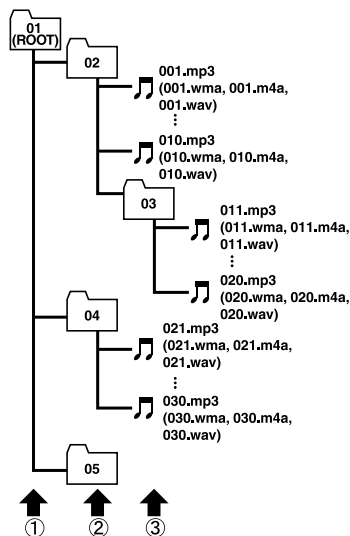
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AAC/DivXファイルについて

フォルダーとWMA/MP3およびAACファイルについて

- WMA/MP3/AACファイルを収録したディスクやSDメモリーカード、USBメモリー内のイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機はWMA/MP3/AACファイルが記録されたDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)や、SDメモリーカード/USBメモリーの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット(Joliet, Romeo)に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i(MP3 interactive)フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- 再生できるフォルダー数の合計は、最大700(ROMの場合)/300(SD/USBの場合)です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大3500(ROMの場合)/5000(SD/USBの場合)です。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.wma, .mp3, .m4a)を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット(Romeo)に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AACファイルを含まないフォルダーは認識しません(フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が700個まで再生可能です。

WMAとは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

つづく→

付
録

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

メモ

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は8kHz～48kHzです。
- 対応ビットレートは5kbps～320kbpsです。VBRに対応しています。
- デジタル著作権保護(DRM)で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルがDRMで保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

メモ

- MP3ファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。
- ID3 Tagのalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3 Tagのバージョンは1.0,1.1,2.2,2.3 (ROMの場合) / 1.0,1.1,2.2,2.3,2.4 (SD/USBの場合)です。なお、ID3 TagのVer.1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- 再生可能なMP3ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz～48kHzです。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは8kbps～320kbpsです。VBRに対応しています。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8kHz～48kHz (ROMの場合) / 11.025kHz～48kHz (SDの場合) です。
- 対応ステレオビットレートは8kbps～320kbpsです。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
* Apple Lossless

DivXとは？

DivX®は、DivX, Inc.が開発した評価の高いメディア技術です。DivXのメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivXで圧縮するファイルには、メニューや、字幕、

サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.comでは、DivXメディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified製品は、DivXのクリエイタによってテストされ、全てのバージョンのDivX (DivX 6も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certifiedの認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles規格に準拠したポータブルビデオやHDビデオであることを示しています。

再生できるDivXファイルについて

メモ

- DivXファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.aviまたは.divx)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.aviまたは.divx)が付いているファイルをDivXファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、DivXファイル以外には拡張子(.aviまたは.divx)を付けしないでください。

- 本機は、DivX® Certified製品です。
- 標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオ (DivX® 6も含む全てのバージョンに対応) を本機で再生することができます。
- 本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RWに記録されたDivX®ファイルを再生できます。
- DivX Ultraには対応していません。
- DivX®ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

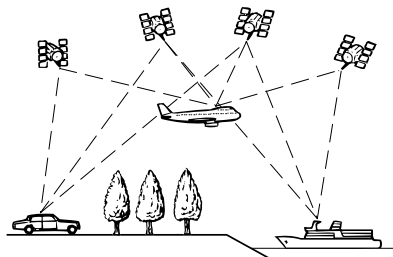
ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度 3D ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

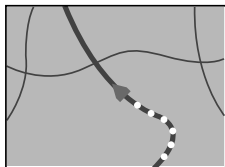
簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、3Dハイブリッドシステムに比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

メモ

- シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

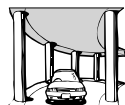
次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

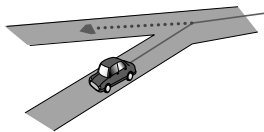
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなる場合があります。

低速時の自転車位置精度について

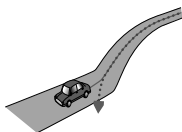
車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



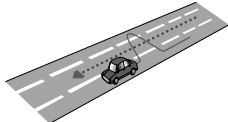
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



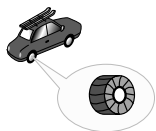
- 蛇行運転をした場合。



- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



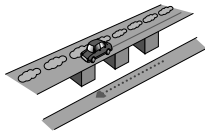
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



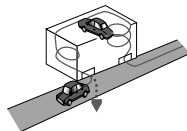
- ヘアピンカーブが続いた場合。



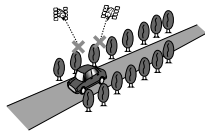
- 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



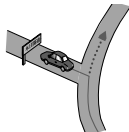
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



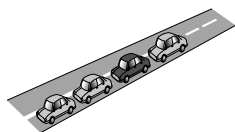
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



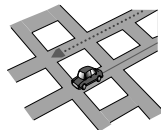
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。 測位誤差が大きい。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。 3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。 3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P77)して、学習をやり直してください。
ハンズフリー通話時に、 通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります(→「ナビゲーションの音量設定をする」(P95))。ただし、本機のしくみ上、完全に響き(エコー)をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。
携帯電話と接続できない。	本機が携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ(ACC)をOFF/ONしてください。 あとから携帯電話の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、「携帯電話を切り換える」(→P91)の操作をして、Bluetooth接続する携帯電話を選択してください。

オーディオ

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。 ナビスタンバイ状態になっている。	パーキングブレーキをかけてください。 ナビスタンバイを解除してください。→「スタートブック」
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	現在地 で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。→「フェーダー/バランス設定」(P186)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	

症状	原因	処置
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	ー
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	ー

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P120)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P120)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	(AV) で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。→「オートプレイ」(P158)
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P158)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
	DTS音声を再生しようとしている。	DTS音声は再生できません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P158)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
オーディオ音質設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	オーディオ音質設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	オーディオ音質設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。

症状	原因	処置
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります(故障ではありません)。
⓪(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。
聞きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

TV (内蔵ワンセグ／パイオニア製地上デジタルTVチューナー)

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、 コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが 映る。	受信状態が悪くなった場合などは、 そのような症状になります。これら は地上デジタル放送特有の現象で、 故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
メッセージが表示され、視 聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しよう としている。	本機は、以下の放送には対応してい ません。 ・番組単位で購入できる有料放送 (ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてくだ さい。
映像切換、音声切換、字幕 切換 のタッチキーが薄く 表示されていて切り換わら ない。	受信中の番組が、それらの情報を放 送していない。	それらの情報を放送している番組で 操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換 えるときは、 サービス切換 にタッチ します。(→P130)
受信できない。 「受信できません」という メッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをし てください」というメッ セージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。 移動により、受信中のチャンネル電 波が弱くなった。	初めて使うときやバッテリーを外 したとき、本機のリセットボタンを 押したとき、「視聴者設定クリア」 (P126, 136)をしたときは、チャン ネルスキャンをしてください。 他の中継局(チャンネル)に切り換 えてみてください。エリアプリセッ ト以外の方法で受信している場合で も、オート放送局サーチ設定に従っ て、自動的に受信可能な中継局や系 列局に切り換えます。受信可能な中 継局や系列局を自動的に探して切り 換えることができます。→「 受信可能 な中継局を探す 」(P130)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他 のエリアに移動して受信環境が変 わった。	受信環境が変わったときは、チャン ネルスキャンをしてください。 →「 放送局を自動で登録する(チャン ネルスキャン) 」(P126, 133)
	受信レベルが低下して、放送が受信 できない。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。ワンセグ放送が 受信可能な場合は、 サービス切換 で 切り換えます。→「 サービスを切 り換える 」(P130)

SDメモリーカード／USBメモリー

症状	原因	処置
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。
SDメモリーカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
SDメモリーカード／USBメモリーに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。	地図データ（差分情報のみ）の更新中である。	地図データ（差分情報）更新中（→P212）は、AVソース（SD／USBのみ）がOFFになります。地図データ（差分情報のみ）の更新完了後、再度AVソース（SD／USB）を選択し、再生を再開してください。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。 復帰するまでしばらくお待ちください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くなったり低くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、[高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。]と表示されます。
走行中は操作できません。	走行中に操作できない機能を操作した。	一部の機能は、安全のため走行中に操作できないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	出発地から目的地までの距離が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変更してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。		
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	規制情報が考慮されたためルート探索ができない。	
時間規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の位置が適切ではない。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。		
探索できませんでした。	何らかの原因でルート探索ができない。	

オーディオ

DISC (CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DVD/DivX)

メッセージ	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P214)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのタイトル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P214)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。
このトラックは再生できません。 再生できないファイルです。	本機で再生できるトラックやファイルではない。	「WMA/MP3/AAC/DivXファイルについて」(→P217)をご確認のうえ、本機で再生できるトラックやファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。	本機で再生できるトラックやファイルがディスクに含まれていない。	また、本機ではDRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
再生できるトラックはありません。		
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。(→P215)
これはDivX® VODレンタルコンテンツです。 残りの視聴回数はありません。	DivX VODレンタルコンテンツの残り視聴回数が無い。	視聴回数の残っているDivX VODレンタルコンテンツを再生してください。
DivX® VODレンタルコンテンツの認証に失敗しました。	本機で表示されるDivX VODコードとは異なるVODコードでダウンロードしたコンテンツを再生しようとした。	本機で表示されるDivX VODコードを使ってダウンロードしたコンテンツを再生してください。(→P195)
高解像度のファイルは再生できません。	DivX Hometheaterで再生できる最大解像度を超えるコンテンツを再生しようとした。	DivX Hometheaterで再生可能な最大解像度は720×480@30fps、720×576@25fpsです。
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にDVDやDivXの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

TV (内蔵ワンセグ／パイオニア製地上デジタルTVチューナー)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
HEAT 地上デジタルTVで高温を検出しました。 保護のため停止中です。	別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナーの内部温度が高くなった。	正常に動作する温度に下がるまでお待ちください。改善されない場合は販売店にご相談ください。
ANTENNA アンテナ接続エラーの可能性あります。	内蔵ワンセグ用アンテナまたは別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナー用アンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。
ERROR-11 地上デジタルTVチューナーに不具合が発生した可能性あります。	別売のパイオニア製地上デジタルTVチューナーに不具合がある。	
受信できません。	地上デジタル放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「TV (内蔵ワンセグ／パイオニア製地上デジタルTVチューナー)」の「受信できない」(→P226)をご覧ください。
スキャンを実行してください。	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P126, 133)
チャンネルが登録されていません。	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません。	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録してください。
現在、このサービスは視聴できません。	放送(サービス)としては存在するが、放送されていない。	—
映像情報がありません。	音声のみの番組です。	—
有料放送につき事業者との契約が必要です。	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。
有料放送です。本機では対応していません。	本機が対応していない有料放送(双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー))を受信している。	本機が対応している放送に切り換えてください。
ダウンロード待機中。	ダウンロード設定を「ON」にしたことによる、ダウンロードの待機を知らせるメッセージです。 ダウンロードが予定された時刻の5分前から、メッセージが表示されます。	5分後に自動的にダウンロードを開始します。エンジンを切らずにそのままお待ちください。 →「ダウンロードの手順」(P137)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
ダウンロードを正常に終了しました。ソフトウェアの更新を行うには再起動してください。	ダウンロードが成功したことをお知らせするメッセージです。	指示に従って、地上デジタルTVチューナー部を再起動してください。→「ダウンロードの手順」(P137)
ダウンロードに失敗しました。	ダウンロードに失敗したことをお知らせするメッセージです。	受信状態が安定しているのにダウンロードが何度も失敗してしまうときは、販売店にご相談ください。
ICカードを正しく装着してください。	B-CASカードが装着されていない。 B-CASカードが違う向きで装着されている。 B-CASカード挿入口やB-CASカードにゴミなどが付いている。	販売店にご相談ください。
このICカードは使用できません。	B-CAS以外のカードを装着している。	販売店にご相談ください。
ICカードの交換が必要です。	B-CASカードが破損している。	販売店にご相談ください。
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にテレビを見ようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

Bluetooth AUDIO

メッセージ	原因	処置
Bluetooth機器との接続に失敗しました。	何らかの理由で本機からBluetooth AUDIO機器への接続が成功しない。	「機器接続」にタッチして、Bluetooth AUDIO機器側から接続を行ってください。(→P180)
登録されていないAV機器です。「Bluetooth設定」から機器登録を行ってください。	Bluetooth設定で登録されていない機器で接続を行った場合。	Bluetooth設定で登録を行ってから接続を行ってください。 →「Bluetoothの設定を行う」(P89)

SDメモリーカード／USBメモリー

メッセージ	原因	処置
再生できないファイルです。	本機で再生できるファイルではない。	「WMA/MP3/AAC/DivXファイルについて」(→P217)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できるファイルがありません。	本機で再生できるファイルがSDメモリーカードまたはUSBメモリーに含まれていない。	

高解像度のファイルは再生できません。	本機で再生できる最大解像度を超えるコンテンツを再生しようとした。	「映像ファイルを見る」(→P168)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にSDの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

iPod

メッセージ	原因	処置
絞込みに失敗しました。	何らかの原因で絞込みができない。	ACCをOFF/ONするか、iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPod間の認証が成功しない。	
走行中は音声のみでお楽しみください。	走行中にiPodビデオの映像を再生しようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

センサーメモリーのリセットについて

センサー学習状態のリセットが必要な場合

[オールリセット]が必要な場合

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合

[距離学習リセット]が必要な場合

- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合

センサー学習状態のリセットのしかた

学習メモリーのリセットは「センサー学習状況」画面で行います。→「**センサー学習状況を見る**」(P77)

センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。
- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が0時をすぎる場合であっても、0時として収録されています。
- 24時間営業は24時間の営業で収録されています。

ルートに関する注意事項

！ 注意

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗り降りIC(インターチェンジ)指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されることがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道（→「記号・マーク一覧」（P251））以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。

- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

目的地・立寄地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

VICS情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送により提供されるVICS情報に関することは、(財) VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

PHSからは(東京) 03-3592-2033

(大阪) 06-6209-2033

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3592-5494 (全国)

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積 95% 以上 (293 都市)

多賀城市、玉村町、さいたま市、川越市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町、杉戸町、松伏町、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、印旛村、本埜村、大網白里町、九十九里町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、野々市町、昭和町、羽島市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、北方町、清水町、名古屋市、一宮市、半田市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲都市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、春日町、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、武豊町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町、木

曾根町、朝日町、川越町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、向日市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、早島町、松茂町、北島町、春日市、志免町、那覇市、宜野湾市、浦添市、豊見城市

整備面積 80% 以上 (28 都市)

塩竈市、ひたちなか市、五霞町、熊谷市、木更津市、山武市、栄町、白子町、長柄町、相模原市、中央市、新居町、春日井市、豊川市、常滑市、愛西市、一色町、桑名市、東員町、野洲市、長岡京市、池田市、御所市、葛城市、和歌山市、府中町、水巻町、南風原町

整備面積 50% 以上 (63 都市)

名取市、七ヶ浜町、利府町、富谷町、水戸市、取手市、守谷市、上三川町、前橋市、伊勢崎市、吉岡町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、深谷市、越生町、小川町、成田市、市原市、芝山町、長生村、秦野市、松田町、射水市、岐阜市、各務原市、三島市、焼津市、犬山市、美浜町、四日市市、安土町、豊郷町、宇治市、城陽市、岸和田市、高槻市、貝塚市、茨木市、泉佐野市、泉南市、島本町、河南町、加古川市、三木市、猪名川町、高取町、明日香村、和木町、徳島市、藍住町、松前町、北九州市、福岡市、中間市、大野城市、太宰府市、宇美町、須恵町、新宮町、粕屋町、芦屋町

整備面積 50% 未満 (233 都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、北斗市、七飯町、青森市、八戸市、盛岡市、北上市、滝沢村、矢巾町、金ケ崎町、仙台市、岩沼市、松島町、大和町、秋田市、山形市、上山市、天童市、山辺町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、須賀川市、伊達市、日立市、土浦市、古河市、常総市、つくば市、那珂市、坂東市、つくばみらい市、茨城町、大洗町、東海村、境町、利根町、宇都宮市、鹿沼

市、下野市、芳賀町、野木町、藤岡町、高崎市、桐生市、太田市、渋川市、藤岡市、安中市、富士見村、飯能市、本庄市、ときがわ町、上里町、寄居町、君津市、富津市、多古町、横芝光町、睦沢町、長南町、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、新潟市、長岡市、上越市、富山市、高岡市、金沢市、小松市、白山市、能美市、内灘町、福井市、鯖江市、越前市、坂井市、永平寺町、甲府市、山梨市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、増穂町、鵜沢町、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、千曲市、東御市、下諏訪町、小布施町、大垣市、本巣市、海津市、養老町、垂井町、大野町、池田町、静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、富士宮市、島田市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、裾野市、湖西市、伊豆の国市、函南町、長泉町、小山市、豊橋市、岡崎市、瀬戸市、豊田市、田原市、津市、鈴鹿市、いなべ市、大津市、長浜市、栗東市、湖南市、東近江市、米原市、愛荘町、京都市、木津川市、井手町、河内長野市、和泉市、箕面市、豊能町、能勢町、千早赤阪村、姫路市、相生市、小野市、三田市、たつの市、奈良市、天理市、桜井市、大淀町、海南市、岩出市、鳥取市、米子市、松江市、安来市、東出雲町、岡山市、倉敷市、笠岡市、広島市、呉市、尾道市、福山市、府中市、大竹市、廿日市市、海田町、坂町、下関市、宇部市、岩国市、山陽小野田市、鳴門市、小松島市、吉野川市、石井町、高松市、さぬき市、三木町、松山市、伊予市、東温市、砥部町、高知市、南国市、いの町、久留米市、八女市、筑紫野市、古賀市、福津市、那珂川町、遠賀町、広川町、みやき町、長崎市、佐世保市、長与町、時津町、佐々町、熊本市、合志市、植木町、大分市、宮崎市、都城市、清武町、三股町、鹿児島市、糸満市、北谷町、中城村、西原町

阪神高速道路株式会社から のご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能）。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）

4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）

3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）

16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）

3号神戸線（中之島西出入口）⇔16号大阪港線（波除出入口）

3号神戸線（生田川出入口）⇔7号北神戸線（箕谷出入口）

31号神戸山手線（神戸長田出入口）⇔3号神戸線（柳原 東行入口、柳原 西行出口）

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063）「©2008 財団法人日本デジタル道路地図協会」2008年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。（承認番号）小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。（測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号）
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。（承認番号：18東デ共041号）
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。（承認番号）18都市基交 第478号
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2008年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2008年9月までの調査で2009年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

放送局リストのデータについて

- VICS、AM、FMの放送局名リストは2008年11月調査時点、地上デジタルTVの放送局名リストは2008年5月調査時点のものです。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社(2008年9月現在のタウンページデータ)
- 財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)IMJモバイル(2007年10月現在の駐車場データ)

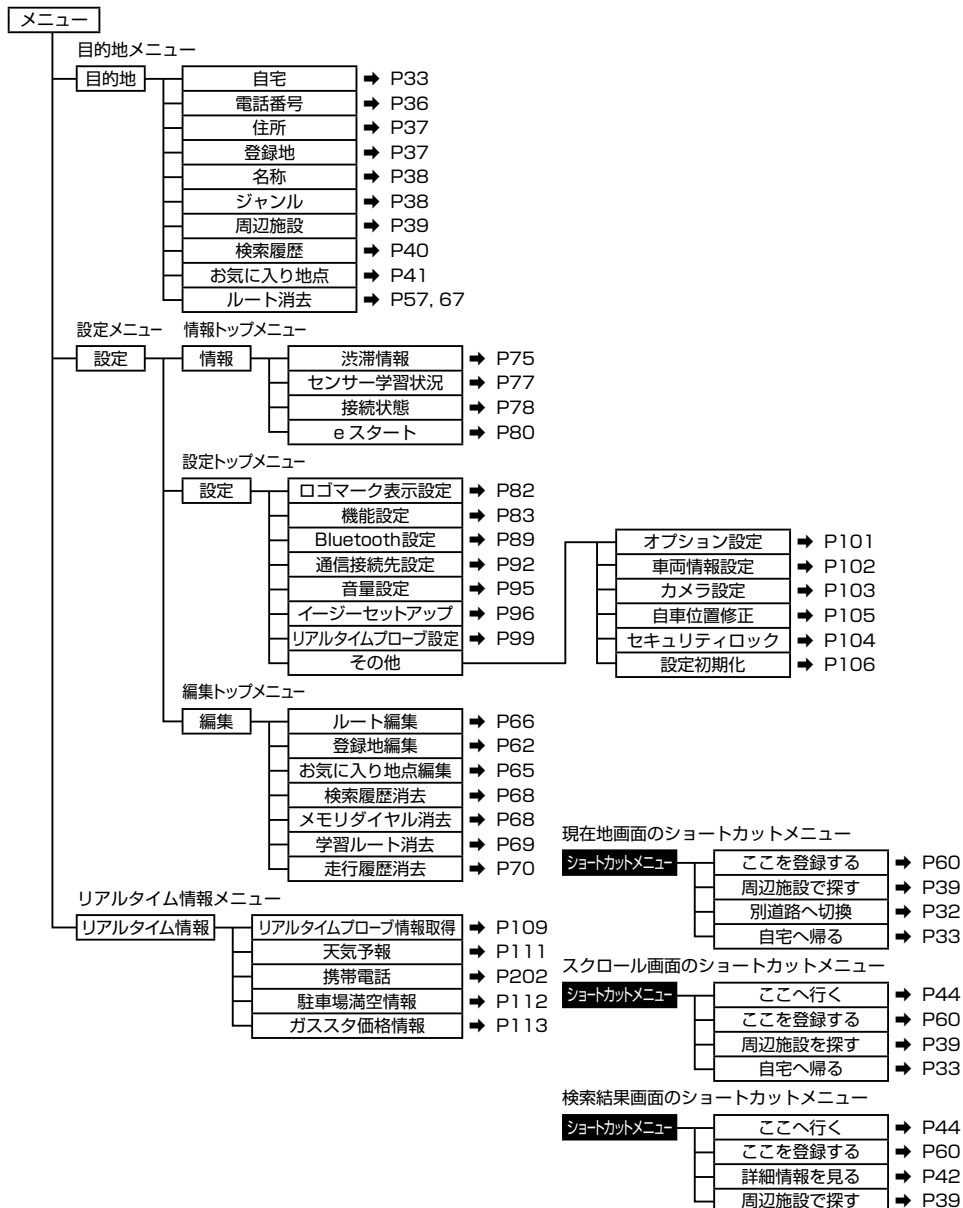
メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。

メニュー索引

ナビゲーション

ナビメニュー



オーディオ

AV メニュー

メニュー

オーディオ設定メニュー

オーディオ設定

- フェーダー/バランス設定 → P186
- ラウドネス設定 → P187
- イコライザー設定 → P187
- ソースレベルアジャスター設定 → P188
- 音場設定 (VSC) → P189

システム設定メニュー

システム設定

- ワイドモード設定 → P193
- 消音タイミング → P193
- 消音レベル → P194
- VTR 設定 → P194
- AUX 設定 → P194
- 映像画面時計表示設定 → P194
- ガイド/ハンズフリー SP 設定 → P194
- SD 映像出力設定 → P195
- DVD ビデオ機能設定 → P195
- DivX VOD コード → P195
- TV 機能設定 → P196
- iPod ワイドスクリーン → P196

DVD ビデオ機能設定メニュー

- 基本字幕言語 → P156
- 基本音声言語 → P156
- メニュー言語 → P157
- マルチアングル → P157
- テレビアスペクト → P157
- 視聴制限 → P158
- オートプレイ → P158

TV 機能設定メニュー

視聴設定 (タブ)

- 12 セグ・ワンセグ切換設定 → P135
- オート放送局サーチ設定 → P135
- 文字スーパー表示設定 → P135
- イベントリレー設定 → P135
- 緊急警報放送設定 → P136

環境設定 (タブ)

- 地域設定 → P136
- 郵便番号設定 → P136
- ダウンロード設定 → P136
- 番組名称情報取得設定 → P136
- 視聴者設定クリア → P136
- 番組表表示設定 → P136
- 4 チューナー設定 → P136

受信機情報 (タブ)

- お知らせメッセージ → P137
- バージョン情報 → P137

用語索引

五十音順

あ行

あかさたな送り	13
明るさ	208
アスペクト比固定	195
アローガイド	52
アングル	150
暗証番号	158
案内音量	95
案内開始画面	44
案内地	52
イコライザー	187
補正	188
イージーセットアップ	96
一時停止	140, 142, 146, 152, 160, 166, 168, 172, 174, 178
イベントリレー設定	135
イラスト情報(施設)	32
イルミネーション	78
色温度	208
色の濃さ	208
インジケーター	14
インターチェンジ(IC)	30, 45, 48
インテリジェントリルート	55
営業時間考慮	40, 234
映像画面時計表示設定	194
映像切換	134
映像ディスク	145
映像ファイル	168
エコー(残響音)	202
エラーメッセージ	228
エリアプリセット	120, 124, 129
大文字/小文字	15, 16
お気に入り地点	61, 65
お気に入り地点から探す	41
お知らせメッセージ	137
オーディオ設定	186
オート(VICS放送局選択)	76
オートハイウェイモード	29, 84
オートプレイ	158
オート放送局サーチ設定	135
オートリルート	55
音送り	13

音楽CD	140
音楽ファイル	166, 172
音場	189
音声圧縮方式	217
音声案内	28, 53
音声切換	126, 134, 150, 155, 163
音声多重	155
オンデマンドVICS	108
音量	95, 97

か行

回転速度計	77
ガイド/ハンズフリー SP設定	194
学習ルート消去	69
学習ルート探索	50, 85
拡大図	52
画質調整	208
ガススタ価格情報	113
カーソル	16
カメラ設定	103
画面切り換え	
(ナビゲーション⇄AVソース)	12
簡易ハイブリッドシステム	220
簡易ハイブリッドモード	77
環境設定メニュー(地上デジタルTV)	136
記号	18
規制表示	86
軌跡表示	23
機能設定	
DVDビデオ	156
渋滞情報	86
その他	87
地上デジタルTV	134
地図表示	84
ナビゲーション	83
ルート・案内	85
基本音声言語	156
基本字幕言語	156
急発進	79
行送り	13
距離	77
キーワード検索	38
緊急警報放送設定	136
緊急情報の自動表示	74
禁止マーク	215

黒の濃さ	208
傾斜計	77
携帯電話	202
受ける	202
かける	203
切り換え	91
登録	90
言語コード表	159
現在地画面	23
現在地情報の表示	87
県境案内	28
検索できるジャンル	38
検索履歴	68
検索履歴から探す	40
広域	25
効果音	63
交差点案内表示	52, 86
高精度3Dハイブリッドシステム	220
交通規制情報	72
交通障害情報	72
交通情報	72, 122
候補表示画面	28
ここへ行く	44
ここを登録する	60
誤差	221
コマ送り	148, 153, 160
コマンド	101
コントラスト(明暗)	208

さ行

再生	140, 142, 146, 152, 160, 166, 168, 172, 174, 178
再探索(ルート)	66
サイドカメラ	199
サイドマップ	27
サイドメニュー	14
サービスエリア(SA)	30, 31
サービス切換	125, 130
サービスリスト	134
サラウンド放送	129
サンプリング周波数	218
シーク(VICS放送局選択)	76
市区町村名	37
自車位置修正	105
システム設定(オーディオ)	192
施設情報	29, 30
自宅	
帰る	33
登録	33, 97

視聴者設定クリア	127, 136
視聴制限	158
視聴設定メニュー	135
シティマップ	26, 84, 236
シティマップ境界表示	84
自動登録(放送局)	121, 126, 133
シネマ	193
字幕切換	126, 134, 149, 155, 162
車速バルス	77, 78
シャッフル再生	173, 175
車両情報	102
ジャンクション(JCT)	30, 31
ジャンルで探す	38
十字カーソル	22, 25
十字パネルタッチキー	133
住所で探す	37
渋滞オートガイド	56, 74, 86
渋滞・規制情報	56, 74
渋滞考慮オートリルート	55, 85
渋滞考慮オートリルート自動決定ルート	85
渋滞考慮ルート探索	50, 85
渋滞情報	72, 75
渋滞情報取得開始設定	100
渋滞情報表示	86, 110
渋滞情報表示(ハイウェイモード)	32
渋滞情報表示対象道路	86
渋滞情報連続取得設定	100
渋滞チェック	56, 74
周辺施設を探す	39
収録データベース	238
主音声	126, 134
受信機情報メニュー	137
受信状態	76
出発地指定	49
受話音量	95
順調表示	86
消音タイミング	193
消音レベル	194
消去	
お気に入り地点	65
学習ルート	69
検索履歴	68
視聴者設定	126
走行軌跡	70
登録地	63
メモリダイヤル	68
ユーザーデータ	211
ルート	57, 67
乗降IC指定	48

走行道路名	24
走行履歴	108
操作音	95
操作タッチキー	123, 128, 146, 152, 160, 168, 174
送信設定	100
測位状態	78
ソースレベルアジャスター	188
その他のプロバイダ	93

ダイヤルQ2	37
ダイヤルアップ通信	90
ダイヤル発信	204
ダイレクトサーチ	149, 154, 162, 169
ダイレクトタッチ	147
タウンページ	234
ダウンロード設定	136
ダウンロード(地上デジタルTV)	137
立寄地	47
先送り	67
削除	48
追加	47
並べ替え	48
タッチキー	12
タッチパネル	12
タッチパネルキャリブレーション	210
タッチパネル用調整ペン	210
タブ送り	13
探索条件	45, 66
短縮ダイヤル	37
地域設定	136
チェックマーク	14
チェックリスト	14
蓄積型プローブ	99
地上デジタルTV	128
地図色切換	84
地図で探す	36
地デジ → 地上デジタルTV	128
着信音量	95
チャプター	146, 152
チャンネルスキャン	126, 133
中継局	130
駐車場情報	72
駐車場情報マーク表示	86
駐車場満空情報	112
駐車制限(車種)	102
駐車制限(車両寸法)	102

通行止め	55
通信機能	88
通信接続設定	88, 92, 98
通話	202
通話中メニュー	206
ディスクメニュー	147
データ通信	92
データ放送	132
データ連動放送	129
デモ走行	67
テレビアスペクト	157
天気予報	111
電源電圧	78
電波発射	91
電話帳	205
電話番号で探す	36
電話を受ける	202
電話をかける	203
ダイヤル発信	204
地図に登録された電話番号	204
メモリダイヤル呼び出し	203
リダイヤル	204
到着予想時刻	51
到着予想時刻速度(一般道)	85
到着予想時刻速度(有料道)	86
登録	
携帯電話	90
自宅	33, 97
場所	60
リアルタイムプローブ初期登録	99
登録地	
消去	63
編集	62
保存	64
名称表示(プライベートマッピング)	63
読込	64
登録地から探す	37
道路交通情報通信システム → VICS	72
道路を切り換える → 別道路へ切換	32
都市高速道路	52
トラック	140, 142
取付位置	78
トリップメーター	77

な行

ナビゲーション画面(地図画面)	12
ナビスタナビ	13
ナビメニュー	20

ニュアンス(イコライザー効果)	188
ノースアップ	26
ノーマル(ワイドモード設定)	193
ノーマルビュー	26

は行

ハイウェイモード	27, 28, 29
ハイビジョン	215
パーキングアラート	29, 87
パーキングエリア(PA)	30, 31
パーキングブレーキ	79
場所	
探す	36
登録	60
バージョン情報	137
パスキー	90, 91
パスワード	93, 105
パソコンリンクソフト	
→ NAVI OFFICE	212
バックカメラ	198, 199
バック信号	79
発信	203, 204
発信者番号通知サービス	203
パレンタルロック → 視聴制限	158
番組情報	131
番組内容	125, 132
番組表	125, 131
番組表示設定	136
番組名称情報取得設定	136
パンスキャン	157
ハンズフリー通話	90, 202
バンド	121, 130
微調整(スクロール)	24
ビットレート	218
ビデオ → VTR	183
ビデオオンデマンド	195
ビデオレコーディングフォーマット	
(VRモード)	214
ビュー切替メニュー	26
表示方法	26
ファイナライズ	214
ファイル	160
ファクトリーカーブ	187
ファンクションボタン	97, 101
フェーダー/バランス	186
フェリー航路使用条件	85
フォルダー	143, 161, 167, 217
副音声	126, 134

ブックマーク	149
物理チャンネル	124, 129
踏切案内	29, 87
プライベートマッピング	63
プライマリDNS	93
プリセット	120, 124, 129
エリアプリセット	120, 124, 129
ユーザープリセット	120, 124, 129
プリセットチャンネル	120, 124, 129
フリーダイヤル	37
フル	193, 195
プロバイダ	92
フロントカメラ	199
分岐(有料道路)	52
分岐先の情報	31
ページ送り	13
別道路へ切換	32
ヘディングアップ	26
編集	
お気に入り地点	65
登録地	62
ルート	66
編集トップメニュー	21
方位	77
放送局(VICS情報)	76
放送局(ラジオ)	120
他のルート	46
ポジション	189
ポータブルオーディオプレーヤー	182
ボタン	12
ポート番号	93

ま行

マップマッチング	221
マニュアルプリセット	121, 124, 130
マルチアングル	150, 157
マルチ音声	150, 155, 156, 163
マルチ言語字幕	156
マルチ字幕	149, 155, 162
マルチセッション	217
マルチビュー放送	129
マルチ編成	129
道のり・到着予想時刻表示	85
向き(地図)	26
名称で探す	38
メニュー言語	157
メモリダイヤル	68, 203, 205
メモリダイヤル転送	90

目的地	36
目的地メニュー	20
文字情報(VICS情報)	75
文字スーパー表示設定	135
文字入力	15, 16
URL	17
大文字／小文字	15, 16
漢字表	17
記号	18
削除	16
種類	15
スペース	16
全角	15
挿入	16
濁点・半濁点・小文字	15
半角	15
変換	17
無変換	17

や行

ユーザー登録	88
ユーザー領域クリア	211
郵便番号設定	136
有料道注意地点・県境案内	28, 87
有料道路	29
有料道路使用条件	85
有料道路料金区分	102
ユーザーデータ	211
ユーザープリセット	120, 124, 129

ら行

ライト点灯案内	29, 87
ラウドネス	187
ラジオ	120
ランダム再生	141, 143, 167, 180
ランブ	30
リアモニター	209
リアルタイム情報メニュー	21
リアルタイムプローブ	99, 108
リージョン番号	215
リスト(VICS放送局選択)	76
リスト画面	13, 28
リセット(センサー学習)	77, 233
リターン再生	150
リダイヤル	204
立体交差	52
リニアPCM	151
立体交差	52

リピート再生	141, 143, 148, 154, 161, 167, 169, 173, 175, 179
リフレッシュ案内	29, 87
料金所	30, 32
料金所(入口・出口)	53
料金表示	30
旅行時間情報	72
ルート案内	51
ルートインフォメーション	51
ルートを再探索	66
ルート再探索 → オートリルート	55
ルート消去	57, 67
ルート探索	44
学習ルート探索	50
自宅	33
渋滞考慮ルート探索	50
スマートIC考慮ルート探索	50
ルート探索基準	85
ルート地図	44, 46
ルート注意事項	234
ルートプロフィール	44, 47
ルート編集	66
レジストレーションコード	195
レターボックス	157
レベル 1: 文字	72
レベル 2: 簡易図形	72
レベル 3: 地図	72
レンタルコンテンツ	162
ロゴマーク	40, 82

わ行

ワイドモード設定	193
ワンセグ	123

数字・アルファベット順

数字

2D(ノーマルビュー) 地図方位	84
2D(ノーマルビュー) 固定スクロール	84
2Dマーク	63
2カ国語放送	126, 134, 155
2次元測位	220
3Dハイブリッドセンサー	220
3Dハイブリッドモード	77
3次元測位	220
4チューナー設定	136
5.1ch	150, 163
10キーサーチ	149, 154, 162, 169
12セグ・ワンセグ切換設定	135
16:9	157
50音タブ	13
100mスケール一方通行表示	27

A

A2DP	178
AAC	
(Advanced Audio Coding)	142, 219
ACTOR'S STAGE	189
ALL REPEAT	179
Apple Lossless	219
ATOK	15
AUX	182
AUX設定	194
AVCHD → ハイビジョン	215
AVRCP	178
AVソースアイコン	117
AVソース画面(オーディオ画面)	12, 116
AVソースプレート	116
AVプロファイル	178

B

Bluetooth AUDIO	178
Bluetooth(接続状態)	79
Bluetooth設定	88, 89, 98
Bluetoothプロファイル	89
BSM	121

C

CD	140, 214, 216
CD-EXTRA	214
CHAPTER REPEAT	148, 154

- | | | | |
|------------------------|----------------------|--|--|
| CINEMA | 193 | | |
| CMスキップ | 153 | | |
| CMバック | 153 | | |
| Copy Control CD | 214 | | |
| D | | | |
| d (データ放送) | 132 | | |
| DDCD | 214 | | |
| DISC REPEAT | 141, 143, 148, | | |
| | 154, 161 | | |
| DivX | 160, 219 | | |
| DivX Certified | 219 | | |
| DivX Ultra | 219 | | |
| DivX VOD コード | 195 | | |
| Dolby D | 150, 163 | | |
| DRM コピープロテクション | 142, 166, | | |
| | 168, 195 | | |
| DTS 音声 | 150, 163 | | |
| DualDisc | 215 | | |
| DVD-V | 156 | | |
| DVD-VR | 152, 156 | | |
| DVDビデオ | 146, 214, 216 | | |
| DVDビデオ機能設定 | 156 | | |
| DYNAMIC THEATER | 189 | | |
| E | | | |
| ETC車載器 | 32 | | |
| ETC取付状態 | 97 | | |
| ETCレーン案内 | 32, 86 | | |
| eスタート案内 | 29, 79, 87, 101, 211 | | |
| F | | | |
| FILE REPEAT | 161, 167, 169 | | |
| FLAT | 187 | | |
| FM-VICS | 72 | | |
| FM多重放送 | 76, 235 | | |
| FOLDER REPEAT | 143, 161, 167, | | |
| | 169 | | |
| FULL | 193 | | |
| G | | | |
| GPS | 220 | | |
| GPSアンテナ | 78 | | |
| H | | | |
| HDTV (ハイビジョン放送) | 129 | | |
| I | | | |
| ID3 Tag | 218 | | |
| ID (接続ID) | 93 | | |
| iPod | 172 | | |
| iPodビデオ | 174 | | |
| iPodワイドスクリーン | 196 | | |
| ISO9660 | 217 | | |
| iTunes | 219 | | |
| J | | | |
| Joliet | 217 | | |
| L | | | |
| L/R切換 | 151 | | |
| M | | | |
| m3u | 217 | | |
| MEDIA REPEAT | 167, 169 | | |
| MP3 | 142, 218 | | |
| MP3i (MP3 interactive) | 217 | | |
| MP3 PRO | 217 | | |
| MPEG2 | 219 | | |
| MPEG4 | 219 | | |
| MPEG Audio Layer 3 | 218 | | |
| MUSIC STUDIO | 189 | | |
| N | | | |
| NATURAL | 187 | | |
| NAVI OFFICE | 212 | | |
| NON STOP SEEK | 120 | | |
| NORMAL | 193 | | |
| NTSC | 214 | | |
| P | | | |
| POWERFUL | 187 | | |
| Proxy サーバー | 93 | | |
| R | | | |
| RELAX LIVING | 189 | | |
| ROM | 142 | | |
| Romeo | 217 | | |
| S | | | |
| SDTV (標準画質放送) | 129 | | |
| SD映像出力設定 | 195 | | |
| SDカード登録確認メッセージ表示 | 87 | | |
| SDメモリーカード | 166, 168 | | |

SEEK 120, 124, 129
SUPER BASS 187

T

TITLE REPEAT 148, 154
TRACK REPEAT 141, 143, 179
TV 123, 128
TV 機能設定 134, 196

U

URLの入力 17
USB メモリー 166

V

VBR 218
VICS (Vehicle Information &
Communication System) 72
VICS 情報提供時刻 73
VICS 情報の表示 72, 73, 75
VICS センター 236
VICS マーク 74
VOCAL 187
VSC 189
VTR 183
VTR設定 194

W

Windows Media™ Audio 217
Windows Media Audio 9 Lossless 218
Windows Media Audio 9 Professional 218
Windows Media Audio 9 Voice 218
Windows Media Player 217
WMA 142, 217

Z

ZOOM 193



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

ナビゲーショソ&オーディオブック

C9P5 V6 650

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< AVIC-MRZ0247ZM >

© パイオニア株式会社 2009

< KFWFF > < 09A00001 > < CRA4261-A >